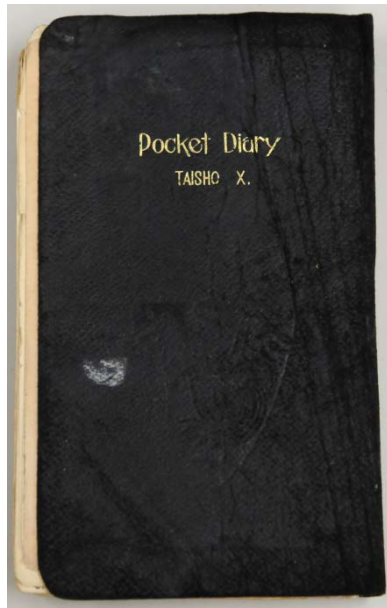


# 伊藤音次郎日記 1921(大正 10)年

文字データ作成: 一般財団法人 日本航空協会 2018(平成 30)年 6 月

\* お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。



一般財団法人日本航空協会

航空遺産継承基金事務局

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-1

電話 03-3502-1207

ファクス 03-3503-1375

電子メール isan@aero.or.jp

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会

▲▼0ページ▲▼

大正十年

▲▼2ページ▲▼ 大正十年要記

名実共ニ充実セシメ陸海軍仕事ニ進ムコト

▲▼3ページ▲▼ 一月

- 一 佐藤ローンホゞ完成ノコト
- 二 宙返りローン製作ノコト
- 三 リバテイー設計ノコト
- 四 圖工二名金物職工二名入所ノコト
- 五 プロペラ五本以上製作ノコト
- 六 練習十日頃ヨリ開始セシムルコト

▲▼4ページ▲▼ 大正10(1921)年1月1日(土)

天気 晴

五時半起床 四方拝ヲナシ工場へ鏡餅ヲソナエ三行ク 帰ッテ大坂式雑煮ヲ祝ヒ來客ニ接ス 所員及ビ出入ノ者ニテ大ニ賑フ 夕方最後ニ佐野一家來 地所問題アリ 之レハ春サンニ依頼シテ終ル 終日ノンダノデ大ニヨウ 七時早クモ床ニ入ル

▲▼5ページ▲▼ 大正10(1921)年1月2日(日)

天気 雨

金銭出入及ビ広ヲ呼ビ工場健(ママ)築ノ外製圖室發動機室、材料庫ノ設計ヲナス 終ッテ車ニテ稲毛ニ行キ後チ白戸ニ行ク 徳永氏ニモ挨拶ニ行キ材木屋へ木材ノ注文ヲナス 帰ッテ白戸ニテ夕食ヲ永野氏ト共ニ馳走ニナリ七時半同車ニテ帰ル 信太郎同伴ス

▲▼6ページ▲▼ 大正10(1921)年1月3日(月)

天気 雨

昨日安岡へ旅費送金セントセシモ休日ニテハタサズ本日モ不能

九時半ニテ白戸ト上京 林亭ニテ休ミ松本へ電話ヲカケ自動車ヲ待チ十二時ヨリ目黒へ迎へニ行ク 三十五分ニテ達ス 約一時間待ツテ松本楼ニ行ク 志賀氏來ラズ 大ニ贅ヲツクシ六時白戸同乗シテ送ル 自分松本ノ拂ヲナシ七時十分ニテ帰ル 戸川君來場セシ由 多分矢野君宅泊リナルベシ

▲▼7ページ▲▼ 大正10(1921)年1月4日(火)

天気 曇リ

戸川君矢野氏ト來 車輪ノ見積リヲ引受ケル 晝白戸飛行場ヨリ数名來 晝食ヲ共ニス 後手帳簿ノ記入ヲナス

▲▼8ページ▲▼ 大正10(1921)年1月5日(水)

天気 晴

吉母小供上京浅草へ行ク  
稲垣出勤 矢野欠勤 夜稲垣、佐野、玉木ヲ呼び自カラ料理ヲナシ肉ノ馳走ヲナス

▲▼9ページ▲▼ 大正10(1921)年1月6日(木)

天気 晴

朝早ク研究所ニ行キ八時半ニテ上京 日本セルロイドニ層ヲタノミ佐藤へ寄りモ式シヤフト所沢迄取リニヤリプロペラ材料ノ注文ヲナシ秋田、山田、へ年始ニ立寄りテ鳥飼ニ行ク 阿部ニ會ヒ栖原氏顧問ノ件ト板金工、圖工広告ヲ依頼ス 佐藤ノノーム機體製作ノ件二月廿日迄二千円ナリト云ツテ居ク ツバメニ寄ル 丁度白戸君ガ來テ居ク

▲▼10ページ▲▼ 大正10(1921)年1月7日(金)

天気 晴

記帳金銭出納後太田ニ佐藤ノ件聞ク マダ會ワナイトノコトナリシモ二月廿日迄昨日鳥飼氏ニ受合シモ到底間ニ合ワザルベク白戸ノモノヲヤレバ間ニ合フ上鳥飼氏ノノーム同時ニ方附ケ得ラルベク下相談出來自分スグ白戸ニ行キ話シス ナルベク百廿ヲ賣ツテ呉レトノコトデアッタガノームノ方デナケレバ駄目ダト話シ式千七百五十円白戸手取りニテ取極メ帰ル スグ太田ニ其旨フクメタ方上京セシム 謝君ノ友來 入所シタシトノコト 見學ヲ許可ス

稲毛ヨリ迎へ來 直ヲ正妻ニシタル披露ヲスルニツキスグ來テ吳レトノコトデアッタ 大急  
ギデア行ク 帰り車ナク泊ル

▲▼11ページ▲▼ 大正10(1921)年1月8日(土)

天気 曇リ

六時半頃金太郎ニローンノペラヲ取りニヤル スグ車ヲタノンダノニ九時頃ヤツテ來テ帰  
ル 十一月ノ決算ヲナス。過日ノ木材不良多ク午後青島ヲ連レテ上京 長島屋ヲ見タ  
ガナク斎藤ニテ購入ス 白戸君モ材木ヲ購入スベク上京 両国ニテ會フ 同君ハ深川へ行  
ツタ

鳥飼ニ行キ太田ニ會フ 佐藤ハ白戸ノ飛行機ト鳥飼ノローン 合計四千五百円ニテキ  
マル 内訳左ノ如シ 白戸機体式千七百五十円 鳥飼千四百円 プロペラ付百五十円  
自分百五十円 太田五十円記念號へ  
七時十分ニテ帰ル

▲▼12ページ▲▼ 大正10(1921)年1月9日(日)

天気 晴

十一月分ノ決算ヲ終ル

地所広サヲハカル 麦ノ方式百卅坪八合八勺 豆式百五十坪 〆四百八十坪八号八  
勺 スグ契約書ヲ書カセル 明日調印ノコト

鳥飼氏來 晝食 ローン購入ヲ決定シイスパノ二百記念號ニ相談ス 馬詰機体ヲモ協議  
ス

補修々理金ノコト新聞ニ出タノデ今日大坂佐渡島、竹島、中山、兄、へ手紙出ス  
尚起業支出予算表ヲ作ル

▲▼13ページ▲▼ 大正10(1921)年1月10日(月)

天気 晴

小栗來ルトノコトニ待ツタガツヒニ來ラズ

午後白戸來 ローン百廿ノ圖面持ッテ帰ル

地所調印ヲナシ代一ヶ年分支拂フ

安岡帰所ス

▲▼14ページ▲▼ 大正10(1921)年1月11日(火)

天気 曇後晴

八時半上京 白戸ト共ニ航空局ニ行ク ピストン一両日中ニハカル 來ル廿日ヨリ卅一日迄所沢見學 矢野月一許可ヲ得  
都筑氏ヲ訪問 不在 パウリスタニテ晝食後 協会ニ行ク 三時過ぎヤット皆揃フ 水田、石橋、小栗、白戸自分 但シ各自多忙タラシク少シモ落付キナクツヒニ自分等ト北尾君ニテ決定事項ヲ定メテ帰ル 時ニ五時 スグ鳥飼ノ招キデ松本楼ニ行ク 小栗スデニ大ニヨツテ居タ 吉田、阿部ノミ、  
鳥飼氏今夜北海道へ立ツ  
ピアノ線秋田ヨリ青木へ注文ス 佐藤ニ航空局ニテ會ヒ社團法人ヲ語ル 大分首ヲカタムケテ居タ  
近來白戸自分飛行場ニ対シ他飛行場及飛行家ヨリネタマレ気味ナルコトヲ感ズ 大ニケイカイヲ要ス

▲▼15ページ▲▼ 大正10(1921)年1月12日(水)

天気 晴

中山、英祿両氏ヨリ來信アリ 英祿氏ヨリハ中山氏ヨリ自分へ意見ヲ云ツテ呉レト云フ様ナ意味デアッタ 然シガイシテ好感ヲ持ツタ手紙デアッタ  
本日ヨリ仕事場均シヲ初ム。左官ニ溝ノコンクリートヲヤラセルコトニ話シス 木材一貨トニ馬車來ル 広告ヨリ大分申込ミガ來タ様ダ 稲垣氏ニ一任ス。佐藤君來 晝食ヲ共ニス 後藤君ノコトヲ大変気ニシテ居タカラ安心スル様云ツテ居ク  
一時五十七分ニテ上京 林亭ヨリ小栗へ電話カケル同気クラブへ行ツタトノコト 自分ノ行先キヲツゲテ新橋東洋軒へ行ク  
豊馬阿部両氏ニ會フ 途中都筑氏へ据付見積トプロ。ヘラ定點ヲ依頼ス 本日ノ會合ハ雑誌新聞記者ニテ航空シンジケートノ博覧会事業ノ披露デアッタ。宴後豊馬氏ヨリシンジケートニ対スル自分ノ立場ヲ聞ク 金銭上何等關係ナク阿部ノ事業ニ対スル名前上ノ後援ト云フコトデアッタ  
東洋軒へ小栗來 ローン機体イクラデ作ツテ來レトノコト 後ヨリ見積リスルコトニテ分レル

▲▼16ページ▲▼ 大正10(1921)年1月13日(木)

天気 晴

終日在所 帳簿少シ 職工申込ミ稲垣君ニ一任 時々用件ヲ聞ク。太田昨日一昨日上京セシモ佐藤ニ面會シ得ザリシ由  
晝ローン快速機ニツキ稲垣氏ト工夫ヲコラス。三時頃坂東氏來 來意六百五十万円ノ

製造株式会社ヲ作ルニツキ自分ノ意見ヲ聞キニ來ラレタノデ成立ノ上ハ自分工場合同ノ件モ話シアリタリ 尚發起人中八個人トシテ名ヲ貸スコト。後藤君ノ格納庫ヲ工場ノ續キニ建テルコト カーチス一台ツクルコトノ話アリ 大体ニ於テ賛成シタ 夕食後帰ル

▲▼17ページ▲▼ 大正10(1921)年1月14日(金)

天気 雨

終日記帳 工場見積リヲナス。夕方鳥駕ヲ作ルベクウエルトヲナス

▲▼18ページ▲▼ 大正10(1921)年1月15日(土)

天気 晴

九時十四分稲垣氏ト上京 先ヅ吉田氏ヲ訪フ 予想通りマイバッハ、メルセデスマトメテ買ツテ呉レトノコトデアッタ マイバッハ式千弍百円デヨイガマダ多少ハ何ントカナルトノコトデアッタ 夜帰ツテ佐野ヲ呼び大ニ考ヘル 航空局へ見学ト發動機工ノ願書ヲ出ス

鳥飼ニ行ク 今夜帰ルトノコト 晝食ヲ馳走ニナリ銀坐ヲ買物シテ丸善ニヨリ日本橋ノ家庭食堂へ這入り自動車ヲ呼び渡辺氏ヲ訪問ス 不在 スグ帰宅ス

▲▼19ページ▲▼ 大正10(1921)年1月16日(日)

天気 晴

終日在所 十二月記帳終ル

▲▼20ページ▲▼ 大正10(1921)年1月17日(月)

天気 晴

七時下リデ白戸ニ行ク 上京セリトノコト スグ上京 鳥飼ニ立寄リフレザー工場ニ行ク 白戸ローン組立中デアッタ。足立氏ノ案内ニテ格納庫ニ行キブレゲーヤカーチスヲ見学シテ帰ル處へ白戸及ビ菅野両氏ガ迎へニ來タ 共ニ芝浦ニテ晝食 フレザーニ行キ佐藤ニ立寄リツバメニ行キ大ニノンデ八時十分ニテ帰ル  
ローン焼ケタトノコト ロット黒クナツテ居タ 大ニ非(ママ)感ス

▲▼21ページ▲▼ 大正10(1921)年1月18日(火)

天気 晴

ニサイクル長尾破損 スグ修理ニカゝル  
十時十三分ニテ上京 佐藤ニ行ク 不在 吉田氏電話スル 不在ニツキ渋井氏へ自分  
來意ヲツグスグ帰宅ス タ方辻工場

▲▼22ページ▲▼ 大正10(1921)年1月19日(水)

天気 晴

朝工場ヲ一巡シ九時十四分ニテ上京 スグ湯浅ニ行ク 吉田氏在 マイバツハ廿台貳万  
三千円 メルセデス十台七千円 合計三万円ニテ保税ノマヽ引取ルコト 税金湯浅持チ  
ナレバ尚多少考ヘル予(ママ)地アリト述ベ 一週間以内ニ返事スルトノコトデアッタ。鳥  
飼ニ行ク マダ帰ツテ居ナカッタ 品注文シタ處ヲ各電話ニテ請求シ藤村へ名刺ヲ注文  
ス。小栗今朝工場へ行ツタトノコト 鳥飼へ來 八十最(ママ)非作ツテ呉レトノコトデニ  
千円機体ノミ翼張りカバリングヲ小栗氏持チ 三月十日辻トノコトナリシモノパイ  
ト見ルコト ナルベク早クツクルコトヲ條件トス 手金明日カ廿四日受取ルコト  
今朝焼金トシデホ式片翼焼失セリトノコトニスグ翼布ヲ求メテ帰ル。  
フレザー協會佐藤ニ立寄ル 今日ハ大ニ氣持チヨク仕事ガハカドツタ  
ホ式焼イタノハ佐藤君助手ノ過失ナリキ シカシ大事ニ到ラズ且ツ消火器ガ大ニ役立ッ  
タコトハ神ニ感謝スル

▲▼23ページ▲▼ 大正10(1921)年1月20日(木)

天気 晴風

昨夜十二時頃ヨリ目醒メテツヒニ眠レズ 古イ日記帳ヲ讀ミ五時半ニ及ブ 三年四年  
頃ノ苦心ニ比シ今日ノ發展ヲ嬉(ママ)ブ  
十時頃工場ニ行キ日記及帳簿後ニ三手紙ヲ書ク 高知ノ竹下氏ヨリ飛行会開催ノ申  
込ミアリ 鬼頭氏ニ一任セシ旨ヲ返ス  
午後三時頃田中亀氏來 工場ヲ見セ丁度小栗氏ノ注文受書ヲ書イテ居タ處ナノデッ  
レモ見セ後宅デ一杯出ス 四時四十五分ニテ帰ラル 後藤君帰場ス 食事シテ八時  
頃帰ル  
役場へ山内寄留届及ビ事業調書ヲ出ス

▲▼24ページ▲▼ 大正10(1921)年1月21日(金)

天気 晴

九時ニテ上京 佐藤ニテ鉄板、木捻ヲ注文シ消火器ヲ求メ鳥飼ニ行ク 太良右衛門ス  
デニ來テ居タ エーテルヲ注文シ持タセテヤル 小栗へ電話ニテ話シス 金廿四日呉レル

トノコト

帰途佐藤ニテ木捻線帯ヲ受取りテ帰ル

▲▼25ページ▲▼ 大正10(1921)年1月22日(土)

天気晴

八時七分ニテ千葉ニ行ク 待タサレルコトヲ予期シテ本ヲ買ツテ行ク 証人ハ自分ト專太郎 十時半ヨリ初ツテ一時前終ル 森原氏ト梅松別荘へ食事ニ行ク 專太郎ガ大ニ有利ナ証言ヲナシタノデヨカッタト非常ニ嬉(ママ)ンデ居タ 尚福永ニモ証人ニナツテ貫フトノコトデアッタ。氏ハ二時ニテ帰京 白戸君ヲ電話シタ處島田君ノ母死去ノ爲メ九州へ行ツタトノコト 宅ニ行キ二時間程遊ンデ帰宅

▲▼26ページ▲▼ 大正10(1921)年1月23日(日)

天気晴

終日在宅 晝過ギ渡辺氏來場 少時ニテ稻毛へ行カレル 明後日會談ノ打合せヲナシ承諾ヲ得

十二月分記帳引合セ

大坂へ手紙四通出ス マカナイノコトニツキ四良平君ノ意見ヲ聞ク爲メ

夜川辺君ヨリ發動機ノコトニツキ長文ノ電報アリ 明朝返ス

▲▼27ページ▲▼ 大正10(1921)年1月24日(月)

天気晴

九時十四分ニテ上京 湯浅ニ行ク 吉田氏不在 三田氏ニ入口ニテ會フ 返イマダナシ分譲ノコト聞ク 絶対ニサルコトナシトノコトデアッタ フレザーニ行キ車輪聞ク 一ペーヤー百七十円トノコト。尚明日格納庫見学依頼シテ鳥飼ニ行ク 宮本組ヨリ來テ呉レトノコトニ行ク リバーテイーイツ引取ツテ呉レルトノコトニ三月ノ予定ナレドモ宮本組ノ希望ニヨリナルベク二月ニ引取ルコト 予備品ハ二ヶ月位先キノコト 鳥飼ニテ晝食後協会ニ行ク 会スルモノ白戸、小栗、石橋、馬詰、磯部、玉井、藤原、後藤、以上。主ニ春ノ飛行ニツキ希望ヲ決定ス

小栗飛行機内金千五百ノ處千円受取ル イヨ、製作ニカ、ルコトニナツタ

▲▼28ページ▲▼ 大正10(1921)年1月25日(火)

天気晴



川西戸川君へ車輪ノ件手紙出ス  
十二時六分ニテ稻垣氏ト上京 目的渡辺氏ト親交ヲ結ブ爲メ両国ニテ少時待ツ 同氏來 共ニフレザーニ行ク 尾崎、佐藤両君ニ會フ 丁度ボートヲ見ニ行クトノコト 共ニ行クトニス 我レ鳥飼ニ立寄ル 都築氏ニ會フ 千円ノ件五百円ダケナラ都合スベク返ス ソレデモヨイカラ明後日迄ニ鳥飼宅迄取リニ來ルトノコト承認ス。芝浦ニ行ク 尾崎氏等スデニ去ッタアトデアッタ 約一時間バカリミテ足立君、菅野君共ニ開花ニテ夕食ス  
十時ニテ帰場 目的ハ充分ニ達ス

▲▼32ページ▲▼ 大正10(1921)年1月26日(水)

天気晴

頭悪ルクニ時頃迄寢ル 後藤君、白水君等來 共ニ工場ニ行ク 夕方帰り食後スグ床ニツク  
電話ノ件公設特設同時ニ引ケル場合二千五百円ノ寄附 公設ノミノ場合千七百五十円ノ寄附 承認書ニ印ヲ押ス

▲▼30ページ▲▼ 大正10(1921)年1月27日(木)

天気晴

終日在所 小栗ヨリ白水君プロペラ製作ノ件ニテ記帳  
鳥籠ヲ少時ツクル  
ローン八十調子不良 サクシヨンパイプパッキン直サセ良クナル

▲▼31ページ▲▼ 大正10(1921)年1月28日(金)

天気晴

終日在所 十二月分決算ヲ終ル  
ローンピストン破壊 練習中止  
安岡後藤ローン百廿ニ乗ル 直線飛行ヲナス 成績頗ル良シ  
後藤本日大ニ飛ブ

▲▼32ページ▲▼ 大正10(1921)年1月29日(土)

天気晴

朝工場ニ行キ調べモノヲナシ九時十四分ニテ藤原、後藤両氏ト上京 藤原ハ太田飛行場ヘ行ク 後藤氏ト湯浅ニ行ク 一台ヅ、分割スルコトニナツタトノコト マイバツハ三千円以内ニスルコト月曜日ニ返事 吉田氏來津ストノコト 後藤氏二千五百円依頼シ自分航空局北島氏ヲ訪フ ピストンノコト月曜日ニ極メテ返事スルトノコト 鳥飼ニ行キ晝食 旭酸素ニテ千五百円受取り内五百円鳥飼ニ渡し今月ノ計算ヲナシ伊藤屋、フレザーニテタイプライター、ヤスリナドヲ買ヒ佐藤ニテ勘定ヲシ上野ニテ金趣ヲ求メテ帰ル 六時四十分 車中徳永氏ニ會フ

▲▼33ページ▲▼ 大正10(1921)年1月30日(日)

天気晴  
在所

▲▼34ページ▲▼ 大正10(1921)年1月31日(月)

天気晴  
在所 諸支拂ヒヲナス  
亀井君來 父ト共ニ二日ヨリ通勤ストノコト  
夕方吉田氏來 マイバツハ三千參百円 メルセデス式千式百円ナリト マイバツハ後藤ニ台自分一台 一兩日中ニ契約ノコト 夕方ヨリ同氏ト千葉ニ行キ梅松ニテ夕食ス 白戸不在

▲▼36ページ▲▼ 二月

- 一 マイバツハ、ローン八十引取りノ件
- 二 佐藤氏、及ビローン八十完成ノ件
- 三 リバーテイー設計ノ件
- 四 ローン小栗分製作ノ件

▲▼37ページ▲▼ 大正10(1921)年2月1日(火)

天気晴

今日ハ行クカ行カマイカト大ニヨツタガ広サンガ來タノデ行クコトニ決ス 銀行ガ遅レタ爲メ十時ニ乗ル 深川ノ河合ヘ行ツタガ不在 近所ノ橋屋デ聞イタガアマリ安クナイノデ齋藤ニ行キ廿四尺モノ及ビ十五尺モノヲ買入レ浅野ヘニヤ注文金支拂 長島屋、佐

藤、秋田、青木、各金支拂及ビ注文ヲナシ晝食 丁度四時半 広サン先キニ帰ヘシ白戸ノ電話ニヨリ有光館ニ行ク 協会ノ水野外江藤氏ノユカリノ人中野氏ニ會フ 八時十分ニテ帰場

◆▼38ページ◆▼ 大正10(1921)年2月2日(水)

天気 晴

朝玉木村井其他所員練習

後藤君午後マイバツハ手金ノ件ニテ帰京

午前安岡ト練習ノ件打合せ ニサイクル組二名外見学生全部ヲ集メテ練習延期ノ件ヲ相談ス 皆諒トシテ承諾 山崎、西森、帰国ス 旅費貸與

藤原機体ノ件ニテ上京

謝君ヨリ電報アリ 五日頃行クトノコト

ホ式佐野組立シモノ問題ニナラズ 柱全部間違ヒ 今日初テナシタルモノノ如キシ 困ツタモノナリ

◆▼39ページ◆▼ 大正10(1921)年2月3日(木)

天気 雪

朝早く鳥飼ヨリ今日マイバツハノ契約ヲスルカラ來テ呉レトノコト 上京 吉田不在ツヒニ駄目

岸飛行場破産。陸軍モ式注文残りアルトノコト ユイツ引受ケタイモノト早速阿部ノ處ニテ知覧ノ處ヲ聞キ大崎ヘ行ク 雪スデニ四五寸積リニ横ナグリニ降り來ル 丁度在宅 目下ノ状態ト希望ヲ話ス 明日スグ陸軍ト岸ノ方ヲ聞イテ呉レトノコト ヨク依頼シテ帰ル

八時十分ニ乗ル 雪益々盛ンニシテ帰宅スル頃ハ北風ハゲシカッタ

◆▼40ページ◆▼ 大正10(1921)年2月4日(金)

天気 曇リ

七時ニテ矢野君ト上京 打合セタル白戸來ラズ 二人デ所沢ニ行ク 細村屋ニテ晝食 後補給部ヘ行ク途次白戸ニ會フ 共ニ行ク 戸賀、中沢両氏ニ聞イタガ要領ヲ得ズニ時半ニテ帰京 白戸スグ帰ル 自分鳥飼ニ行キ知覧ニ會フ 夕食ヲ共ニス 岸ノ方スデニ陸軍ト無條件解約シ陸軍モ之レヲ幸ニモ式建造ヲ中止スル由。台湾ニテ尚モ式ヲ使用セルニツキ其方聞合セテ貰フ 尚岸ノ職工ノコトヲ依頼シテ帰ル

▲▼41ページ▲▼ 大正10(1921)年2月5日(土)

天気晴

八時半ニテ白戸ト共ニ上京 航空局ニ行キピストンノ件聞ク ヤハリ表向キニハ出来ナイ  
カラトノコトニ此件ハ白戸ニ一任スルコトニシタ

協会ニテ飛行士俱樂部會合 第三回郵便飛行ノ件ヲ議ス 一番問題ニナツタノハ途中  
着陸ヲシタトシナイノト賞金ガ同ジト云フコトデアッタ 之レハ多少差ヲ付ケルコトトシ  
タ 鳥飼ニ立寄ル 知覽來ラズ電話ヲカケル 來客デ來ラレナイトノコト 白戸ト帰ル  
ツバメノ支拂ヒヲナス

▲▼42ページ▲▼ 大正10(1921)年2月6日(日)

天気晴

知覽ツヒニ來ラズ

金錢出納ヲナシ陸軍へ出ス設備圖ヲ作ラセル

謝君來ル

大口來 寄宿ノマカナイヲヤリタイトノコト 勝手ナヤツダ 白戸來 帳簿ヲ合セテ帰  
ル

▲▼43ページ▲▼ 大正10(1921)年2月7日(月)

天気晴

飛行場設置議會請願書ニ判ヲ押スベク上京前ホ式八津沖ニ着陸 行キテ見ル イツカ  
折レタロツカーガ折レテ居タ 先ヅ安心 スグ船橋ヨリ乗ル 後藤謝君共ニナル 車中後  
藤氏現在所有品ヲ以テ会社へ入レテ呉レトノコト 大ニ共鳴スル處アリ 午後阪東氏ニ  
會フコトトス 協会ニテ判ヲ押シ白戸ト少シ買物ヲナシ人形町ニテ晝食 ミナ裏兄夫人  
ヤ兄ノ菊太郎來 四時頃勘定ヲナシ約束ニヨリ一人開花ニ行ク 三十分バカリニテ阪  
東、後藤、藤原ノ兄來 話シ進ミ近日阪東氏同道帰坂ノコトニ決シ大ニノム 終列車ニ  
乗レズ泊ル

▲▼44ページ▲▼ 大正10(1921)年2月8日(火)

天気晴

八時半ニテ帰所 晝迄工場 午後身体ツカレタノデ眠ル 自分ナガラ弱イニ驚ク 身体  
ノ強壯ヲハカラネバナラヌ

夜佐野稲垣ヲ呼ビ昨日ノ經過ヲ話シ藤原ノ機体面倒見テヤルコトヲ告ゲル

▲▼45ページ▲▼ 大正10(1921)年2月9日(水)

天気 晴

朝工場へ工場圖面ヲ取りニ行ク ツヒデニ中山氏へ一枚送附 佐野ニ立寄り今日赤羽ヨリ二名來ル由ニツキノレノ打合せヲナシ八時半ニテ上京 湯浅ニテマイバツハ契約ヲナス 知覽氏ニ電話スル 砲兵工廠へ行クノデ十二時カラ一時ノ間ニ鳥飼宅迄來ルトノコト 其間ニ散髪ヲナシ佐藤ノタンバツクヲ急ギ都筑氏ノ機械聞合ス 四台今月中ニ出來ルトノコト 千五六百円用意シテ呉レトノコト 斎藤店ニテ木割り檜ノ件引取り交渉ス 然ル處アナタノ方デ取レルダケ取ツテソレダケノ金ヲ貰ヘバヨイカラ取ツテ居イテ呉レトノコト 一時過ギ知覽氏來 曙へ行キ晝食 圖面ト共ニ差出スベキ書類ヲスグ送ルカラソレト一所ノ方ガヨイトノコトニ然ルベク決ス 少シ買物ヲナシ四時半ニテ帰ル 平次郎來場シテ居タ 都筑ノ助手西島ガ練習生ヲ連レテ來タガ白戸ノ方ヘヤツタ 赤羽ヨリ二名來リタル由 矢野所沢ヨリ帰ル

▲▼46ページ▲▼ 大正10(1921)年2月10日(木)

天気 晴

ホ式(ット、ヒビガ行キウエルトノ爲メ今日モ練習不能 終日在所記帳 陸軍へ提出ノ圖ヲ引カセル 製作飛行機予定ヲ稲垣ト作ル 左官ノマカナイヲ止メサセ平次郎ニヤラセル 夜里來 發動機ノ方ヲヤラセテ呉レトノコト 警察電話ノ電柱移轉ニツキ技士工夫來ル 明日ヤルトノコト

▲▼47ページ▲▼ 大正10(1921)年2月11日(金)

天気 雨

記帳 大坂中山氏へ上京ヲウナガス手紙ヲ出シタ 夕方小栗プロペラ取りニ來ル 夕食 後帰ル 藤原機体製作ノ件長尾手傳ワセルコトニス 夜佐野、玉木、長尾、安岡一寸遊ビニ來タ

▲▼48ページ▲▼ 大正10(1921)年2月12日(土)

天気 雨風

雨風ハゲシク上京ヲ見合セ様ト思ツタガ昨日知覽ヘ職人ニ會フコトヲ電報デ依頼シテ居  
イタノデ行クコトニシタ 佐藤ヘタンバックヲ作り直シヲ渡シ航空局ニ行ク 第二課ニ小  
倉大佐一人デアッタ 稲垣君ヲ表章(ママ)スルトノコトデ圖面提出ハ其爲メラシカッタ  
ハガキデ呼出シノコトハ第一課ダトノコトニ行ク 児玉氏ニ會フ 次長ノ用ダトノコト  
次長ニ會フ 飛行場問題カラ希望條件ヲ聞カセテ呉レトノコトデアッタ イヅレ俱樂部  
ニテ 洪建ノ會合ノ上御願ニ出ルト云ツテ帰ツタ  
鳥飼ニテ日本飛器製作所ヘ電話カケタガ居ナイノデ知覽ノ宅ヘ手紙ヲ出シ急グ旨ヲ頼  
ンデ買物ヲナシ帰ル

▲▼49ページ▲▼ 大正10(1921)年2月13日(日)

天気 晴

午前記帳 大坂英祿氏及兄、姉へ手紙出ス  
午後岩崎氏車輪ノ件ニテ來 價ノ違ヒニテ不調ニ終ル 三時頃ヨリ食事中石橋君來  
アトヘ後藤君モ帰所 大ニ賑フ 石橋今夜福永ノ方ヘ見ニ行クトノコト  
夜後藤君來 合同問題興行部ヲ全部ヤラセテ呉レトノコトハヨイガ飛行機飛行士ヲ全  
部自分ノモノニシテヤラセテ呉レトノコトデアッタ 之レハ少々考ヘナケレバナライ  
第一自分ノ方ノ飛行機ヲモ買取ツテトノコトナレドモ其金モマダ出來ナイトノコト ウ  
ヤムヤ、、、ニ終ツタガ合同ナラアクマデ資本モ合同トセネバナルマイ

▲▼50ページ▲▼ 大正10(1921)年2月14日(月)

天気 晴

一月分記帳終リ引合セヲナス  
大工四百円渡ス

▲▼51ページ▲▼ 大正10(1921)年2月15日(火)

天気 晴

格納庫内ノ坐敷ヲ壊ス 午後大半上京ス。自分ハ鳥籠ヲ作ル  
矢野氏職工ノ件ニツキ宗里ヘ行ツテ貰フ  
夜一寢入シテ目醒スト火事ダト表ヲ走ルモノガアッタ 丁度十一時 出テ見ルトスグ  
西三三丁ノ處ニ火ガ上ガツテ居タ 五六軒焼ケテ消エタ 稲毛カラモ見舞ニ來タ 第三  
部消防組ヘ大家ニ聞イテ金十円酒肴料ヲ出ス 三時就寢  
矢野氏終列車ニテ帰ル 今日ハ宗里ニ會エズトノコト 明日マイバツハ見ルベク矢野氏横浜

行き 帰りニ宗里へ會フベク依頼ス

▲▼52ページ▲▼ 大正10(1921)年2月16日(水)

天気 曇後雨

五時半矢野氏來 上京ス 後一寢入シテ起床風引ト寢不足デ頭痛ガシテイケナカッタ

鳥籠ヲヤツテ工場へ二回行ク。洪ニ修理金ノコトヲ語ル ハタシテ驚イテ居タ  
建築ボールト一尺八寸ト八寸ノ間違ヒニテイソギ注文ニヤル

▲▼53ページ▲▼ 大正10(1921)年2月17日(木)

天気 晴

記帳

夜安岡來 將來ヲ大ニカタリ決(ママ)東ヲ固クスベク語ル 洪金ノ件タミヤ主人モ來  
リ大ニ論ズ 後チ自分ノ彼レニ対スル同情モ話シ練習サセルコト決ス 本人モ満足シテ  
歸ル

▲▼54ページ▲▼ 大正10(1921)年2月18日(金)

天気 晴

十八日 上京 阿部、井上、岡本少将仙台博ノ人ニ會フ 飛行ノコトナリシモ白戸氏へ話  
シセシモノニ付同氏ニト云フコトデコトワツタ。航空局ニ行ク 北島氏マダ歸ラズ ソレヨ  
リ阿部ニ行キ願書ヲタイプライターニテ打ツテ貰フ

▲▼55ページ▲▼ 大正10(1921)年2月19日(土)

天気 晴

七時九分ニテ上京 鳥飼ニ立寄り航空本部ニ井上本部長ニ會ヒ航空局ニ畑次長ニ面會  
願書ヲ差出シ話シヲナシテ歸ル 児玉大尉ニモ會フ。宮本組ヘラジエター見ニ行ク 博覽  
會ノ件阿部児玉大尉ノ評悪シク宮本氏ニ取ナシヲ依頼シテヤル 十二時十分ニテ帰宅  
後藤君上京セシヨシ 自分決算ヲナス  
謝君ニ將來ヲ語ル

▲▼56ページ▲▼ 大正10(1921)年2月20日(日)

天気晴

早朝千葉ニ行キ飛行士クラブ会合ノ見(ママ)打合セテ帰り工場ニ行キ午後一時五十分ニテ上京 佐藤ニ注文ヲナシ後藤事ム所ニ行キ坂東後藤両氏ニ會フ 結局時機尚早ニツキ自分タチデダト金ガ出來タ時合同ヲシヨウトノコトデアッタ 夕食ハ鳥飼ニテ馳走ニナリ七時ニ乗ル

▲▼57ページ▲▼ 大正10(1921)年2月21日(月)

天気晴

八時梅田着 西丹下町ニ行キ朝食後中山氏ニ電話スル スグ安堂寺町ノ事務所ニ行ク マダ少シモ要領ヲ得テ居ナイトノコト 西店ニ行ク 色々話シノ末五十万円ノ件竹島モ自分ト同額負擔シテ呉レルナラヤロウトノコトニ同氏竹島氏ニ會フベク電話セラル 三時來ルトノコトニ待ツ 三時半ヨリ竹島、西店、自分、兄、會見 中山氏所要(ママ)ニテ帰宅 竹島氏ノ意見縮少(ママ)説ニテツヒ二十万円モアヤシクナル 自分モ必死ノ勇ヲオコシテ戦ヒツヒニ規定ノ金額ダケハ支拂サレルコトニ確定シタ上外ノ金アツマラナイ場合ハ合資会社ニスルコトトノ話シニテ一先ヅ打切ツテ今宮ニ行キ夕食後ナンバニ歸リテ九時床ニ入ル

▲▼58ページ▲▼ 大正10(1921)年2月22日(火)

天気晴

朝中山氏ヲ訪問ス 株式会社ハアト僅カニ二万円募集スルノミナレバスグ出來ルトノコトニテ自分モヤ、愁眉ヲ開キ共ニ午後西店ニ行ク 主人モ賛成シ成立スルコトニナリシニ前々ハシナクモ取締役ニ主人ガ成ラヌ時ハ中山氏モ辭退スルトノコトニ主人ハ勿論ナラズツヒニ不得要領ニ終ル

帰途井上長君ヲ訪フ 風ヲ引イテ寢テ居タ スグ辭シテ帰宅夕食 大ニノンデ床ニ入ル

▲▼59ページ▲▼ 大正10(1921)年2月23日(水)

天気晴

兄ト協議ノ上中山氏ヲ頼ムベク朝宅ニ行ク 主人イケナイ場合中山氏最(ママ)非一人取締役ニナツテ貰フコトヲ依頼シ兄ト自分一足先キニ西店ニ行キ色々頼ム ツヒニナラズ 中山氏ニ行ク 丁度晝時ニ付晝食ヲ共ニ中山氏一人西店ニ行ク 後一時間 ヤハリ要領ヲ得ズ再ビ三人ニテ行ク 主人受ケ付ケズ中山氏ナラズ不成立ニ終ル 兎三角今月ノ拂ダケ主人ト竹島ニ出シテ貰ツテアトハ來月ノコトニシタラヨカロウト中山氏ノ發議ニテ其事ニホヅナシテ明日竹島ヘ行クコトニシテ分レル 実ニ金ノ前ニ價値ナキコト自



分ナガラ非(ママ)觀シタ

今日宮本組湯浅發動機引取レヌコトヲ云ツテヤツタ

▲▼60ページ▲▼ 大正10(1921)年2月24日(木)

天気晴

朝中山氏ト竹島ニ行ク 会社ノ件スグ承諾 取締役健一氏ノ名借リルコト之又承諾セラレ大ニ安堵ス 金五千円依頼ス アトヨリ送ルノコト

午後佐渡島ニ行ク 同ジク金タノム ヤハリアトヨリ送ルトノコトニ大ニ困ツタガ今日帰ルコトニシタ。

朝早ク藤原君來 川辺來 飛行機四五台至急入ルトノコト 今夜イッパイデ帰ル

▲▼61ページ▲▼ 大正10(1921)年2月25日(金)

天気晴

九時着 鳥飼ニ立寄ル 同氏帰宅シテ居ラシタ 小栗ニ電話ニテ打合セ両国駅前ニテ會フ 五百円廿八日午前中ニ呉レルコトニ約束ス。川辺君ヲ小馬(ママ)町ニ訪問ス 横浜へ行ツタトノコト 明日來ル様依頼シテ帰場 佐藤、後藤ニ各金ヲ依頼ス 藤原夫人ヨリ百五十円寸志受取ル

▲▼62ページ▲▼ 大正10(1921)年2月26日(土)

天気晴

後藤矢野東京写真寫シニ晝飛ンデ行ク 鳥飼氏來 晝食シテ研究所ニ行ク アトへ川辺外ニ名來 又晝食ヲナス 後チ飛行場ニ行キ四時過ギヨリ徒歩ニテ稻毛ニ行ク 夕食後三人ハ泊ツテ自分帰ル

今日後藤君ヨリ又々合同問題アリ 要點ハ研究所ノ名儀(ママ)ニテ実ケンヲ後藤君ニマカセ飛行機モ全部賣渡シタコトニ利益ノ中ヨリ返却シテ行クトノコトデアッタ

▲▼63ページ▲▼ 大正10(1921)年2月27日(日)

天気晴

給料ノ支拂ヲナシ後チ稻毛ニ行ク 晝食後打連レテ白戸ニ行ク 夕方追遊ンデ町ヲ散歩シ並木ニテ洋食ノ馳走ニナリ八時五十五分ニテ帰ル 三人ハ稻毛ニ泊ル 例ニヨリ白戸夫人大ニツトメル

ゲオルギーノ日本語益々上達ス

▲▼64ページ▲▼ 大正10(1921)年2月28日(月)

天気 晴

諸拂ヒヲ佐野ニ依頼シ九時半銀行ヘヤル マダ金來ラズ午後來ルベシトノコト二十時二十分ニテ上京 車中川辺一行ト會フ 駅前ニテ少ケイ 川辺君ハ發動機運賃百十二円ヲ貸ス 佐藤ニ注文品ヲタノミ鳥飼ニ行キ馳走ヲナス 白戸來 共ニ航空局ヘ行ク プロペラ借用願書ヲ出ス スグ小栗ニ行キ現金五百円受取ル 鳥飼ニ帰り共ニ赤羽橋附近ヘ機体賣物アルヲ見ニ行ク 其處ヨリ鳥飼ニ分レツバメニ行ク 白戸ステデニ待ツテ居タ 八時十分ニテ帰ル 金午後着イタトノコト 安心ス 白戸ヘ三百円貸ス

▲▼66ページ▲▼ 三月

会社設立ノコト

佐藤機体完成引渡シノコト 十日迄

小栗機体引渡シノコト 十五日迄

八十宙返リ用完成ノコト 卅一日迄

リバーティ、マイバツハ、ローン引取りノコト

高知契約ノコト

▲▼67ページ▲▼ 大正10(1921)年3月1日(火)

天気 曇後雨

綿花鳥一匹死ス 一匹モ元氣悪シク夕方新聞紙ヲツナギ籠ノ上ヨリカブセル

朝工場ニ行キ金銭出納ヲナシ帰ル

今日対後藤策ヲ協議スル予定ナリシモ人員ソロワズ中止ス

午後大坂へ手紙 金受取りヤラ会社依頼ヲ書ク

成田山ニ参詣ノ予定ナリシモ右ニテ遅レル 行ケズ写真整理ヲナス

▲▼68ページ▲▼ 大正10(1921)年3月2日(水)

天気 曇リ雨

終日工場 記帳 大ニカドル

阿部春吉入所

▲▼69ページ▲▼ 大正10(1921)年3月3日(木)

天気 曇り

午前記帳 午後川辺外二名來 夕食ヲ共ニス 本日ヨリ食客トシテ工場ニ泊ル  
本日工場全部棟上げ終ル

武力屋屋根三十五歩下見二十錢ニテ取キメル。半田坐金武力屋持チノコト

▲▼70ページ▲▼ 大正10(1921)年3月4日(金)

天気 晴

八時半上京前工場ヲ見佐野ニ不在中ノコトヲ話ス 昨夜製圖ニ佐藤來

矢島外數軒支拂ヲナシ鳥飼ニ行キ晝食 矢野來 共ニ航空局ニ行ク 第二課全部不在  
發動機拂下願書ヲ出シ写真器ヲ見ニ行ク フォーカカルプレシヤターノ暗函トテッサ  
ー十七番ヲ購入 手金廿円渡シ矢野スグ帰ル 自分宮本組へ立寄ル。リバテイー爲替  
手形デヨイカラ引取ツテ呉レトノコトニ明日渡スコトニ決ス

日本俱樂部ニ行ク スデ二十三四名集ツテ居タ 馬詰坐長トナリ會議進行中デアッタ  
後チ久能中将、畑次長米倉大佐児玉大尉外一名來 飛行士ノ金ヲカレコレ云フ我  
利々々ニハイヤニナッタ  
今夕幸ニゲオルギー、アフナセフ、両君ヲ一同ニ引合セル

▲▼71ページ▲▼ 大正10(1921)年3月5日(土)

天気 晴

ツーリン仮組立ヲナス

二月分記帳

夜対後藤策ニツキ佐野、稲垣、安岡、矢野ト相談 合同巨(ママ)絶ニ決ス

長尾ニ都筑氏へ現金千円持參セシム

写真機四百五十五円ニテ購入

晝宮本組店員來 五千円爲替手形渡ス

▲▼72ページ▲▼ 大正10(1921)年3月6日(日)

天気 晴

ローン猛列(ママ)ナル練習ヲナス ツヒニメインロット折レテ練習中止 モー皆單獨ノ由  
坐席交換 明日ヨリ單獨ニウルコトニナルノデ残念ガルコト頗ル非常 フレザーノローン  
取ルコトニ明日行クコトトス

▲▼73ページ▲▼ 大正10(1921)年3月7日(月)

天気晴

リバテイー引取リト同時ニコロン八十馬力フレザーニテ聞合セニ行ク 丁度白戸モ來テ居タ 丁度今横浜ヲ積出ス處トノコトニ大ニ嬉(ママ)ビスグ鳥飼へ話シ式千三百円ノ小切手ヲタノミ金六アス自分ノ方カラトゞケルコトニ約束シテ丁度馬力ノ居ルノヲ幸ヒリバテイー積込ミ後芝浦ニ行ク 然ルニ發動機へ百二十馬力ニテ大ニ失望ス 善後策ヲフレザーニ協議ニ行ク 明日ノコトニナル

▲▼74ページ▲▼ 大正10(1921)年3月8日(火)

天気晴

リバテイー引取リニ上京 尚ロリン八十馬力ヲフレザーニテ聞ク 丁度今横浜ヲ積出ス處トノコト

記帳 午後 上京十一時ニテ上京ノ予定ノ處水田外二名來 佐藤氏ヲ呼ビニヤリ晝食ヲ共ニス 二時ニテ上京 航空局ニテ白戸ニ會フ 共ニフレザーニ行ク 八十馬力スグ積ミ出スヤ否ヤ電報照介(ママ)中 十四五日頃返アル筈 夕食後九時十分ニテ帰ル 安岡待ツテ居タ 頭ガイタイノデ帰リタイトノコト 云ヒ方ガ変デアッタノデ少ナカラズ心配シタノデ大ニ引止メ策ヲ述ベテ居イタ  
タミ屋主人夜オソク來 横山問題今安岡ヨリ聞イタコトニツキ横山ニタノマレテ破門セザル様ニト來ル 謝絶シテ返ス

▲▼75ページ▲▼ 大正10(1921)年3月9日(水)

天気晴

昨夜ノコトニテ大ニ頭痛ス

早朝女ノ父及ビタミ屋主人來 事實無根ヲウツタヘル。女ノ父ノ話シニヨリ當分横山ノ處分ヲ見合ス。研究所ニテ帳簿

午後頭痛ヲ押シテ成田山へ參詣ニ行ク 帰途白戸ニ立寄り金七百円貸ス 夕食後クラブニテノミ終列車ニノル 両国迄乗越シテ東京ニ泊ル

川辺後藤安岡待ツテ居タ由 不在中今夜安岡ニ佐野稲垣ヨリヨク云ヒ聞カセルコトニ話シテ居ク

▲▼76ページ▲▼ 大正10(1921)年3月10日(木)

天気 晴

一番五時半ニテ帰ル 帰宅後安岡ヲ呼ビニヤル 昨夜稲垣佐野ヨリ話アリ 大ニ領(ママ)解スル處アリ 今月一パイニテ帰ル上六六ニ所發展ニ努力ストノコト 横山、西森、山崎皆帰ル ソレゞ、旅費貸與ス  
練習生ニローン八十修理ナル迄休ムコトヲ承認ヲ得 グレルジー手入ニカハル  
夜佐藤製圖工ノ給料ヲ決定ス 金六十円也 本人モ大ニ努力スベクチカッテ居タ

▲▼77ページ▲▼ 大正10(1921)年3月11日(金)

天気 晴

二月份記帳終ル

昨夜稲垣、後藤、露西亜人トプロペラニツキ大ニ談ジタトノコト 今夜ハ後藤氏宅ニテヤル筈

夜早ク床ニツク

今日ハ非常ニ頭腦ノ工合ガヨカッタ

夕食中村井父來 スグ帰ル 村井練習ニツキ万一ノ場合決シテ不平ナキ由特ニコトワツテ帰ツタ

野崎保証金返ス 午後帰坂ス

▲▼78ページ▲▼ 大正10(1921)年3月12日(土)

天気 雨

午前中出發準備ナシ晝食後二時廿分ニテ上京 佐藤へ注文品ヲナシ鳥飼ニヨリ五時廿分ニテ出發ス 万一ノ場合ヲ予想シテ二三腹案ヲツクリテ出發ス

▲▼79ページ▲▼ 大正10(1921)年3月13日(日)

天気 晴

七時着 九時西店ニ行ク 日曜ニテ多分出勤ナシトノコトニ住吉ニ行ク 大坂へ行ツタトノコト 奥サント一時間半バカリ話シテ帰ル

朝中山氏宅へ行き其後ノ様子ヲ聞き兎三角自分一人デ會フコトニス 本日ハツヒニ要領ヲ得ズ

▲▼80ページ▲▼ 大正10(1921)年3月14日(月)

天気 晴

終日西店二居テ會談 数時中山氏トノ關係ヲ聞ク 尚西店主人ノ意ノアル處モ知り得テコ、ニ最少限度ニテヤルコトニ決心シ費用ヲ書キ出ス 丁度壺万八千円ニナル 竹島式千五百円 残金アト不在西店主人一人ニテ引受ケルトノコトニホゞキマリテ帰宅ス

▲▼81ページ▲▼ 大正10(1921)年3月15日(火)

天気晴

西店主人ト會見 昨日ノ話シヲ一曾確實ナラシメ廿五日二一万円送金ノ快ダクヲ得テ今夜出ツ予定ナリシモ神戸行キ明日ニシ尚中山氏ニ報告モアリ 後日明日帰ルコトニ決ス。夕方、五平、諏訪外一名來 工場ノ模様ヲ聞ク 藤原問題起レリトノコト

▲▼82ページ▲▼ 大正10(1921)年3月16日(水)

天気晴

朝竹島へ昨日ノ結果ヲ報告シ、中山氏へモ報告ノ爲メ行ク 不在ニツキ高左右ヲ訪フ 晝食ノ馳走ニナル 支那へ飛機賣込ノコト 同氏練習ノコト 外二三話シ後中山氏へ行クベク途中西店主人ニ會フ 工合悪シクト見テ白水君ノ弔電ヲ打チ神戸へ行ク ダンロツピニテタイヤー聞合セスグ帰り中山氏ニ會フ 先程西店ト會見ノ結果、又々會社ニスルコトニ決定シタカラモ一昨日帰京ヲ見合セ相談シタシトノコトナリ。夜坂口、兄、ト夕食ヲ共ニス 坂口氏ノ好意 工場ニ帰ル 五次郎ヲ連レテ散歩出デ過日來ノ彼レノ意見ヲ聞ク 別ニ何等意見ヲシキモノナシ 十二時過ギ帰宅

▲▼83ページ▲▼ 大正10(1921)年3月17日(木)

天気晴

朝竹島へ行キ万々一ノ場合來テ貰フ様依頼シテ兄ヲ待ツ オソクナルノデ自分西店へ行ク 主人ニ一寸會ヒ中山氏へ行ク 中山氏西店へ行ク 主人多忙ニテツヒニ夕方ニナリ自分ト兄先ヅ會フタル上會社ニシ決定セルモノトシテ今夜帰シ万一出來ナイ時ハ一日ノ話シノ通りニ引受ルトノコトデアツタ處へ前中中山両氏來 再ビ話シ初マリツヒニ會社ト決定 主人ヨリ申込書ヲ受取り尚中山氏ト相談ヲトゲ金ノコトモ依頼シ竹島氏へ報告シ夜食後十一時ニテ出發ス

▲▼84ページ▲▼ 大正10(1921)年3月18日(金)

天気晴

十二時五十分着 新橋ヨリ電車ニテ有楽町ニ行ク 鳥飼宅ニテ藤原ニ會フ 問題ノコト

八何ニモ聞カナカッタ。知覧君ニ電話スル 台湾ヨリ何ニモマダ返事ナキ由 フレザーニヨ  
ル コレモマダ返ナシ 三時ニテ帰場 工場ニ行ク 夕方川辺君帰ル 夜來 安岡帰郷問  
題藤原問題、ヲ聞ク 大ニ参考トナル 發動機ノコト相談アリタリ 永野氏廿一日來ル  
様明日電話カケルコト 稲毛へ行クトテ八時帰ル 後チ十二日以後ノ此日記ヲツケテ  
床ニツク

▲▼85ページ▲▼ 大正10(1921)年3月19日(土)

天気晴

七時半ニテ上京 航空局ニテ航空取締規則ヲ聞ク 晝ル過ギ晝食ノ馳走ニナリテ帰ル  
ピストン木型取りニヤル 出來テ居タガ間違ツテ居タ 鳥飼氏ニタノミニ時四十分ニテ  
帰場 工場ニ行ク

夜長尾君ニ佐野、藤原、ノコトヲ聞クベク呼ブ 佐野來テ話シ出來ズ雑談シテ帰ル  
所員練習生ノ整理ニツトメザルベカラズ

▲▼86ページ▲▼ 大正10(1921)年3月20日(日)

天気曇風雨

暮(ママ)風アリ 夜ニ入り益々ハゲシカリシモ十一時過ギピツタリ風グ

夕方千葉ニ行ク 材木屋ニ注文品ヲナシ根本ニテ戸棚タンスナド三百円近キ買物ヲナ  
ス 風マス、ッヨク頭痛ハゲシケレバ白戸ニ行カズグ帰ル

晝高左右君外一名來 晝食ヲ共ニス。高木、尾崎外数名來 佐藤氏へ行キ晝食ス

▲▼87ページ▲▼ 大正10(1921)年3月21日(月)

天気晴

阿部ト工場ニ行ク ツヒニホ式一台出シテヤルコトニシタ 金ヲ浜野サンエヤルノデ貸シ  
テ呉レト云ツテ居タガ之レハコトワツタ 尾崎氏昨夜佐藤氏へ一泊セシ由 佐藤君晝前  
北風強キ中ニ試運轉ヲ行フ 滑走一二回 強風ノ爲メ廻サレシモタゞチニ上昇 数旋回  
ノ後チインメルマンターンヲナシ着陸モヨカッタ 之レニテ一安心 大口來 佐野ノ件ニツ  
キ話シニ來ル 晝食ヲ共ニス 謝君モ晝食ヲ共ニス 二三ヶ月後チニ六国ノ送金モオワルノ  
デ帰国シヨウト思フトノコトニ安岡同様ニナスベク話ス 自分モ非常ニ満足シ來月カラソ  
ウスルトノコト。富田氏ニ會フ 兵頭ノ月謝支拂ヒノ一方法トシテ發動機ヲ買ヒタイト  
ノコト カーチスカローン明日フレザー聞合セタル上返事スルコトニス

永野氏來 川辺加藤両君モ來 工場ニテ面會 晝前トノコトニ稲毛へ行キ八時五分ノ  
汽車迄居ル 支出百万円位ノコトハイツデモ出來ルトノコト。ヤル気ナレバ具体案ヲ出

ストノコト

▲▼88ページ▲▼ 大正10(1921)年3月22日(火)

▲▼89ページ▲▼ 大正10(1921)年3月23日(水)

▲▼90ページ▲▼ 大正10(1921)年3月24日(木)

天気 曇リ

夜稲垣玉木ヲ呼ビ工場ノ打合セラナス  
晝長尾ニ佐野ノ件ニツキ聞ク ヨイ報告デアッタ

▲▼91ページ▲▼ 大正10(1921)年3月25日(金)

天気 雨

八時半ニテ上京 鳥飼ニテ模様ヲ聞キ打合セラナシ入札ニ行ク 二號以下及び一號ノ一部分ト全部落札。五次郎來ル  
五時二十分ニ乗ルベク両国ニテ白戸安井ト會フ 五次郎先ニ帰シ三人ニテツバメニ行キ十時ニテ帰ル 自分大ニノミ過ギ林亭ノ坐敷へ靴ノマ、上ツタ由

▲▼92ページ▲▼ 大正10(1921)年3月26日(土)

天気 晴

終日在所 帳簿少シ 佐野ノ様子頗ル儉悪 困ツタモノ 夜話シスルツモリノ處安井氏夕食後帰ル千葉ニ行ク アト非常ニ眠ク床ニツク

▲▼93ページ▲▼ 大正10(1921)年3月27日(日)

天気 晴

今日ハ在所ノツモリノ處川辺君ヨリ來電 九時迄ニ東京駅へ來テ呉レトノコト 八時ニテ行ク 九時廿五分着 川辺君ニ會フ 永野氏友人百万円会社設立事件ニツキ會ツテ呉レトノコト 兎ニ角今朝コレア丸ニテ出發トノコトニ行ク 乗船券ナク大二手間取り漸



ク三十分程前ニ乗船 永野氏スデニ下船 鈴木ト云フ人ニ會フ 同氏ハ永野氏ヨリ何ニモ聞イテ居ナイトノコト キツネニツマサレタ様ナ話シ 多分コンナコトダロウト思ツタ 波止場ニテ川辺君ト分レ品川ニテ晝食後赤羽ニ行ク 尋ネル人不在 中尾君ノ細君ニ廿九日主人ニ來テ貰フコトニタノンデ帰ル 夕食後雨ノ中ヲ佐野ニ行ク 明朝尾島へ行クコトノ打合せヲナシ十時過ギテ帰ル

▲▼94ページ▲▼ 大正10(1921)年3月28日(月)

天気 雨

時事 バースフラインサーカスノ招待ニ應ス

朝大坂へ四通手紙ヲ書ク 久保田帰場ス 壱百株申込ミアリ

十一時ニテ上京 スグ協会ニ行キ代金拂込ミヲナス 白戸ト晝食後散髪 フレザーニ行ク 銀坐ヲ散歩シ帝国ホテルニ行ク 七時半頃ヨリ初マリ、後チテーブルスピーチ長ク自分等少シ先キニ帰ル 此日ホテルニ大ブトウ会アリ 盛大ナリキ 大坂ヨリ西店ノ七千三百四十三円拂込ノ通知アリ

▲▼95ページ▲▼ 大正10(1921)年3月29日(火)

天気 晴

朝頭重ク十時ヤット快クナツテ出勤 北島山本両氏來 佐藤氏ノ機体及ビ工場ヲ見晝食後佐藤氏ニ回飛行

午後給料ノ支拂ヒヲナス 五次郎夕方帰坂

赤羽中尾來 ボールトタンバツクホ、話キマリプレ見ニ行クコトニ約束ヲス

夜謝、稲垣、矢野氏ト學校部規定ニツキ協定ヲナス

アンマヲ取り十時半床ニ入ル 十一時後眠ル

▲▼96ページ▲▼ 大正10(1921)年3月30日(水)

天気 晴

光栄ナル日

午後二時ヨリ式初マリ、後チ立食ノ宴アリ 來會者坂谷男、長岡、田中館、其他数名

後チ白戸稲垣三名ニテ奈良原氏ヲ訪ヒ賞状ヲ見セテ挨拶ニ行ク 夫妻共ニ大嬉(ママ)ビデ歓迎サレタ

▲▼97ページ▲▼ 大正10(1921)年3月31日(木)

天気晴

八時半ニテ上京 白戸ト自動車ニノル 小傳馬町迄行ツタノデ秋田ト山田ニ立寄り十時中央旅館ニ行ク 稲垣電車ノ都合ニテ十分遅レテ來ル 共ニ中島氏ト協会航空局、同本部、海軍航空部ヘ行キ松本ニテ晝食ヲ共ニ自分ハ伊東屋ニテ買物ヲナシ赤羽ニ行キ中尾君ニ會ヒボールトタンバツクノ数ヲシラベ、飛行機ノ方モ見テ此方モ價ヲ取極メ積出シテ貰フコトニシ津田沼着ノ上代金引換ニ渡スコトヲ約シテ歸ル 帰途ツバメニ拂ヲシテ歸ル

◆◆68ページ◆◆ 補遺

上半月ハ事業進マザリシモ下半月ニ於テ大ニ進ム  
佐藤氏分廿一日引渡シ終ル  
会社成立ニ確定 株募集  
リバーティー引取ル  
小栗ノローンホゞ出來上ル  
ローン八十未着ニ付クレルジ一百卅ニ作り換ヘル  
高知契約出來ズ

◆◆69ページ◆◆ 四月

小栗分引渡シノコト  
クレルジ完成ノコト  
ラジエーター製作器製造ノコト  
マイバツハ引取リノコト  
高知契約ノコト  
会社成立ノコト

◆◆100ページ◆◆ 大正10(1921)年4月1日(金)

天気晴

二番ニテ上京 九時十分新宿發 十一時所沢格納庫着 押収機見学一時間 タゞ大キイノト金属製ガアマリキタナカッタノト二台対ガ自分ノ工場デ出來ルカヲ心配ニナツタノトソレダケシカ分ラナカッタ  
晝食ヲ将校集会所ニテ有川少将ノ挨拶アリテ馳走ニナル 後チ編隊飛行ト高等飛行

ヲ見テスグ自動車ニノセラレテ三時半新宿着ニテ帰ル  
鳥飼ト松本ニテ夕食後帰ル

▲▼101ページ▲▼ 大正10(1921)年4月2日(土)

天気 晴曇半バス

安岡代ニ久保田協会ノ米国人招待会ニ出席セシム 自分ハイヤニナツテ止メタ  
航空局へ押収機稲垣矢野外一名見学ノ件ヲ出願ス  
鳥飼へローンガジヨピン持参セシム  
金銭ノ出納ヲナス

▲▼102ページ▲▼ 大正10(1921)年4月3日(日)

天気 曇後暴風雨

帳簿整理ヤ大坂兄、中山、姉其他ニ手紙ヲ書キ兄父姉へ百円ヅ、送金ス  
夜紅葉館へ稲垣君ト共ニ行ク バース歓迎会ニ行 帰途風雨ハゲシク大ニ困難セシモ帰  
宅ス

▲▼103ページ▲▼ 大正10(1921)年4月4日(月)

天気 晴風

晴レタレドモ風ツヨク  
赤羽ヨリ大熊外一名ポールトタンバック車デ持参ス 数ヲナシ受取書ヲ渡シテ帰ヘス  
帳簿附ケ

▲▼104ページ▲▼ 大正10(1921)年4月5日(火)

天気 晴

七時半ニテ上京 自動車ヲ依頼ス 白戸來 フレザ―迄送ル 奥山房吉氏ト信太郎ト  
東京見物ヲナス 一日ノンキナ氣持チニナツタ  
兵頭兄へ電話スル 明日金持参スルトノコト  
夜ニ入りテ帰宅

▲▼105ページ▲▼ 大正10(1921)年4月6日(水)

天気 晴

時事 浅草二大火アリ

晝頃宮本組主人及ビガストン主人來 シリンダー持ッテ歸ル 明日稲毛ニテ受賞祝ヲスルカヲトノコトニ約束ヲナス

午後出庫表整理仕キレズ夜業ヲヤル

呉帰国ノイトマゴヒニ來ル 上海着陸場視察ヲ依頼ス

兵頭千五百円持參 仮受取ヲ出ス

▲▼106ページ▲▼ 大正10(1921)年4月7日(木)

天気 曇リ雨

七時半ニテ上京 佐藤タンバック注文後支拂ヲナス 数軒廻リテフレザーニ行き兵頭分金支拂ヒ鳥飼ニテ晝食 三號金庫アルトノコト 頼ンデ居ク

宮本主人ト一時頃ヨリ自動車ニテ津田沼ニ歸リ金銭出納ヲナス 再ビ自動車ノ迎ヘヲ受ケ海気館ニ行き大ニ馳走ニナル 明日浦塩会ノ何人カノ送別会ガアルノデ紹介スルカラ來イトノコトニ行ッテ見ルコトニス

八時半辭シテ帰途ニツイタガ雨風ハゲシク上總ニ泊ル

上總屋へ賞金配當ヲヤル

中島金工三円ニテ入所決定ス

▲▼107ページ▲▼ 大正10(1921)年4月8日(金)

天気 雨

午前三分記帳

十二時五十分ニテ上京 急グノデ自動車ヲヤトヒ佐藤ニ立寄り航空局ニ行き児玉氏ニ會フ 見学ノ打合せヲナシ銀坐ニテ買物シテ四時宮本伊森両氏ト共ニ宮本宅ニ立寄り八百勘ニ行ク 知ラヌ人バカリデアッタガ児玉氏來 大ニ愉快ナ宴デアッタ 自分ハ一番早く失敬シテ歸ル

▲▼108ページ▲▼ 大正10(1921)年4月9日(土)

天気 晴

久シ振リノ天気デアッタ 午前中仕事ヲシテ午後成田ニ行ク予定ノ處奥山氏歸ルトノコトニ九時十一分ニテ行クコトニシタ 皇后陛下三里塚ニ行幸ナルノト同時刻ニナッタノデ約二十分遅レテ行ク 不動尊ニ礼詣リヲナシ宗吾堂ニ參拜 三時六分ニテ千葉ニ歸リ公園其他ヲ見物シテ梅松ニテ夕食 八時五十五分ニテ歸ル

▲▼109ページ▲▼ 大正10(1921)年4月10日(日)

天気 晴

加藤久シ振りニ來ル 晝食ヲ共ニス  
帳簿整理

所員預金通帳ヲ各自ニ渡ス

今日ハヨイ日曜日デアッタ

夜神田ノ母來ル

▲▼110ページ▲▼ 大正10(1921)年4月11日(月)

天気 曇

機械受取りノ爲メ馬車上京 山田付添フ

終日記帳

午後川西ノ関口氏來

▲▼111ページ▲▼ 大正10(1921)年4月12日(火)

天気 雨

ゲオルギーアフナセフ今日鷺沼ヲ引拂フトノコトニ佐藤氏ノ出發ヲ兼ネ晝食方々千葉

梅松ニテ會食 四時四十分ニテ歸ル

午前中佐野ト記帳 夕方工場ニ行キ佐野ト仕事ノコトヲ談ズ

稲垣所沢ヨリ歸ル

▲▼112ページ▲▼ 大正10(1921)年4月13日(水)

天気 雨

朝一寸工場ニ行キ関口氏ト九時四十七分ニテ上京

用件 湯浅ニ金支拂ヒ山田、秋田、宮本、株申込ノ件ニテ行ク 秋田不在 山田宮本

一両日中

森竹ニテ買物、白木、栄太楼ニテ禿氏土産物ヲ求メテ佐藤ニテ川辺君へ電話シアフナセ  
フノ件ニツキ西村氏ト提携ノコト不調ヲツゲル

ツバメニテ夕食 九時半上野ニ行キ十時發禿氏ヲ見送リテ終列車ニテ歸ル

佐藤氏飛機信州へ出發

航空局ニ立寄ル

▲▼113ページ▲▼ 大正10(1921)年4月14日(木)

▲▼114ページ▲▼ 大正10(1921)年4月15日(金)

天気 晴曇り

朝千葉白戸二行ク 上京シタトノコト 自分モ上京 山田、秋田、宮本ニ株ノコトニテ行ク 宮本自動車ノコト事ワル。奈良原氏ニ贈ルベキ時計白戸ト村松へ注文ス  
知覧ニ會フ 友人アリスグ帰ル 磯部氏ト開花ニ行キ夕食ヲ共ニス 氏大ニヨツテ車ニテ送ラセル

鳥飼ニテマイバツハ引取りノコト打合せヲナス

▲▼115ページ▲▼ 大正10(1921)年4月16日(土)

天気 晴

終日在宅 決算ヲ急グ

夜大坂ヨリ電報ニテ廿日來テ呉レトノコトデアッタ

夜小栗ヨリローン附属品及布ヲ持参ス

▲▼116ページ▲▼ 大正10(1921)年4月17日(日)

天気 晴

絶好ノ日曜 白戸ノ花見モ上等 自分ハ明バン出發ノ爲インガシク終日三月分決算ヲナス 杉本來 夕方遊ンデ帰ル

夜八時過ぎ迄夜業シタ 後子佐野ニ立寄りメタル注文ノコトヲハルト打合せテ帰ル

▲▼117ページ▲▼ 大正10(1921)年4月18日(月)

天気 曇り少雨

六時半工場ニ行キ決算 學校部ト両方 晝迄ニ終ル

十二時五十分ニハルサン上京 自分一時五十分ニテ出發ス 不在中ノコト佐野ニ依頼シ工場整理講堂改造ヲナサシム

▲▼118ページ▲▼ 大正10(1921)年4月19日(火)

天気 晴

九時帰宅 兄ト打合セヲナシ今宮ニ行キ午後兄ト中山氏ヲ訪問 共ニ佐渡島本店ニ行キ西店ニ會合ス 結果本店ヲ入レテ十一万六千五百五十円出來タノデアト足ラナイ處ヲ佐渡島西店ヘ頼ンダガマトマラス明日ノコトニシテ店ヲ辭シ中山氏ト夕食ヲ共ニシテ今宮ニテトマル 翌朝兄ト竹島ニ行キ

▲▼119ページ▲▼ 大正10(1921)年4月20日(水)

天気 曇リ雨

中山氏宅ニテ午後會合

午前中兄ト竹島へ行ク

佐藤喜太郎上京セリトノ電話アリタリ

十二万円ニテ発表ノコトニキメ自分ハ父トツレテ行ク 途中電車ニテ佐藤ニ會ヒ共ニ行キ種々話ノ末十二万五千円ニテ発表シタイコトヲ語リツヒニ佐藤ニ五千円出サセルコトニシタ

來會者三十名バカリ 中山氏議長トナリスベテ予定通り進行シ會後自分ノ希望ヲノベ札ヲ云ツテ八時過ギ散會後佐藤、吉田兩氏ニ馳走スベクアシベ踊ヲ見ニ行ク 自分モ初メテデアツタガタゞキレイト云フダケニテ何等價治(ママ)ナキモノデアツタ

▲▼120ページ▲▼ 大正10(1921)年4月21日(木)

天気 雨

朝中山氏ト後チノコトヲ打合セ井上君ガ自動車ヲ持ツテ來テ呉レタノデ共ニ、金谷氏ヲサソヒ住友ニ行ク 金谷氏ノ勢力ナシ 見本ヲ見テ歸ル 後チ佐渡島西店ヘ電話ニテ挨拶ニカエ住友ノコト依頼シテ居ク 自分ノ考ヘモ述ベテ居ク

築港ニテ晝食 和田勤來 發動機見ニ行ク ルンプラートノームニ似タ發動機ガアツタ。交渉ハ井上君ニタノシテ居ク 野島氏ニ會ヒ助手ノ話シヲ極メ高左右ニ行キ天狗ニテ馳走ニナリテ歸リ九時五十五分ニ乗ル

井上君ノ處ヘ和田勤ヨリ電話アリタリトノコト 自分ノ處ヘ六津田沼着ニ千円以内ト云ツテ居ク

▲▼121ページ▲▼ 大正10(1921)年4月22日(金)

天気 雨

十二時着 鳥飼ニ立寄り大坂ノ經過ヲ報告ス 山県銅像ノ話シアリ 自分ノ意見ダケハ述ベテ置ク

三時ニテ帰宅 工場ニ行ク コンクリート意外ニ進行シテ居タ

▲▼122ページ▲▼ 大正10(1921)年4月23日(土)

天気 晴

朝不在中ノ事務ヲ方附ケ後チ職人ヲ急ガシテ明日ノ準備ヲト、ノエル 夕方完成ス  
夕方数見、中君來 飯沼君ト夕食ヲ共ニス

▲▼123ページ▲▼ 大正10(1921)年4月24日(日)

天気 曇リ

花曇リニテ申分ナシ 早朝ヨリ準備ヲト、ノエテ待ツ 十時過ギ兒玉宮本両氏來 アト  
八十二時前續々ト來ル 北尾、白戸、数見來 五時頃皆帰ル  
謝ロニニテ初メテ飛ブ 白戸ヨリ高橋島田來 興ヲソエル  
夕方方附ヲサセクタブレテ帰りアンマヲ取りテ眠ル

▲▼124ページ▲▼ 大正10(1921)年4月25日(月)

天気 少雨

財産調べヲ書出シ貸借ヲモツクリ大坂へ明日送ル 航空局願書書類ヲツクラセル  
小栗、兵頭請求書ヲ出ス 大坂兄へ戸籍抄本、証明書ヲ申送ル  
夕方白戸へ使ヲやり明日奈良原氏へ贈ル時計引取りノ打合せヲナス  
練習アリ

▲▼125ページ▲▼ 大正10(1921)年4月26日(火)

天気 晴

早朝佐藤高橋ノ名ニテ金六百円送タノムトノ電報來 兎三角金ヲ用意シテ上京。佐藤、  
浅野、航空局等ニ行キ鳥飼ニ立寄り白戸ト會フ スグ共ニ奈良原氏ヲ訪フ 不在 贈  
品ヲ母堂ニ託シテ帰ル 吉田君小野君ニ會ヒ佐藤君ノ様子ヲ聞ク 要領ヲ得ズ取アエズ  
全部支拂フ性質ノ金デモナサソウナノデ夜十一時ニテ松本へ行ク

▲▼126ページ▲▼ 大正10(1921)年4月27日(水)

天気 晴

九時半着 秀峰館ニ佐藤高橋ト會フ 色々話シヲ聞イタガ結局佐藤氏ガ何事モ取極



メズニヤツテ來タノガ手落ちデアッタガ高橋後援者高橋、及日日新聞皆アマリニケシカランヤリ方デアッタ 殊ニ驚イタノハ佐藤氏ノ飛行機ヲ抵當トシタ僅カ四五百円ノ金ニ証書ヲ渡シテアルコトデアッタ ヤット三百二十円拂ツテ証書ヲ取り宿ノ拂ヲ終リテ菊ノ湯ニ行キ晝食兼夕食ヲ取ル 小林豊作氏ヲ電話ニテ呼ブ 遅カッタノデユックリ話シモ出來ナカッタ

先年來タ時半玉デアッタ音丸トカ云フ女ガ一人前ノ藝者トシテヤツテ來タコトヤ宿ノ小兒ガ写真ヲ取ツテ呉レタリシタノハヨイ氣持チデアッタ 七時ニテ出發

▲▼127ページ▲▼ 大正10(1921)年4月28日(木)

天気晴

五時飯田町着 佐藤氏スグ津田沼ニ帰ル 自分ハ鳥飼ニテ入浴 朝食後仕事ノコトヲ少シ打合セ伊東屋ニテ買物シテ帰ル  
午後工場二行ク  
夜佐藤氏來ル 後チアンマヲ取り眠ル

▲▼128ページ▲▼ 大正10(1921)年4月29日(金)

天気晴

好晴 氣持チヨカッタ  
午後風強ク練習休ミ  
午後後藤阪東來 夕食ヲ共ニス  
午前賣上簿ヲ記入ス 大坂へ人名勘定ヲ送付ス  
三千円着ス  
長尾、小栗金請求其他要件ニテ上京  
安岡、西小路へ早ク帰ル様打電ス

▲▼129ページ▲▼ 大正10(1921)年4月30日(土)

天気曇り晴

諸拂ヲナス 材木屋ダケ足りナクナッタ  
練習アリ 早朝工場二出テ久シ振りニ海ニ入り練習ヲ見ル 練習生モ皆上手ニナツテ居タ

謝後藤氏ローンニテ練習ス 滑走五六回ヤッタガ中々ウマカッタ

午後久保田、西小路帰ル 久保田同乗飛行中八十ローン又タロット折レテ検見川沖ニ着陸 機体無事

▲▼130ページ▲▼補遺

小栗機引渡シ終ル 金終ラズ○  
クレルジー遅延  
ラジエター製作器手ニツカズ  
マイバツハ引取り終ル○  
高知契約出来ズ 安岡帰ラズ  
会社成立ス○

▲▼131ページ▲▼五月

△ラジエター目算ツケルコト  
○クレルジー完成ノコト  
△四国契約飛行出發ノコト  
△金出来ルダケ支出ヲ減ジ廻収ニツトメルコト  
○リバーティ製作ノコト  
○二台付製作確定ノコト及ビ製作ノコト

▲▼132ページ▲▼大正10(1921)年5月1日(日)

天気晴

降ルカト思ツタノガ晴レタ  
朝佐藤氏ト補修々理金ノ打合セヲナス  
鳥飼外二名山県銅像ノ件ニテ來場 晝食後帰ル  
午後信太郎ヲ連レテ千葉ニ行ク 白戸兵庫へ出張不在 練習ヲ見テ帰ル

▲▼133ページ▲▼大正10(1921)年5月2日(月)

天気晴

午前工場ニ行キ九時四十分ニテ上京  
佐藤氏用件ニテ協会ニ行ク 佐藤氏來ラズ 鳥飼ニテ會フ フレザーニテカーチス着日  
取りヲ聞合ス 日本領海ニ入りタレドモ未着トノコト 伊東屋ニテ買物ヲナシ帰ル  
鳥飼宅ニテ知覽ニ會フ 加藤氏五日頃行クトノコト 外ニ赤羽ノコト聞合セテ分レル

▲▼134ページ▲▼ 大正10(1921)年5月3日(火)

天気晴

六時半工場二行キ諸搬(ママ)ノ仕事ヲナシ九時十四分ニ乗ル。両国着 鳥飼氏ニ電話ニテ打合セ十時五十分上野発ニテ赤羽二行ク 品ヲ見テ話シヲス カケ引ヲナシテツヒニ折合ワズ物ワカレトナル 丸万ニテ晝食 鳥飼氏ト相談シテ最後五百円迄トシ交渉ヲ鳥飼氏ニ委カス 航空局ニテ北島少佐ニ機体検査日取りヲ聞合セテ帰ル 五時帰場工場二行キ仕事ヲハゲマス  
宮本ニテリバーティーパート引取りノコトヲ議ス

▲▼135ページ▲▼ 大正10(1921)年5月4日(水)

天気晴

今日ハ小栗ノ塗料ヲ塗ル 終日久シ振リデ働ライタ  
安岡帰場 夜來ル 高知ニテ後援会ヲ作ルベク運動シタル處途中ヨリ鬼頭氏ノ気嫌ヲ損ジ出來ナクナツタトノコト 余ニ一度行ツテ貫ヒタイト云ツテ居タガ委シイコトヲ云ワナイノデ何モ分ラナカツタ 其中二聞イテ見様。クタブレタノデ早ク寝ル  
中尾倉吉本日午後來ル

▲▼136ページ▲▼ 大正10(1921)年5月5日(木)

天気晴

局ヨリ佐藤氏機体及クレルジ―機体検査ニ來ル 丁度知覧加藤氏モ來ル  
知覧加藤氏ト稲毛ニ行キプロペラノコトヲ聞イタ  
夕方大口ト梅松ニテ食事 終列車ニテ帰ル

▲▼137ページ▲▼ 大正10(1921)年5月6日(金)

天気晴

小栗機組立

▲▼138ページ▲▼ 大正10(1921)年5月7日(土)

天気晴

十二時五十分ニテ上京 佐藤注文品ヲナシ鳥飼ニテ知覧、宗里ニ會フ 夕食ヲ鳥飼氏

ニテ共ニス 加藤氏本日出発スルトノコトニ共ニ見送りニ行ク

▲▼139ページ▲▼ 大正10(1921)年5月8日(日)

天気 晴

神田佐藤ト山下來 株申込書受取ル

航空局ヨリ試験ノコト通知アリ

▲▼140ページ▲▼ 大正10(1921)年5月9日(月)

天気 晴

六時一番ニテ千葉ニ行キローンマグネト外二點ヲ借り一度工場ニ帰り九時四十分ニテ上京 フレザーニテカーチス到着ヲ聞キ計器注文ヲナシ協会ニテ競技会日取りヲ聞キ合セ鳥飼ニ行キ馬車ニ宮本組リバッテリー付属品ヲ積ミ航空局ヘ久保田願書提出 第二課ニテ試験日取りニツキ打合せヲナス 發動機分解試験ヲ廻轉試験ニ依頼セシモ多田少佐聞カズ 大ニシヤクニサワル

▲▼141ページ▲▼ 大正10(1921)年5月10日(火)

天気 曇リ

終日在所 工事大ニ進ム

練習生ヲ集メ練習機製作ノコトヲ申渡ス 安岡外二名藤原後藤体カク検査ノ爲メ上京ス

ホ式二百馬力試運轉ヲ行フ

夕刻少シ記帳 七時終ル

朝五時起床 庭掃除ト小鳥ヲ掃除ス

▲▼142ページ▲▼ 大正10(1921)年5月11日(水)

天気 曇後雨

本日ヨリ航空局ヨリ新造機及飛行士發動機驗(ママ)査初マル 十時頃山本外五名來 高左右外一名來 大坂ヨリ兄、中山來 共ニ晝食ヲナス 本日ハ藤原機小栗機川西機ノ機體驗(ママ)査ヲナス 後藤滑走ニ回直線ニ回 成績良シ 関口氏嬉(ママ)ブ 雨降ル 三時局員帰ル 後チ中山氏ト会社ヘ引渡シ財産其他ノ調査組立ヲナシ後チノ帳簿等ノ打合せヲナシテ夕食後帰京セラル 三平泊

▲▼143ページ▲▼ 大正10(1921)年5月12日(木)

天気 曇少雨

今日晴レテ又降ル 五時起床 六時工場出勤 佐藤氏勘定書ヲ作ル 佐藤氏機体修理依頼ヲ受ク

後藤数十分ツ、飛行ス 方向舵重ク困ル 藤原滑走中逆立 車輪一個破損 中止

局ヨリ北島山本外三名 川西、外一名小栗代坂本來ル 午後滋野氏來 イヅレモ夕

方帰ル クレルジータンバック着セズ 大ニ氣ヲモム 夜持参ス

阿部ヨリ三百円借用申込ム 長尾別府へ出張セシム

明日仕事ノ打合せヲナシ夕方七時帰ル 食後謝、安岡、久保田ヲ呼ビ明日ノ試験及競技会ノ打合せヲナス

萩野帰ル

▲▼144ページ▲▼ 大正10(1921)年5月13日(金)

天気 曇リ

五時起床 五時半工場ニ行キ工数日記帳注文ニツキ圖ヲ引キ仕事ヲ打合せ七時九分ニア上京 矢島ニ立寄り鳥飼ニ行ク 十円借りテ少シ買物ヲナシ知覽ヲ待ツ 電話カケシニ晝迄ニ行クトテツヒニ來ラズ 十二時五十分ニルベク急ギ帰ル 山本北島外三名來所

小栗八十滑走二回 直線飛行二回 成績良シ 坂本氏小栗イスパノ組立ニ來

ホ式二百分解試験ニカ、ル

山本氏ヨリ海軍ノ修理ヲ貰フベキ招(ママ)介ヲ貰フ

▲▼145ページ▲▼ 大正10(1921)年5月14日(土)

天気 曇リ

局山本北島外三名來 ホ式分解検査終 午後組立ニカ、ル 山本氏機体検査全部終ル 後藤氏ノ古イノ込見テシマッタ 三時十九分ニテ帰京ス 明日ハ休ミテ明後日來ルトノコト

午後四時ニテ上京 日比谷松本楼ニ行ク 佐藤、鳥飼宮本中山、兄自分ト會食 即チ役員會議ノ様ナモノデアッタガ別ニ雑談ノミデ終ル 兄卜宿ニ共ニ行キ仕事服ヲ受取ツテ帰ル 十時ニル 車中小栗ノ藤縄君ニ會フ

安岡小栗機試験飛行終ル クレルジー試運轉ヲナス 振動多ク飛行中止

▲▼146ページ▲▼ 大正10(1921)年5月15日(日)

天気 曇晴

五時起床 五時半工場ニ行ク クレルジー、小栗機、ローン、イスパノ組立ニス塗り  
午後風ツヨク練習試験不可能。安岡小栗八十二テ飛ビ後藤二百ニテ飛ブ。北島少佐へ  
打電シテ明日謝ノ試験コトワル  
中正夫君來 夕食後泊ル 自分ハ山本大尉ヲ停車場ニ訪問 十一時迄話シテ帰ル

▲▼147ページ▲▼ 大正10(1921)年5月16日(月)

天気 晴

四時半起床 工場ニ行ク クレルジー試験飛行 後藤氏搭乗 隔(ママ)陸後スグカバ  
ハツレテ發動機ト共ニ廻リ中止 スグ製作ニカ、リ同時ニ發動機分解試験ヲ受ク 北島  
少佐以下四名來ル。山本大尉早朝ノ飛行ヲ見テ帰ラル 安岡後藤ローンニテ練習 後  
藤二百ニテ練習 其中海軍ノ北海道行飛行機三台出發通過ス  
午後練習ナシ

▲▼148ページ▲▼ 大正10(1921)年5月17日(火)

天気 晴

ローン安岡ホ式後藤大ニ飛ブ ガソリンナクナル 大急ギデ馬車ヲ東京ヘヤル 九時四  
十九分ニテ上京 佐藤、桜井、斎藤、浅野ニ立寄 鳥飼ニ行キ日本俱樂部ニ至ル 協  
会ノ人ノ外タレモ、居ナカッタガ間モナク阪東、後藤、石橋、後レテ白戸小栗來 打合  
セフナス 巨(ママ)離飛行ノミハ問題トシテ残サル スグ銀坐ニテ買物ヲナシ帰ル 三時  
四十分ニ乘リ遅レ四時半ニテ帰ル 北島少佐ステニ帰京後デアッタ  
途中稲垣矢野戸川ニ會フ クレルジーマダ廻サヌトノコト 大ニシヤクニサワル 工場ニ  
行キ出來ダケ仕事ヲヤラセル  
夜安岡謝ニ今日ノ打合報告ヲナス 白戸ヨリ昨日佐藤ヲ借りニ來タ時貸サナカッタコ  
トニツキ皮肉ナ手紙ヲヨコシテ居タ

▲▼149ページ▲▼ 大正10(1921)年5月18日(水)

天気 曇後雨

クレルジー試運転 謝同乗 二回共謝操縦セリト 成績ヨシ 午後雨  
北島少佐來 藤原發動試験ノ爲メ 藤原無茶ヲ云ヒ出シ大ニ困ル ツヒニ藤原神戸ヘヤ  
ルアト引受ケテ兎ニ角ケンサウケルコトトス 小栗八十モスム  
午後兼坂ニ行キ耳ノ中ヲ切りウミヲ出ス 夕方早ク寢ル

▲▼150ページ▲▼ 大正10(1921)年5月19日(木)

天気晴

謝試験飛行 風ヤ、ツヨシ 岡、小倉、山本、北島外数名來 晝食ヲ海氣館ニテ共ニナス 食後小倉大佐ト白戸ニ行ク 不在 中ヲ見テ帰ル

▲▼151ページ▲▼ 大正10(1921)年5月20日(金)

天気晴

謝試験飛行後追風ノ爲メテンプク破損 夜九時半迄夜業 修理ニツトム  
小栗八十デ洲崎ニ帰ル。安岡百二十三テ行ク 久保田、五平、照井洲崎出張  
謝三等ナレバスグケレル。二等ナレバ高度ニ千米突ニテ一時間ト野外飛行ヲヤリ直スト  
ノコト

五時ヨリ上時(ママ) 佐藤ニテ千円小切手受取り鳥飼ニテ明日ベントウ其他ノ打合せ  
ヲナシ帰ル  
後藤機出發遅ル

▲▼152ページ▲▼ 大正10(1921)年5月21日(土)

天気晴

安岡一番ニテ行ク 自分工場ニ行キ佐野ト打合せヲナシニ番ニ乗ル 車中白戸ト會フ  
スグ飛行場ニ行ク 新聞報道ノ通りニ飛行會初マル  
山梨長官閣下ニ初メテ挨拶ヲナス。秋田氏來 畑次官其他知合多キ由 謝機体修理  
ナリテ來ル 航空局員大ニ驚ク 二時全部終ル スグ一同ト共ニ帰ル  
珍ラシク事故ノナイ飛行會デアッタ

▲▼153ページ▲▼ 大正10(1921)年5月22日(日)

天気晴

秋田氏來 附近ノ地所ヲ見テ晝食後帰ル 中山氏今夜スグ帰坂ストノ電報來 晝都  
築外職工來 夕方帰ル 職工一名泊ル  
千葉祝賀飛行安岡ニ矢野同乗 写真撮影ニ行ク 成績良シ 謝機不安ニツキ分解ス  
昨日ノ飛行ニ上翼メインプレーンノ取付ピン一本通り居ラズ。村井ノ手落トノコト呼  
ビヨセテ大ニコラス。ツヒニ退所ヲ申出デシニヨリ許可ス

▲▼154ページ▲▼ 大正10(1921)年5月23日(月)

天気 晴

航空課へ出頭 大塚中尉二會ヒ懇願ス 尚明日プロペラ会議アルトノコトニ見本出スコト  
ニナツテ航空局第二課及第一課ニ行キテ鳥飼ニ立寄り帰ル  
帰場後工場ニ行キ準備ヲ急ゲ

▲▼155ページ▲▼ 大正10(1921)年5月24日(火)

天気 雨

仕事ノ順序ヲ立テ千葉ニ行ク 白戸仙台ヨリ帰りタル處 晝食後帰ル 先日ノ手紙ノ  
コトタシナメル  
夜九時迄夜業 クレルジー準備ヲナス  
安君來 プロペラカ式分一本金ヲマク爲メ遅クナリ終列車ニテ持ち帰ル  
今朝航空部へプロペラ一本提出ス

▲▼156ページ▲▼ 大正10(1921)年5月25日(水)

天気 晴

昨日ニ引替へステキナ上天気ニナル クレルジー準備オクレル 十二時半ロースト二機洲  
崎へ行ク 之レヨリ先キ十時五十分ヨリ後藤飛行ヲ初メル 成績新聞ノ通り  
佐藤、秋田、鳥飼來 珍ラシキハ山田氏來ル 高左右君モ來ル 本日ヨリ泊ル 練習ノ  
爲メ 安岡最後迄飛ビ夜ニ入りテ帰ル

▲▼157ページ▲▼ 大正10(1921)年5月26日(木)

天気 晴

五時半起床 朝食 新聞 七時半出勤  
帳簿新帳ノ付替へヲナス  
長尾妻君問題アリ 合セテ工場カントクノコトヲ話シス  
クレルジー気ニナルコト甚ダシク發動機ヲ降シ左上翼ヲハガシテ見ル  
安岡ロースト持ッテ帰ル 坂本イスパノ練習ス  
夜稲垣氏高工表章(ママ)式ヨリ帰ル

▲▼158ページ▲▼ 大正10(1921)年5月27日(金)

天気 雨

山県銅像源型ヲ見ニ來テ呉レトノコトニ出カケルコトニシタ。丁度航空局カラ飛行場間



題ニツイオ來才居夕來タノデ出ルノガオソクナル 佐藤其他ニテ買物ヲナシ川崎銀行ニ立寄り鳥飼ニ行ク 共ニ宮本氏ニ行キテ見ル 似テ居ナイ處ヲイロ、ト直シテ貰フ 尚ホ似顔ヨリモ精神ニ重キヲ居クコトヲ注意シテ帰ル 夜ニ入ル ツバメニ金ヲ拂フベク行ク 見タガ轉宅シテ居タ 晝ヌキデアッタノデ夕食後帰ル

▲▼159ページ▲▼ 大正10(1921)年5月28日(土)

天気晴

工場ニ行キ仕事ヲ見八時半ニテ上京 大塚中尉ニ會フ プロペラ一時帰ストノコト 井上閣下浅野大佐ニ面會シヨウト思ツタガ所沢ノ卒業式ニ出張不在トノコト 航空局ニ立寄り鳥飼ニ寄り斎藤ニプロペラノ板ヲ注文シテ帰ル

▲▼160ページ▲▼ 大正10(1921)年5月29日(日)

天気晴

今朝ハ眠カッタ 高左右君ガ起キテ始末ツテカラ坂本君ガ來テヤット起キタ 工場ニ行ク 帳簿整理出來ナカッタ 晝食坂本高左右ト共ニス 後藤坂東両氏來 飛行機借受條件左ノ如ク取極メル。操縦者報酬本所規定ノ通り アト半分デ配ケルコト 但シ操縦者練習費ハ本所負擔 飛行機ノ破損修理及改造費ハ半分ヅク負擔ノコト 尚飛行機実用化包(ママ)負ト決心ヲ聞ク 坂本君ノ練習費一分一円五十錢ニテ極メル 夜飯沼君ニ練習生ノコトニツキ話シテ領(ママ)解ヲ得 午前中右ノ耳ガ又ハレタノデ船橋ノ醫師ニ行ク

▲▼161ページ▲▼ 大正10(1921)年5月30日(月)

天気晴

五時高左右君ヲ起シ坂本君ト練習ニ行ク 自分食後出勤 新帳記入ヲナス 青島今夜ヨリ二日夜迄帰郷 暇ヲヤル 夕方ヨリ千葉ニ行ク 小川ニ金支拂ヒ池田ニ行キ根本ニ支拂ヲナシ池田共ニ一カニ行キ夕食後帰ル 一カハ庭及ビ坐敷ノ工合ガ大變氣ニ入ッタ

▲▼162ページ▲▼ 大正10(1921)年5月31日(火)

天気曇リ

今朝モ練習アリ

新帳記入  
後藤ローシノ爲メ北島少佐來場  
佐藤喜太郎氏外一名來ル

▲▼163ページ▲▼ 補遺

五月予定△印失敗 ○印成功  
但シ金ノ方ハ成敗相半ス

▲▼164ページ▲▼ 六月

○カーチス練習ノコト  
△リバイデー完成ニ近カラシムルコト  
△職人増員 仕上増スコト  
△ラジエター工作ノコト  
△○四国行キノコト  
○金無用ノ支出減ズルコト  
△拂下受取ノコト

▲▼165ページ▲▼ 大正10(1921)年6月1日(水)

天気 曇雨  
今日ハ高左右モ居ラズ久シ振りデユツクリ眠リ昨日迄ノ日記ヲツケ予定事業ヲ記ス  
十二時六分ニテ上京 セールフレザーニ行ク 金支拂不足ヲ生ジタ爲メ止メテ品物ダ  
ケ見ニ行ク 白戸ハモウ廿八日頃持ツテ行ツタトノコト 帰リニスグ日本俱樂部ニ行ク。  
財務幹事ノ件ニツキ大分ゴタツイタ ヤット終ツテ六時ヨリ食事 局ヨリ米倉神田、外  
一名 協会ヨリ寺家村、戸田福田ノ都(ママ)氏出席 飛行士中大部分津田沼黨ニテサ  
ナガラ津田沼飛行士クラブノ觀アリタリ 宴終ルヤ自分ハスグ七時四十分ニテ所沢ニ  
行キ島村君ニ會フ 職人アリ 日曜日迄ニ行クコトニナツテ居ルトノコトデアッタ  
細村屋ニ泊ル

▲▼166ページ▲▼ 大正10(1921)年6月2日(木)

天気 曇雨

島村君ニ會ヒ金十円職人旅費ニ預ケテ七時四十分ニテ帰ル 鳥飼氏トフレザーニ行ク  
金支拂フ ABCドラゴンフライ聞合セヲ依頼シテ帰ル  
二時水交社ニ行ク 賞品授與式アリ 高橋島田ノ代理ヲ自分ツトメテ帰ル 車中藤原  
ニ會フ 帰宅工場ニ行キスグ船橋醫師へ行ク 昨日今日右ノ耳誠ニ悪ルカッタ 其爲メ  
カ頭モ非常ニワルカッタ  
夜佐野、矢野ト仕事ノ打合セヲナス

所沢ニテスグ局ニ行キ航空部ニテ越札大佐ニ會ヒ製作ノコト依頼ヲナス

▲▼167ページ▲▼ 大正10(1921)年6月3日(金)

天気晴

下リ一番デ千葉白戸ニ行キ八時ニテ上京 局ニ行キ畑少将ニ仕事ノコトヲ依頼ス 井  
上閣下ノ處へ行ケ自分モ話シテヤルトノコトニ行ク 約一時間バカリ待サレタ 其内呼バ  
レタノデ行ツタ處畑閣下モ居ラレテスデニ話シヲサレテアッタ ヨロシク御願ヒシテ兎ニ角  
一度見ニ行クトノコトニ引下リ鳥飼ニテ晝食 協会ニテ金受取リスグ帰宅 後藤氏ヨリ  
二千円這入ツテ居タノデスグ共ニ入金セシム  
夜自分誕生ト祝賀ヲ兼ネ十数名ニテ夕食ヲ宅ニテ共ニス 工場ハ又別ニ肉ヲ馳走ス

▲▼168ページ▲▼ 大正10(1921)年6月4日(土)

天気晴

今日ハユックリ寢テ八時半工場へ出タ スデニ盛ニ練習シテ居タ 帳簿記入ノ整理ヲナス  
藤倉、関根ノ支払拂送金ヲナシ白戸へ手紙ヲ持タセテヤル 行違ニ白戸來 千円受取  
ル 都筑、大川、吉田來 晝食ヲ共ニス  
徳治今月ニナツテ急ニイタヅラニナツタ 信太郎ハ益々ヨクモノガ分リカツジヤベル様ニナ  
ツタ 今日ハ工場へ一所ニ行ツタ

▲▼169ページ▲▼ 大正10(1921)年6月5日(日)

天気晴

所沢ヨリ吉沼來 フレザー菅野來 晝食ヲ共ニス 吉沢入所ノコトニツキ來ル  
練習生規則改正 帳簿記入 航空局飛行協会願書來今日ハ大分急(ママ)ガシカッタ  
カーチス分解ス

▲▼170ページ▲▼ 大正10(1921)年6月6日(月)

天気 曇少雨

農商務展覽會出品物持参セシム

自分船橋醫師ニ行キスグ上京 佐藤桜井浅野協会ニ立寄り航空局ニ行ク コレヨリ先  
鳥飼ニヨル 白戸野田屋ニテ晝食中トノコトニ行キ共ニ局ニ行ク 會議中ニテタレニモ會  
ワズ書類ヲダシテ帰ル 鳥飼ニテリムヲ受取り三人ニテ友喜へ初メテ行ク 前ヨリハヤ、  
ヨイ家デ電話ガ便利デアッタ 早速大川へ用事ヲ便ジタ

▲▼171ページ▲▼ 大正10(1921)年6月7日(火)

天気 晴

坂本川辺來。明日出發スベク四月分決算表ヲツクルベク努力ス ツヒニ間ニ合ワズ  
朝日記ヲツケ醫者ニ行キ耳ヲ洗フ 大キナ耳クソガ出タ  
信太郎徳治共ニ丈夫デ中々面白クナツテ來タ

▲▼172ページ▲▼ 大正10(1921)年6月8日(水)

天気 晴

午前中帳簿ヲイソグ。大鈴、菅野來 晝食後白戸へ行ク 余ハ一足先キニ失敬シテ上京  
佐藤、桜井、浅野、鳥飼ニ行ク 丁度四時 スグ宮本組ニ立寄り新宿ニ行キ七時所沢  
着 島村ニ立寄り吉沢ニモ會フ 夕食ヲ共ニスル予定ナリシモ寺沢ノ處へ來ル職人ノ爲メ  
中止シ其返事ヲ急イデ貰フコトニシ七時半ニテ帰ル  
大坂ヨリ兄上京セリトノコト 終列車ニテ帰ル  
本日ノ記事ハ七日ノモノ  
八日ノ記事ハ九日ニアリ

▲▼173ページ▲▼ 大正10(1921)年6月9日(木)

天気 晴

青亜學生來 式百名近ク 午後帰ル  
晝白戸來 帳簿ヲ引合セ練習費ノ打合セヲナス  
帳簿記入 兄ガ來ルカト思タガツヒニ來ナカッタ 木工部明日ヨリ朝一時間早ク夕方  
三十分遅クヤルコトニシタ  
本記事ハ八日ノ分ナリ  
本日ノ記事ハ七日ニアリ

▲▼174ページ▲▼ 大正10(1921)年6月10日(金)

天気 晴曇

木工機械試運轉ヲナス モーターヨシ 機械ノ方尚二三日ヲ要ス  
四月分決算合ワズ大ニ困ル ツヒニ夜ニ入ルモ合ワズ  
都築氏金支拂。藤倉塗料部員來ル。夕方兄來 食後帰ル。夜教官三名及ビ佐野、矢野、稻垣ト不在中ノ仕事打合せヲナス

▲▼175ページ▲▼ 大正10(1921)年6月11日(土)

天気 曇少雨

朝食ヒゲソリ其他出發準備ヲ終リテ工場ニ行キ尚不在中ノコト話シテ十時二十二分發出發 鳥飼ニ寄ル 小栗電話セシモ不在 立石ニタノシテ佐藤へ電話スル 同不在 店ノモノニ職工ノ件タノム。兄ト會フ 農商務省商品陳列館ニ行キ出品物ヲ見テ帰ル 五時二十分發ニ乗ル 夜八時食堂ニ行キ帰ツテモーターノ山本氏ニ會フ 二十分ばかり話シテ床ニ入ル

▲▼176ページ▲▼ 大正10(1921)年6月12日(日)

天気 雨

七時着 朝食後中山氏ヲ訪フ 手續キマダスマザル由 住友ト提携ノコト力説シテ西店ニ行ク 不在 兄ニタノメタ用件ニテ坂口君ニ會ヒ高左右ニ電話スル 晝食ヲ共ニシヨウトノコトニ天狗ニテ會合 今宮ニ行ク。船満員ニテ乗レズ明日ニ延期 石垣ニ會フ 夕食後又姉兄ト話ヲ聞キニ行ク 十一時終リ帰ツテ十二時床ニ入ル

▲▼177ページ▲▼ 大正10(1921)年6月13日(月)

天気 曇リ

堀内耳ノ醫者ニ行キ手當ヲ得ク 旅行ヲ聞ク 不可ナリトノコトナレドモ止ムヲ得ザル 場合出發トキメテ西店ニ行ク 主人不在 工場ニ帰り晝食後車ニテ川口乗船場ニ行ク 川口局ヨリ鬼頭氏へ打電 船ニ入ル 一等室以外ニヨカッタ 船ハ余リ大キクハナカッタ ガ先ツイヤナ感ジハナカッタ。予定ヨリ一時間余遅レテ出船。本ヲ讀ミツ、神戸ニ入ル 其前夕食ヲ終ル

▲▼178ページ▲▼ 大正10(1921)年6月14日(火)

天気 雨

▲▼179ページ▲▼ 大正10(1921)年6月15日(水)

▲▼180ページ▲▼ 大正10(1921)年6月16日(木)

▲▼181ページ▲▼ 大正10(1921)年6月17日(金)

▲▼182ページ▲▼ 大正10(1921)年6月18日(土)

▲▼183ページ▲▼ 大正10(1921)年6月19日(日)

▲▼184ページ▲▼ 大正10(1921)年6月20日(月)

▲▼185ページ▲▼ 大正10(1921)年6月21日(火)

▲▼186ページ▲▼ 大正10(1921)年6月22日(水)

▲▼187ページ▲▼ 大正10(1921)年6月23日(木)

◆▼1888ページ◆▲▼ 大正10(1921)年6月24日(金)

◆▼1899ページ◆▲▼ 大正10(1921)年6月25日(土)

◆▼1900ページ◆▲▼ 大正10(1921)年6月26日(日)

◆▼1911ページ◆▲▼ 大正10(1921)年6月27日(月)

◆▼1922ページ◆▲▼ 大正10(1921)年6月28日(火)

◆▼1933ページ◆▲▼ 大正10(1921)年6月29日(水)

天気 曇り少雨

六時起床 工場二行 八時半ニテ上京 坂東氏ニ會ヒ高知ノコト修理ノコト金ノコトヲ  
交渉シ領(ママ)解ヲ得テ鳥飼ニ行キ日本自動車其他車輪ノ交渉ヲナシ買物ヲトノエ  
練習氣ニナリテ大急ギニ帰ル 三時半帰所。白戸飛行場ノ久保田外一名飛行機製作  
シテ呉レトノコト 話シ中今海岸ニテ發動機テストシ居タルイス。パノ180安岡操縦轉複  
セリトノ報アリ 又カト思ツテ居ル中安岡負傷 醫師ヲ迎ヘテ呉レトノコト 尚大シタコ  
トニアラズト思フ中第三報ハ重傷ヲ報ズ ソレヨリ手當ニ全力ヲツクス上千葉病院ニ入  
院セシムルコトトス 六時漸クカリホータイヲホドコシテ廿名近クノ人々ニ送ラレ出發ス。  
後雨シゲク途中ヲ思ヒヤル  
夜酒ヲノミシモヨワズ 床ニ入りテモ眠レズツヒニ翌朝五時ニ及ブ 其間不運ヲツクハ、  
感シタレドモ不幸ヲ幸ニ変ズル方法ヲ考ヘ兎ニ角明日稲垣ヲ山本大尉宅ニ行カシムルコ  
トダケヲ考ヘテ眠リニツク

▲▼194ページ▲▼ 大正10(1921)年6月30日(木)

天気 曇晴

今朝五時頃漸ク眠リニツキ八時頃迄ウツ、ヲシツヒニ起床。工場ニ行キ佐野ノ帰リヲ待ツ 晝前帰ル 経過ヨキ由 自分晝食後スグ行ク 藤原同行 病院主治醫ヨリ様子ヲ聞ク 骨ニ違(ママ)状ナシトノコト 先ヅ安心ノ方ナリトノコト 高知へ報告ヲナス。白戸ヨリ電話アリ 山本大尉ト晝食シタカラ加納屋ニ居ルトノコト スグ行ク 破損修理ノ件ニツキ色々親切ナ話シアリ。実ハ稲垣ヲ今夜御宅へ伺ハセ由ヲ申入レテ分レル 再ビ病院ニ帰リ帰途白戸ニ立寄ル 馬詰飛行士クラブヲ代表シテ來 共ニ帰宅 夕食ヲ共ニス 終列車ニテ帰ル 寢ツカレズニ時頃ヤット眠ル

▲▼195ページ▲▼ 補遺

六月大凶月ナリキ 予定通り進行セシ高知ガ駄目ニナリ、後藤機小栗機破損 三ツノ事故ハステ安岡ニ因ヲナセリ 年若キヲ技量ニマカセ信用シスギタル結果此仕末ニ至ル 大ニ以テ將來ヲイマシムベシ  
八月ノ競技不参加ハ残念ナレドモ止ムヲ得ズ

▲▼196ページ▲▼ 七月

△リバーテイー完成ノコト

△二台付製作ノコト

○練習生養生ニ全力ヲツクスコト

△カーチス製作ノコト

○拂下品ノコト

金錢出納ヲ明ラカニスルコト

成可ク外出ヲ止メ内政ヲ整理スルコト

▲▼197ページ▲▼ 大正10(1921)年7月1日(金)

天気 曇リ

十九米ノ南西ノ風 関西ハ大ニアレタル由

終日寝タリ起キタリ 夕方早ク場ニ入ル 阪東氏來 五百円受取ル 修理ノ件ヲ打合せ氏今夜大坂ニ行ク由



久シ振りデシイテ何事モ考ヘズ脳ヲ休マス

▲▼1988ページ▲▼ 大正10(1921)年7月2日(土)

天気晴

晴レタレドモ風尚ヤマズ

八時起床 頭ハ非常ニハツキリトシタ

朝食後出勤 高崎上京セシム

内ニテナスベキ仕事ノ順序ヲ立ツ 第一ニ所員職工ノ出勤、勤ダヲ見ルベク性(ママ)名札ノ整理ヲナス

稲垣、山本氏訪問 予定以上ノ成功ヲオサメ得タリ

▲▼1999ページ▲▼ 大正10(1921)年7月3日(日)

天気晴

風強シ。仕事帳簿不備多ク大ニツトメル

發動機試験台ニカゝル

▲▼2000ページ▲▼ 大正10(1921)年7月4日(月)

天気晴

午前手帳其他ヲ見ル 後チ練習ヲ見ル カン、照ラレテ夜クビガ痛カッタ

盛ニ練習ヤラセルト同時ニ手入レヲ嚴重ニス 皆モ大ニタラク。後チ表式ヲツクル  
午後四月ノ決算ツイニ合ワズ新ラシクヤリ直シヲ初ム

▲▼201ページ▲▼ 大正10(1921)年7月5日(火)

天気晴

朝一番ニテ病院ニ行ク 宿ニテ安岡兄ニ會フ 將來不事ノ事ニツキ領解ヲ得テ八時ニテ

帰宅 白戸ヨリ使アリ 飛行場ニツキ縣保安課へ一所ニ行キタイトノコト 同時ニ協会

戸田氏ヨリ病院ニテ會ヒタシトノハガキ來 ヤムヲ得ズ少時練習ヲ見晝食後白戸ニ行キ  
共ニ保安課ニテ飛行場問題ヲ議ス 結局漁業組合ノ承認書ヲ要スルコトナル 自分ハ

病院ニ行キ戸田氏ト同道 同氏晝食前トノコトニ梅松へ行キ白戸ヲ呼ブ 飛行場ニ行

キ内務部長へ紹會(ママ)状ヲ貰フ 夜八時五十分ニテ帰ル 同氏トモ辭ス 稲垣、五平、  
関口ト同車ス

▲▼202ページ▲▼ 大正10(1921)年7月6日(水)

天気 晴

工場ニ行キ練習ノコトニ注意ヲ與ヘ久保田ノ八字飛行 鵜飼ノ離着等ヲヤラセルコトニシ、鬼頭氏ヘ飛行ノ件其他大坂等手紙ヲ書キ九時四十七分白戸ト共ニ上京 佐藤ニ立寄り協会ニ行ク 水田來ラズ 晝食後鳥飼ニ行ク 佐藤發動機ヨシトノ通知アリ 局ヘ行キ明日検査ノコトヲ頼ム 帰リテフレキシブルシヤフト其他ノ注文品ヲナス 水田白戸ト來 ランチニテ曹達水ヲノミナガラ六ヶ條ノ航空事業組合項目ヲ作ル 六時ニテ帰宅 佐野高左右居タ 協会ヨリクレルジー及謝ノ受験料ヲ受取ル

▲▼203ページ▲▼ 大正10(1921)年7月7日(木)

▲▼204ページ▲▼ 大正10(1921)年7月8日(金)

天気 晴曇風

朝十番ヨチ九時千葉ニ行ク 白戸腹ガイタムトテ寢テ居タ。倉橋君代ツテ共ニ丸藤内務部長ヲ訪フ スグ領解ヲ得縣当局ヨリ漁業組合ヘ話シテ呉レルコトニナツタ。病院ニ立寄りテ帰ル 高木氏スデニ來 二回ニ渡リ夕方迄講議アリ 食後帰京セラル

▲▼205ページ▲▼ 大正10(1921)年7月9日(土)

天気 晴

五時起床 工場ニ行キ帳簿記入後上京 朝食ノイトマナシ

八時半ニテ上京 長尾ヲ連レテ買物ヲサセル 白戸ト共ニナリ協会ニ行キ修理補助願ヲ出シ、安岡ノ見舞金ヲ貰フ 協会及局次長ニ面會 組合組織ノコトヲ話シテ領解ヲ得テ晝食ニ友喜ニ行ク 電話ニテ知覽ヲ呼び海軍方面運動ノコトヲ打合セ明後日會フコトトシテ分レル。鳥飼ニ行ク 相羽ヘシヤイロ賣渡シノ件山本大尉ガ中ニ這入ツタトノコトデアッタ

小栗來 再ビ友喜ニ行キ夕食ヲ共シ組合ノコト修理ノコト打合セ金請求ヲナシ十二三日ヲ約シテ帰ル

▲▼206ページ▲▼ 大正10(1921)年7月10日(日)

天気 晴風

風強ク練習出來ズ 高左右、坂本上京 謝モ行ク

カーチス組 カーチス手入レ分解

帳簿記入 大坂ヨリ十一日金送ルトノ電報アリヤ、安心

後藤坂東來 二台付當ナキ爲メ延期シタシトノコト 其カワリ練習機ヲ作ルトノ話シデアツタ

▲▼207ページ▲▼ 大正10(1921)年7月11日(月)

天気 晴風

今日モ風ノ爲練習出來ズ 午前中帳簿記入 十二時六分ニテ上京歌舞伎座ニ行ク  
白戸二階ニ居ルトノコトニ終レバ會フベク見テ居ルト終ツテカラ出テ來ナイ ヤムヲ得ズ  
中君ト鳥飼ニ行ク 白戸少シ先キマデ知覽ト待ツテ居タトノコト 残念 吉田君ニ會フ  
サルムソンノ話シヲ聞ク 自分川辺ニ話シテヤルコトニス 夕食中後藤、坂東帰リタル由  
スグ開花ニ會フコトニシテ行ク。二台付復活ニ努力ス 氏モ必ズ作ルガ時機ノ問題ナリ  
トテ約一時間余ニ渡リテ交渉 種々自分ヨリ條件モ出シタレドモ折合ワズ 分カレテ大  
急ギニ小鳥町ノ川辺ヲ訪ヒ時間ナキ爲メアラマシヲ話シテ終列車ニテ帰ル ジヤイロ  
相羽ニ賣レル

▲▼208ページ▲▼ 大正10(1921)年7月12日(火)

天気 晴

八時半ニテ上京 鳥飼ニテ川辺、吉田ニ會フ サルムソンノコトホゞ話シマトマリ吉田明  
夜出發トノコト 晝分レル  
宮本組ニ行ク リバテイー附属品代金支拂ノ件ニツキ五十株ト差引殘金爲替手形ト  
ナス  
知覽君ニ電話ス スグ行クトノコト 會ツテ運動方法ヲ打合セ明日會フコトニシテ帰ル

▲▼209ページ▲▼ 大正10(1921)年7月13日(水)

天気 晴

七時半ニテ上京 勝美クラブデ小栗ニ會ヒ十時半頃尾城へ電話スル約速(ママ)ニテ鳥飼  
ニ行 知覽來テ居タ 宮本組ヨリ呼ビニ來タノデ行キ爲替手形ニ判ヲ押シテ知覽君ト  
海軍航空研究所ニ河野大佐ヲ訪フ 居ラズ 本省トノコト 時スデニ二十時半 共ニ尾城  
ニ行ク 小栗居ラズ 尾城氏ニ面會 五百円ダケ依頼ス 小栗ニ來ル様ニシテ呉レトノコ  
トニスグ洲崎ニ行ク 練習終ルヲ待ツ 三時共ニ尾城ニ行キヤット三百円ダケ貰ツテ帰  
ル

スグ河野大佐私宅ニ行キ幸ニ面會 知覽ヨリ來意ヲノベテ立出テ夕食兼晝食ヲナス  
自分ハ朝食モ兼ネル 後チ次長私宅ヲ訪フ 宴会ニテ不在 コヽニテ知覽ト分カレテ鳥  
飼ニ立寄り帰ル

▲▼210ページ▲▼ 大正10(1921)年7月14日(木)

天気 晴

朝工場ニ行ク 局ノ通知ヲ見ルニ九時迄ニ出頭セヨトノコト 驚イテ八時六分ニ乗ル  
十時半到着 水田君ガマダ來テ居ラナカッタ 少シシテ來 ズット遅レテ安井君モ來ル  
拂下品ノ分配ヲ終ル クレルジートイス。パノ福永ニ交渉ヲセマリシモ聞カズ 余ハ次長閣  
下ト後藤機ノコトト共ニ用命ヲ乞ヒニ課長ヨリ拂下ニツキ意見ヲ聞カル 水田氏迎ヘニ  
來タノデスグ松本ニ行キ皆ト晝食ヲ共ニシ安井君ト共ニ帰宅ス

▲▼211ページ▲▼ 大正10(1921)年7月15日(金)

天気 晴

五時半起床 六時半共ニ行ク 新宿ニテ待合ス 佐藤モ來 玉井來ラズ 九時十八分ニ  
テ行ク 十一時納庫ニ着 發動機ヲスマセ晝食後飛行機ヲ終ル スグ入札 終ツテ四時  
四十分ニテ帰ル 帰途鳥飼ニ立寄り夕食後銀坐ニテ小供服ノ買物ヲナシコヽニテ安井君  
ト分カレ帰宅ス

本日ノ拂下品ハ品余リニ悪ルカッタ 尚今後機ノ分配ニツイテハ兒玉少佐ニ意見ヲ述ベ  
テ居ク

白戸ヨリニ式八十三型ニツキ皆ノ前ニテ大ニ恥辱ヲ受ク 彼レノ小擔(ママ)今日ニ初マラ  
ザレ共馬鹿ニ近キカ

▲▼212ページ▲▼ 大正10(1921)年7月16日(土)

天気 晴

久シ振リニユック寝タ

工場ニ行ク マダ帳簿ガ出來テ居ナカッタ 佐野ハツマラヌコトヲシテ居タノデ他ニ云ヒ  
付ケテ帳簿ヲヤル様ニ命ズ

練習ヲ見ル 湯谷小田桐8字飛行トスイツチ切ルコトヲヤラセル

リベティー試験台出來タンクニ水ヲ入レル 大森ヨリ東京大坂間飛行ニツキ來ル 大坂  
ニ格納庫ヲ作ルコトヲ進メル 三時半帰ル

カーチスニテ快速機ヲ作り謝ニ参加サセルコトニツキ稲垣矢野ト相談ス

夕方耳ヲ見テ貫ヒニ醫師ニ行ク 待ツテ八時半帰ル

夜尚前記ノ相談スル予定ノ處稻垣上京セシ由

▲▼213ページ▲▼ 大正10(1921)年7月17日(日)

天気晴

帳簿ノ整理 工数日記帳ヲ用フ

練習部記録ヲ改正セシム

鳥飼氏ジヤイロ縄立ニ來一夕方荷造リス

▲▼214ページ▲▼ 大正10(1921)年7月18日(月)

天気晴

リバディー午前十五分 午後三十分運轉ス 局ヨリ北島、濱名二氏來

カーチス分解試験ノ爲メ降シ新品ヲ乗セル 長尾徳永氏へ中元持タセテヤル 安岡キ

ブス取レ室内散歩ヲユルサル

浅野、大川返金ス

盛岡行飛行ニツキ稻垣矢野ト機体ノ相談ヲナス 決局普通飛行機ヲ作ルコトトス

▲▼215ページ▲▼ 大正10(1921)年7月19日(火)

天気晴

リバディー分解試験ヲ初ム

カーチス新品ノ方調子悪シクツヒニ廻ラズ 四時ニテ局員帰ル

昨夜ジヤイロ引出シタル由

午後長尾上京

兵頭本日帰ル クレルジーノミ練習

高左右、坂本上京

▲▼216ページ▲▼ 大正10(1921)年7月20日(水)

天気晴

北島少佐十一時ニテ帰ル 浜名氏午後帰ル リバディーカーチス分解

木工ノ手ハツヨリ進メル

佐藤氏ヨリ新機ノ價格訪(ママ)合セアリ 七千円内外ト返出ス

吉田ヨリ同ジクサ式ニツキ手紙來 夕方川辺君ニ會フ爲メ上京ノ予定ノ處丁度同君來

右ノ話シヲナス イマダ玉井ノ方確定セズ確定出來ズ

▲▼217ページ▲▼ 大正10(1921)年7月21日(木)

天気晴

朝工場二行キ今日ノ仕事ヲ申付ケ八時六分ニテ上京 協会ニ行ク 徳永氏自分及白戸ノ五百円問題ニツキ馬詰磯部両氏ヨリ抗議アリ 飛行記事ヲ提出サレタシトノコトデアッタ スグ鳥飼ニ立寄り航空局ヘカーチスノ試験願書ヲ提出 次長ト少時會談 万国飛行ノ件ニ話ス。小玉少佐ヨリ模型ノ見積リヲセヨトノコトデアッタ。次長ノ進メニヨリ井上閣下ニ會フ 今日ハスグ會ツタ上非常ニ氣(ママ)嫌ヨク引續キ注文アルト云フコトハ不可能ダガソレサエ承知ナラ何ニカヤルコトガアレバ注文ストノ意ヲモラサレタ。越札大佐ニモ會フ ソバニ來客ガアッタノデ長クハ話サナカッタガ兎ニ角頭ニ於テ居クカラ何ニカアレバヤルトノ意味デアッタ 第二課長ニ會ヒ鳥飼ニテ晝食後帰ル。夕方白戸ニ行キ帰りハ初メテ電車ニノル ヨイ電車デアッタ 吉田君ニ昨日ノ返出ス

▲▼218ページ▲▼ 大正10(1921)年7月22日(金)

天気晴

北島少佐來 リバテイーカチーチス(ママ)共ニ組立ヲ初ム  
浜名氏照(ママ)介ノ村田高二生來場

▲▼219ページ▲▼ 大正10(1921)年7月23日(土)

天気曇雨

時々シウ雨ハゲシカッタ

四月來合ワナカッタ決算ガ合ッテ氣持チヨクナッタ  
左ノホウガハレ上ッテ歯痛ノ様ニナッタ イツモノキズヲ爪デイジッタノガ悪ルカッタラシイ  
局本日ハ來ラズ  
長尾上京セシム 小栗、矢沢外数件ノ爲

▲▼220ページ▲▼ 大正10(1921)年7月24日(日)

天気曇雨

六時起床 小鳥ノ屋根ヲ作ル 八時半工場ニ行ク 少時記帳ヲナシ工場ヲ見ル  
遊園地開園式ノ招待アッタノデ行ケナイカラクレルジロー飛バンテヤッタ 山風強ク雨

サエアツタガ無事飛行中飛行振りノ未熟サト外ニ又ナントモ知レナイ感じガシテ涙グマ  
シイ気持チニナツタ コンナコトハ珍ラシカツタ  
午後長尾千葉及東京ノ用件ヲ命ジ手紙ヲ書イテ渡ス 一時帰宅 晝食後自体ノ工合  
ガ変ナノデツイニ寢テシマツタ

▲▼221ページ▲▼ 大正10(1921)年7月25日(月)

天気 雨

カーチスプロペラ發動機運轉試験ヲ受ケリバッテリーハ明日次長見ニ來ルトノコト 藤原  
リババッテリーデイループロペラ試験終ル  
午後藤原君ニ各務ケ原へ行ツテ貰フコトニシタ 丁度同君神戸へ帰ルトノコトニ幸デアツ  
タ 児玉少佐ニ宛テ手紙ヲ書イテ持参セシム  
長尾上京 小栗矢沢ヲ聞カセル 小栗明日行ク 矢沢來月十日迄トノコト 協会ノ修  
理金呉レルトノコトヤ ■■■■心ス

▲▼222ページ▲▼ 大正10(1921)年7月26日(火)

天気 曇

北風ナレドモ雨ナク待ツ北島少佐來ラズ 天気ニナル迄延期ストノコト打電アリ  
小栗ヨリ安君來 金コトワリノ爲メ 坂本君同ジク昨日電報ニテ金コトワリニ來ル  
本日来場、練習ス。カーチスモ一回ヅ、ヤル 風悪ク中止ス  
リババッテリー廻ス 局ヨリ早川氏來 待ボケテ帰ル  
安岡退院ニツキ將來ノコト矢野、稲垣、佐野ト協議ス 矢野ハイマシメテカントクスルト  
云ヒ佐野ハ國へ返ス方ヨイトノコトデアツタ  
夜佐野來 十一時頃迄話シテ帰ル

▲▼223ページ▲▼ 大正10(1921)年7月27日(水)

天気 雨

午前北島少佐早川氏來場 リババッテリー運轉試験ヲ終ル 運轉中暗黒ノ雲ミナギリ  
海中ニ落雷ニニアリタレドモ更ニ音キユエズ 終リテ晝食ノ爲メ上總ニ行ク 夕方帰ル  
北島少佐ハ白戸ヘイス。パノノ試験ニ行ク

▲▼224ページ▲▼ 大正10(1921)年7月28日(木)

天気 晴

猛練習アリ 自分醫師二行ク  
四月分決算ヲス  
支拂予算表ヲ作ル 七千円ナリ  
小栗後藤機補修々理金ヲ受取ル 大ニ助カル  
後藤君ヘリバティ―ノ手紙出ス

▲▼225ページ▲▼ 大正10(1921)年7月29日(金)

天気 晴

今朝小田桐、湯谷、大辻君千米突ニ上昇 スロットルシテ目標地ニ着陸 之レニテ卒業  
トス

醫師二行ク

藤原上京 修理金八百円受取り自分ノ方へ受取ル  
珍ラシク元島原ノ高見氏ヨリ手紙來 スグ返事出ス  
白戸飛行場高橋君來場 プロペラ注文アリ  
安岡退院 玉木迎ヘニヤル  
小栗イス。パノ運轉試験ヲ受ク

▲▼226ページ▲▼ 大正10(1921)年7月30日(土)

天気 晴

朝工場二行キ練習ヲ見船橋へ行ク 帰ツテ坂本ニ金ノ請求ヲナス  
午後一時ヨリ湯谷、大辻、小田桐ノ卒業式ヲ舉行ス 鳥飼氏午前來 午後帰ル 三時  
頃北島少佐早川氏來 イスパノ試験ヲ受ケ道具不足ノ爲メ出來上ラズ二日ニス 五時  
過ギヨリ新宿舎ニ於テ安岡退院及ビ三名ノ卒業祝ノ爲メ立食ノ饗應ヲナス 北島少  
佐次長列席サル  
夜久保田、玉木、湯谷、小田切、長尾、五平等遊ビニ來ル  
六月分記帳ヲ初メル

▲▼227ページ▲▼ 大正10(1921)年7月31日(日)

天気 曇雨晴

朝内ノモノ等ガ練習シテ居タ 醫者二行ク 十二時五十七分ニテ安岡、謝、久保田、五  
平、信太郎ヲ連レテ成田ニ參詣 帰途千葉ニ寄り梅松ニテ夕食 根本ノ支拂ヲナシテ  
帰ル

稲垣氏友人渡辺氏來 小川職工ノ件ニツキワザ、來場サル 兎三角來ル様話シマトマ



ル

▲▼228ページ▲▼ 補遺

リバディー完成セズ  
二台付中止  
練習生三名卒業  
カーチス設計ヲ初ム  
拂下品確定  
金銭出納決算ヤ、完成ニ近ヅク

▲▼229ページ▲▼ 八月

○リバディー完成ノコト  
○製作注文取りニ全力ヲソ、グコト  
○練習部経済的ニ経営ヲ改ムルコト  
先月分各練習生時間調ベノコト  
○カーチス製作成ベク完成ノコト  
拂下品引取ノコト  
決算ノコト  
○住友交渉開始ノコト  
○金収入ヲハカルコト

▲▼230ページ▲▼ 大正10(1921)年8月1日(月)

天気 晴

朝醫師ニ行キ支拂ヒ勘定ヲ佐野ト共ニシ後チ五月決算表ヲ作ル  
午後ハ自宅ニテ水散キヤ小鳥ノ掃除ナドヲナス  
メヅラシキ快晴デアッタ

▲▼231ページ▲▼ 大正10(1921)年8月2日(火)

天気 曇リ

佐野外三名追浜行き 自分ハ吉田君來場ヲ待ツ爲メ行カナカッタガツヒニ來ラズ夜

再ビ電報アリ 明日鳥飼宅ニテ會ヒタシトノコト  
小田桐、湯谷大辻各練習生ニ意趣ヲ聞ク 各自三等ノ免状ヲ取ル爲メスグ來ルトノコト  
千葉市制博出品陸軍ノ押収機組立ノ爲メ西小路以下ト三名出張セシム  
土地ノ諸拂ヲナシ、工場各帳簿ヲ記入シ六月分仕訳ヲモナス

▲▼232ページ▲▼ 大正10(1921)年8月3日(水)

天気 晴曇

午前記帳 十一時ヨリ醫師ニ行キスグ船橋ヨリ上京 両国ヨリ鳥飼ニ電話スル 吉田君  
待ツテ居ルトノコト フレザーニ立寄りラジエターノ注文ヲナシ高度計寒暖計ヲ求メ鳥  
飼ニ行ク 吉田君ニ會フ イスパノデモイカラスグ製作ヲ初メテ貫ヒタイトノコトデ六  
日ニ金出來ルカラ持ツテ行クトノコトデアッタ。ヤレ、ホットシタ 之レデモ注文ナク  
テハヤリ切レナイ處デアツタカラ  
鳥飼氏宅ニテ晝兼夕食ヲナシ帰途川辺君ニ電話カケシモ不在 スグ帰宅

▲▼233ページ▲▼ 大正10(1921)年8月4日(木)

天気 晴

朝少シ曇ツテ居タガ後晴レタ  
北島岡両氏來 謝文達稲垣同乗 急角度着陸ヲアマチテ轉覆二回 機体メチ  
ヤ、ニナル 但シ脚車輪ハ無事 稲垣君左眼上ニ少シ烈(ママ)傷ヲ受ケ一針縫フ  
後チ久保田三等受験 良成績ヲ以テ通過ス 後チ藤原普通飛行セシム ヤハリ着陸不  
可ニテ月曜日迄ニ着陸練習ヲナスコトニツキ注意アリテ帰ル  
入学申込ミアリ 入学受験料五円ヲ受取ル 本所ニテハ初メテナリ 宮崎政治ト云フ  
設計部稲垣マイバツハ 矢野カーチスヲ依頼ス

▲▼234ページ▲▼ 大正10(1921)年8月5日(金)

天気 晴

二時頃寒氣シ後非常ニ暑ク夜明ケ頃ヨリ腹イタク堪エラレズ一度工場ニ行キテ醫師ニ  
行ク。ノドノ精ナリトテノドヲ焼キウガイト熱サマシヲ貰ヒテ帰ル 車上益々痛ク帰宅  
後スグ床ニツキシモ堪エラレズ静カニスル中追々ヨクナリタ方ニハ痛ミサラニナクナル  
高左右相談ノ上カーチスニテヤラセルコトニス

▲▼235ページ▲▼ 大正10(1921)年8月6日(土)

天気晴

今日ハムネガ悪ル 午後又々卅七度六分熱アリ醫師ニ行ク  
冷タキモノヲ好ンデノム

▲▼236ページ▲▼ 大正10(1921)年8月7日(日)

天気晴

森中川両氏クレルジ―破損ヲ見ニ來ル 損害高ク取調べ 午後白戸へ行ク 自分稲垣共  
ニ自動車ニテ送ル 稲垣ニテ晝食 二百二十滑走試験ヲ見テスグ帰ル  
赤坂醫師ノ診断書ヲ貰フ

▲▼237ページ▲▼ 大正10(1921)年8月8日(月)

天気晴

七時半ニテ上京 局ニ行ク タレモ來テ居ナカッタ 後出勤ヲ待ツテ月報用紙ヲ貰ヒ児  
玉少佐ニ會ヒ拂下ゲノコトヲ聞キ鳥飼ニ行ク シバラクシテ吉田君來 共ニ開花ニテ晝  
食後田中氏事務所ニ行キ金五千円也受取ル 鳥飼ニ立寄ル 大坂ヨリ中山氏上京セ  
リトノコトニ佐藤ニ立寄り不在ニ付夕方千代田旅館ニ中山氏ヲ訪ヒ夕食 小栗來ルノ  
ヲ待ツタガツヒニ來ラズ 十時ニテ帰ル

▲▼238ページ▲▼ 大正10(1921)年8月9日(火)

天気晴

七時三十分ニテ上京 第一銀行ニテ金受取り鳥飼へ千五百円渡シ佐藤ノ勘定ヲナシ同  
氏ノ紹介ニテ川崎銀行取引開始ス 弐千円入金 晝食佐藤ニテ馳走ニナル 桜井金支  
拂ヒ檜材ヲ依頼シ帰途九官鳥ヲ求メテ帰ル  
夜謝、安岡ヲ呼ビ重(ママ)ニ安岡ノ素行ニツキカイシヨクヲ加へ將來ヲイマシメ矢野君預  
ケヲ云ヒ渡ス 本人モ又アク迄本所ニヨツテ成功シタシトノコトニ付右取ハカラフ

▲▼239ページ▲▼ 大正10(1921)年8月10日(水)

天気晴

非常ニ暑カッタ

朝六月分記帳 午後久保田家族來場 挨拶ヲナス

入学申込者宮崎某入学試験ヲ行フ

午後四時一ノ宮ニ行クベク帰途ニツキシ處へ小栗君來 ツヒニ一ノ宮行中止 汽車中ノ

佐藤氏へ手紙持参セシム  
安岡本日ヨリ眼鼻ヲ直ス爲メ千葉病院ニ再ビ入院セシム

▲▼240ページ▲▼ 大正10(1921)年8月11日(木)

天気晴

午前中六月分記帳ト引合セ  
工場ノ仕事ヲ見廻ル リバーテイヲ急ガセル 小栗終日居タガツヒニ出来ナカッタ  
午後白戸ラジエターヲ陸軍ヨリ借りテ來ル 共ニ行ク スグ帰ル 金十四日ニ五百円程  
都合シテ呉レトノコト

▲▼241ページ▲▼ 大正10(1921)年8月12日(金)

天気晴

五時半起床 九官ニテヲ與ヘ朝食後工場ニ行ニ六月分引合セラナス 十時頃和田大尉  
少佐殿來場々ヲ見テ十一時ニテ千葉白戸飛行場へ行カレル  
午後引合セ全部終ル 明日決算

▲▼242ページ▲▼ 大正10(1921)年8月13日(土)

天気晴

六月分決算出来上ル  
七月分ニカゝル 大ニ氣持チヨクナッタ 仕事ノ方モ大分出来ソウデアルガ今ノ人員ダ  
ケデハ到底利益ヲ見ラレナイノデ人員ヲ増シテ仕事ヲ取ルノ外ナイ 七月ノ決算後大  
ニ活動スルコト リバーテイノ操縦者モ見出スコト

▲▼243ページ▲▼ 大正10(1921)年8月14日(日)

天気晴

七月分記帳ヲ初メル  
大工十六日ヨリニ三人來ルトノコト  
坂東氏來 プロペラ注文アリ  
福永ヨリモ同イスパノ分注文アリ  
白戸へ五百円貸ス ツヒデニフランクリン取戻シノ手紙事傳ル 返ナク夕方又ヤル

▲▼244ページ▲▼ 大正10(1921)年8月15日(月)

天気 晴雨

低空庄小笠原島ニ接近セリトテ天候不隠(ママ)デアッタ

八時ニテ上京 佐藤ニ立寄り共ニ局ニ行ク 次長所用アリ會エズ 児玉少佐ニハラシユ一トノ件依頼シ佐藤大尉ノコトヲ聞キ合セニ課長一寸顔ヲ出シ補修部ニ行ク 二十日迄不在トノコト 鳥飼ニ行ク 不在 都筑氏待テ居ラレタ 模型飛行機ノ話シヲ聞イテ佐藤ニ立寄り帰ル

夜兵頭ノ件ニ関シ滝沢氏富田同妻共ニ來 過日妻君ノ話ハ誤解デアッタトノコトニ縦前通リトス

協会へ電話カケタラ後藤君居リ共ニ日比谷松本ニテ晝食ス

▲▼245ページ▲▼ 大正10(1921)年8月16日(火)

天気 雨晴

七月分記帳

久保田上京セシム

佐藤氏へ廿五日迄ニ金ノ件申送ル

▲▼246ページ▲▼ 大正10(1921)年8月17日(水)

天気 晴

坂東宮崎氏組立ニ來場 夜高左右帰ル 共ニ夕食

七月分記帳

安井請求書出ス

▲▼247ページ▲▼ 大正10(1921)年8月18日(木)

天気 晴

川西一號機ノペラ午後廻シテ見タガヤハリ折レタ 結局設計ノ不備ニ帰シタガ問題ハ参加出來ルカ出來ヌカノ問題デアッタ 今一ツノペラヲ夜ニカケテ試験スル内後藤坂東両氏ハ陸軍ノヲ借リルベク上京シタ

七月分記帳

カーチス木工大二進ム

リバディー上翼ヲツナグ

▲▼248ページ▲▼ 大正10(1921)年8月19日(金)

天気 雨

朝カラ大雨デ上京ヲ如何シヨウカト思ツタガ日ガ吉イノデ行クコトニシタ スグ局ニ行ク 心配シタ岡大尉居ラレタノデ操縦士ノコトト台湾ノ飛行機ノコト及ビ注文聞クノハ何處デ聞クノカ聞ク 氏自カラ中川氏ニ聞イテ呉レラレタガ丁度來客中トノコトニ他日ニユヅツテ帰ル 尾島飛行場全焼 スパット皆焼ケ僅水田氏ノ一機ヲ出シ得タトノコト 帰余(ママ)電報デ見舞ヲ出ス

鳥飼ニ寄り記念號ノマイバツハヲ小馬力ニ買替ヘルコトヲ相談シ、フレザーニテ買品ノ打合セヲナシテ帰ル スグ工場ニ行ク

夜高左右藤原氏等ト共二十時頃迄話ス

▲▼249ページ▲▼ 大正10(1921)年8月20日(土)

天気 曇後晴

本日ノ飛行延期 矢野昨日上京 終日帰ラズ 木工手明キヲ生ズル爲メ大ニ氣ヲモム 終日仕事ノ奨励ヲナシクレルジ一分解少時手傳フ

夕方矢野帰場 仕事ノ打合セヲナス

安岡、父、湯谷新其他へ手紙数通ヲ書ク 廿七日ノ支拂準備ノ爲メ佐藤氏後援会へ三千円申送ル

▲▼250ページ▲▼ 大正10(1921)年8月21日(日)

天気 晴

郵便飛行決行ノ日 午前中帳簿引合セ中一機後藤機ラシイノガ千葉方面カラ東京ヘ行ツタノデ変ダト思タラヤハリ後藤氏ガ道ヲ間違テ帰タコトガ分ツタ

晝過ギ鳥飼氏來 初子君ガ帰ツテ居ルニツイテ仲ニ這入ツテ呉レトノコトニ共ニ上京

宅ニ行ツタガ居ラズ 二度行ツタガツヒニ居所分明セズ。矢沢氏ニ會ツテ帰ツタ

郵便飛行ハ高橋出發ニヤリソコナイ郵便飛行ツヒニ中止サル

▲▼251ページ▲▼ 大正10(1921)年8月22日(月)

天気 晴

工場ニ行キ八時半ニテ上京 鳥飼ニ行ク 内野來客中ナノデ局ト航空部ヘ顔ヲ出シ十二時鳥飼ニ帰ル 内野氏モ仲ニ這入ラレタノデ大ニ債(ママ)任ガ軽クナツタ 晝食後宅ヘ行ツタガヤハリ分ラズ 自分手紙ヲ預ケテ帰ル 千住ノ叔母ノ宅分リ内野氏ト共ニ行ク ヤハリ居タ 母モオバモ皆居タノデ話ヲシタガ絶対ニ帰ラヌ又帰サヌトノ一點張ニテ話ハヤブレアトハ内野氏ニ頼ミ鳥飼氏ニ報告シテ帰ル

▲▼252ページ▲▼ 大正10(1921)年8月23日(火)

天気晴

宮本組ツヒニ來ラズ 午後廿五日行クトノ電報アリ 終日帳簿引合セヲナス 七月分  
終ル

練習生一名申込ミアリ 八百弍十円受取ル  
夜大坂ノ兄姉ニ手紙ヲ書キ小供ノ写真ヲ送ル

▲▼253ページ▲▼ 大正10(1921)年8月24日(水)

天気晴

八時半ニナルヤツガ八時九分ニノレタ 鳥飼ニ行 局ニ行キ航空部ニ立寄ル 宮本組ニテ  
マイバツハノ話シヲ聞キ広野氏ニ會フ 協会ニモ一寸行ク 佐藤へ寄り三時ニテ帰ル マイ  
バツハノ代リニイス。パノ希望スルノデスグ千葉ニ行ク 加納屋トノコトニ行ク 石橋、稻垣  
矢野、佐藤モ居テ八時頃迄ノンデ帰ル 白戸イス。パノ五千円ナラ賣ルトノコト

▲▼254ページ▲▼ 大正10(1921)年8月25日(木)

天気晴

設計部マイバツハ製圖打合セアリ 仕事ト設計部ノ間自分ガ連絡ヲ取ルコトトス  
七月分決算出來ル 明日精算表ヲ作ルコト

張一行來 マイバツハ見ル 坂東ハハリイス。パノガホシイトノコトデ白戸ノ話ヲシテ買入  
方頼マル  
夕方白戸ニ行キイス。パノ話ヲ極メ明日上京ノ約束ヲナス

▲▼255ページ▲▼ 大正10(1921)年8月26日(金)

天気晴

七時半ニテ白戸君ト上京 局ニ行ク 會議中ニテタレニモ會エズ セールフレザーニテコン  
パストシヤツフルヲ求メ計器買入契約ハアト分ト一所ニシテ呉レトノコトニテ契約延期  
宮本組ニ行

銀行ニテ金壹千円引出シ佐藤へ注文品ヲナシ協會ニテ白戸ヲ待合セ宮本組ニ行キ富田  
氏ニ會フ 明日午後三時ニ返事スルコトニ決ス

郵便飛行ヤリ直シニ決定セシ由帰途車中徳永氏ヨリ聞ク 石橋協會ニテリバティーニ

テ出タイトノ意ヲモラシテ居タ 明後日ヨリ組立ヲ見ニ來ルトノコト

▲▼256ページ▲▼ 大正10(1921)年8月27日(土)

天気 雨後晴

昨日來 吹キツゞイタ風ハ正午過ぎ最モ猛列(ママ)ニ雨サエマジエテスゴカッタ  
リバディー主翼ヲ機体ニ取付通組立ヲナス  
小栗加藤金取リニヤツタガダメ

▲▼257ページ▲▼ 大正10(1921)年8月28日(日)

天気 風曇

今年初メテノ大風デアッタ

▲▼258ページ▲▼ 大正10(1921)年8月29日(月)

天気 曇雨

五時起床 工場ニ行ク 雨ニナツタノデ墓前祭出來ズ宿舍内ニテ行フ 予定時刻ニ終リ  
自分上京。佐藤氏吉田氏ニ會フ 卅十本日秋田へ金送ルコトヲ云ツテヤツタカラ一日  
頃來ルトノコトヲ聞イテ歸ル  
フレザーニ立寄り計器ノ話ヲナシ協會ニテ白戸ニ會ヒ共歸ル

▲▼259ページ▲▼ 大正10(1921)年8月30日(火)

天気 曇少雨

妻ガ最(ママ)非ニトノコトデトードウ別荘ノ方へ今日引越シヲシタ  
中君上京ス

▲▼260ページ▲▼ 大正10(1921)年8月31日(水)

天気 曇リ

朝机、本箱ノ整理ヲナシ散髪ヲス  
佐野ニ行キテ明日以後金ノ打合せヲナシ四時ノ汽車ニテ上京 川辺ニ行キ上野丸万ニ  
テ夕食ヲ共ニス 例ニヨツテ困ツテ居ル様子ナノデ取アエズ十円ダケ渡ス 佐藤ニ行キ工  
場ノ話ヲナシ二日海軍拂下ノ金準備ヲ頼ンデ鳥飼ニ行キ泊ル



▲▼262ページ▲▼ 九月

リバーテーター完成  
マイバツハ出来ダケ完成  
カーチス全  
拂下品引取りノコト  
兵頭以下四名卒業ノコト

▲▼263ページ▲▼ 大正10(1921)年9月1日(木)

天気晴

久シ振りニ晴レタ 七時鳥飼宅ヲ出テ新宿ニ行ク 吉田、北島、楠諸氏ト會フ 白戸小栗アトヨリ來ル 式ハ予定ノ如ク進ミ十一時二十二分ニノル サ式ニ優等生ノ由返リヲ見ル。岡大尉ヨリ操縦士ノ返事アリ急ニ六行力ヌガ運動ヲ繼續スルトノコトデアツタ 白戸賞金貰フトノコトニ協会へ同行シ式千円受取り式時二十分ニテ帰宅 晝夕食ヲ兼ネ佐野、矢野、稲垣ト仕事及練習ノ打合セラナス 大坂兄ヨリ四日株券ノ配分ヲシタ キニツキ最(ママ)非帰坂セヨトノコトニ明日田浦ヨリスグ帰ルコトニシタ 七時三十分ニテ上京 切符ヲ求メ鳥飼ニ行キ銀ブラヲシテ都筑知覽ニハガキヲ書キ日記ヲツケル

▲▼264ページ▲▼ 大正10(1921)年9月2日(金)

天気晴

七時東京駅發ニノル 白戸、佐藤喜同乗 新橋ヨリ多田少佐 品川ヨリ馬詰(水田代)大森ヨリ相羽 田浦ヨリ小栗、玉井代福永代太田、安井皆揃フ 機體發動機其他公平二分ケテ十二時晝食 親子井ヲ取り一時二十分ニ乗ル 余ハ車中小栗ト金受取りノ交渉ヲナシ鎌倉ニ下車 車ニテ見物ヲナシ四時旭館ニ入り入浴 夕食後六時二十分ニ乗リ大船六時五十分下リニ乗ル コヽヨリ津田沼へ繪葉書四通ヲ出ス 安井氏ト同車 クリームヲノミ八時半床ニ入ル

▲▼265ページ▲▼ 大正10(1921)年9月3日(土)

天気晴

七時着 難波ニ行キ朝食後中山氏ヲ訪ヒ午後ヲ約シテ帰り晝食後西店ニ行キ三十分程話シ陸軍ノ経過ヲ報告シ金融ノコトニ及ブヤ心配イラヌトノコトニ大ニ意ヲ安ンジ今

宮ニ行き弑時半中山氏ヲ訪 在宅ナレドモ築港ニ急用ナリトノコトニ一度帰り夕食後  
行キテ株券ノ整理ヲナシ東京分ハ全部受取りテ其他打合セラナス 事ム員加藤昨日上  
京セリトノコト

井上長一氏來 新世界ヲ散歩ス 父明日同行ニ決ス 夜行寢台ナク朝ノ特急ニス

▲▼266ページ▲▼ 大正10(1921)年9月4日(日)

天気 雨

八時二十分ノ發車ヲ午後ノ時刻表ト間違エ七時過ギ大急ギニ梅田ヘカケツケテ馬鹿ヲ  
見タ コレヨリ先キ竹島ヘ行き一通リ話ヲシテ出發ス 父同道兄駅迄來 夜七時半駅着  
雨ノ爲車ナク大二困ル 十数台待ツテタクシーニ乗ル

両国ニテ夕食ノ爲メ一時間遅レ九時十分ニ乗ル 十時半帰宅 雑話ノ後十二時近ク  
就床

▲▼267ページ▲▼ 大正10(1921)年9月5日(月)

天気 雨

五時起床 工場ニ行き仕事ヲ見ル予定アリ何ニモ出來テ居ナカッタ

七時九分ニテ上京 局ニ行き兒玉少佐ヨリ国務院ノコトヲ聞ク 二課ニテ湯谷大辻小  
田桐ノコトヲ聞ク 鳥飼ニテ佐藤君ニ會フ 午後二時二田中氏來テ呉レトノコト 協会ニ  
行ク 後藤藤原共ニ金貳千貳百円受取り小栗ト一所ニナリ曙ニテ晝食後田中氏ヨリ  
三千円受取り内千円佐藤ニ渡ス内五百円現金ニテ先ヅ渡ス 「フレザー」ニ行ク 菅野  
居ラズ 鳥飼ニテ勘定ヲナシ五百円渡ス 佐藤ヘ立寄り四千元入金ヲ依頼シ帰場 車  
中白戸ト一所ニナリ明日上京ヲ約ス 明日国務院補助金申請書出スニ付夜業後稲垣、  
佐野、矢野ト打合セ原稿ヲ作ル 十二時半終リテ床ニ入ル

▲▼268ページ▲▼ 大正10(1921)年9月6日(火)

▲▼269ページ▲▼ 大正10(1921)年9月7日(水)

▲▼270ページ▲▼ 大正10(1921)年9月8日(木)

▲▼271ページ▲▼ 大正10(1921)年9月9日(金)

▲▼272ページ▲▼ 大正10(1921)年9月10日(土)

天気曇

本日練習生ノ体格検査ヲ行フ

夕方ヨリ父ト千葉ニ行キ加納屋ニテ馳走ニナル 八時頃根本へ立寄り帰ル

安岡退院ス

以後練習 吉川以下今月中休マセ外猛然ニヤラセルコトニス

▲▼273ページ▲▼ 大正10(1921)年9月11日(日)

天気曇

六時乗リオクレ六時三十分ニ乗ル

佐藤へ飯田町ヨリ電話ヲ懸ケ所沢ニ行ク。佐藤出張所ニテ職人臨時雇ヲ頼ム處へ杉本  
來 共三三谷屋ニ行キ晝食ナガラ將來ヲ聞ク 最(ママ)非研究所デヤリタイトノコトニ  
自分ノ意見モ述ベル 宅ノ方ハ兄ガアルノデ心配イラヌトノコト 大ニ意気投合シタノデ  
嬉シク後チ妓ヲ呼ビ大ニノム 帰途クルシク友喜ニテ一時間程寢テ帰ル 兄上京シタト  
ノコト 宅へ帰ツタラ來テ居タ

▲▼274ページ▲▼ 大正10(1921)年9月12日(月)

天気雨

長尾上京セシムフレザー交渉ニヤラセル

兄上京

加藤婦妻病氣ノ爲メ帰ル

夕方玩具ノ飛行機設計圖ヲ作ル

▲▼275ページ▲▼ 大正10(1921)年9月13日(火)

天気 雨午前少晴後曇リ

兄終日在宅

佐藤明日試験ノ爲メ洲崎ニ飛行ス  
岡北島両氏來 藤原飛行 着陸尚未熟 練習ヲセヨトノコト 止ムヲ得ズ自分練習セ  
シメルコトニス 神戸ノ方解決ノ爲メ藤原帰神 井上長君ニ手紙出ネヲツケテヤル  
青島ニ玩具飛行機ヲ作ラセル  
高左右、加藤、單獨飛行ス

▲▼276ページ▲▼ 大正10(1921)年9月14日(水)

天気 雨

長尾買物上京セシム

少時記帳

神田佐藤氏來 過已ヲ報告シ現在ヲ話シ將來ニツキ相談シ晝食後帰京ス  
所沢ヨリ職人余リ出來ズ  
兄帰坂ス 金ノコト頼ム  
井上長君近々上京ストノ手アリ

▲▼277ページ▲▼ 大正10(1921)年9月15日(木)

天気 雨

午後五時仕舞トス

午後休息時間所員へ株券交付ス 嬉(ママ)ンデ居タ様ダ 木工部へ大勢集ツテ見テ居タ  
自分ノ計畫ガウマク行ツタ  
自分模型小供ノ玩具製作ヲヤル  
稲垣ヨリナホ來ル 夜帰ル  
加藤隆吉余リヅルイノデ手紙出ス

▲▼278ページ▲▼ 大正10(1921)年9月16日(金)

天気 晴

薄曇リガ段々晴レテ午後久シ振リノ晴天トナル 晝前川辺君來 波上飛行機ノ翼注  
文ノ件ニテ來ル 白戸勘定ニ來ル 晝食後帰ル  
晝井上長君來 藤原へ百円貸シタトノコト 堺ニ練習所設置ノ件ニツキ打合せ本所ノ名  
前ヲ貸シテ呉レトノコト 又ソウシナケレバ出來マイ 収入勘定ヲヤツテ見ル 一分ニ円  
トスレバ決シテ損ノ行カナイコトニナツタ 自分モ之レニヨツテ大ニ力ヲ得タ

▲▼279ページ▲▼ 大正10(1921)年9月17日(土)

天気 晴  
玩具ツクル  
朝記帳

▲▼280ページ▲▼ 大正10(1921)年9月18日(日)

天気 雨  
久シ振りニ晴レタ 大口來 金太郎女ヲハラマセタトノコト 店デモ出サセル場合ニハ何ソトカシテヤラナケレバナルマイ  
玩具ツクル

▲▼281ページ▲▼ 大正10(1921)年9月19日(月)

天気 曇雨  
朝上天氣デアッタガ停車場ニツク頃ヨリ又降り出シタ。佐藤ニテ約手裏書ヲサセ局ニ行キ協会ニテ安岡謝ノ金受取り入金 フレザ―ニテ計器引取り手續キヲナス 矢沢氏 金下職人ノ交渉ヲナス ドチラモ要領ヲ得ズ

▲▼282ページ▲▼ 大正10(1921)年9月20日(火)

天気 晴  
玩具工作  
製圖佐藤又休ム 困ツタ人  
長尾ヨリ川西ノ命ニテ五平ガ玉木ヲ引出シニ來タトノコト 不都合千万ナヤツ 尚事  
実ヲタシカメテ話ヲツケルコトニス

▲▼283ページ▲▼ 大正10(1921)年9月21日(水)

天気 晴  
風尚強シ 朝出勤前八月分記帳  
十時頃山本大尉來場 後チニ課長來 晝食後汐ヨク引カザレドモ飛行ニサシツカエナシ  
湯谷飛ベズ 後チ聞ケバ後藤氏中止セシメシトノコトナレドモ本人ニ自信アリタリト云エ  
バ今後ヤルコトニ申聞ケル ソレニシテモ藤原、高左右二人ガ延期説ヲ持シテウルサシ  
夜高左右又來 受験ノ件打合セヲナス  
夜玉木、佐野ト夕食ヲ共ニス 川西ヨリノコト玉木ニ話ス 自分デ來ラレナケレバ誰レカ  
電話ヲシテ呉レトノコトデアッタトカ 長尾ノ話トハ違ッテ居タガ玉木トテ五平ニキズツ

ケナイ爲メノ話ダト思フ

▲▼284ページ▲▼ 大正10(1921)年9月22日(木)

天気 晴

風ナギ雲多クナツタガ湯谷受検(ママ)ニ六丁度ヨカッタ 東風ガヤ、強ク吹き出シタ 湯谷ノ後チ高左右三回練習 アトニテ小田桐一回飛行セシム

山本大尉山内君來場

藤原モ飛ブ

大坂喜代市兄へ昨日ノ返手紙出ス 岡本自轉車へ車輪注文ヲ發ス

▲▼285ページ▲▼ 大正10(1921)年9月23日(金)

天気 雨

玩具ホゞ完成 ツリ下ゲテ見ル 余程ユウバイガナクテハ行カナイノデ綱デ引クコトニシタ方ガヨサソウダ

午前中川辺君來 プレン作ルコトニナツタカラ圖ヲ作ツテ呉レトノコト 今月中ニ契約シタイカラトノコト 晝食ニ稲垣君ト三人デ相談シ且ツ大的ノ見積ヲナシテ川辺君ニ渡ス

▲▼286ページ▲▼ 大正10(1921)年9月24日(土)

天気 雨

加藤修三本日帰ル 工場規定ヲ作ラセル

長尾上京セシム

▲▼287ページ▲▼ 大正10(1921)年9月25日(日)

天気 曇雨

佐野病氣見テ貰フ爲メ上京

午前頭痛ハゲシク堪エラレナカッタ

夜加藤照(ママ)介ノ爲メ稲垣、矢野、安岡久保田ト夕食ヲ共ニス

阪東氏ヨリ三千円融通ノ手紙來

▲▼288ページ▲▼ 大正10(1921)年9月26日(月)

天気 晴

昨夜中ノ大暴レヲ知ラヌ如クヨク晴レタ 名古屋地方大分損害ガアッタトノコト  
帳簿引合セヲ終ル  
佐藤章氏廿九マイバツハ試験後帰国ノコトニ話極マル  
夜八時半頃川辺君來 圖面ヲ持ツテ歸ル  
阪東氏へ車輪ノ金ヲ送り且ツ三千円ノ融通ヲ事ワル

▲▼289ページ▲▼ 大正10(1921)年9月27日(火)

天気 晴

午前早ク練習ヲ見ル 兵頭本日單獨飛行ヲ行フ 其他成績ヨシ  
徳二本日ヨリ歩ミ初メル  
八月中決算加藤ニヤラセル 合ワズ  
自分小田桐ノ爲メニ局へ願書ヲ書ク

▲▼290ページ▲▼ 大正10(1921)年9月28日(水)

天気 曇少雨

八時半ニテ上京。佐藤、協会、鳥飼ニテ用件ヲナシニ時局ニ行キ補給部ニモ行キ大塚  
中尉ニ會フ  
岡大尉ニ松木軍曹ノコトヲ話ス  
二時半次長ノ挨拶ニ初マリ顔ツナギアリ 白戸熊本へ立ッ  
余先キニ出テ高左右ト共ニ赤羽橋ノ原氏ヲ訪フ 高左右坂倉ニ行ク ルノー發動機ノ  
コトヲ話シス ヤルトノコト 同商店主ニモ會フ  
高左右ガ馳走スルトノコトニ浅草ノ來々軒ニ行ク 今日ハ腹工合ガ悪ルクイヤダッタ  
色々ナ所員其他ノ話ガアッタ 参考ニモナッタガ皆ハ信ジラレナイ

▲▼291ページ▲▼ 大正10(1921)年9月29日(木)

天気 曇リ

昨日ノ上京デ少シツカレ七時半起床 マイバツハ試運転 局ヨリハ來ラズ  
職工規束出來ル  
川辺夕方來 明日連レテ來テ契約スルトノコト

▲▼292ページ▲▼ 大正10(1921)年9月30日(金)

天気 曇雨

マイバツハ廻シテ見タ

佐野ト青島大ケンカヲヤル 二人共足りナイノニ六困ツタモノダ 夜青島ヲ呼ビ説諭ス  
尚外職人モ一人ニツキ注意ヲ與ヘル

夜加藤君引合セノ目的ニテ佐野玉木中尾村山ト食事ヲ共ニシ仕事ノ打合セモナス

▲▼293ページ▲▼ 補遺

リバディーホゞ完成

マイバツハ予定ダケ進マズト雖モ大体出來ル

カーチス未成

拂下ツヒニ來ラズ

卒業生練習日数少ナク卒業ニ至ラズ

九月ハ右一ツトシテ完成セルモノナシト雖モイワユル冬ゴモリノ如ク十月ニハバタゞ完  
成スベシ

▲▼294ページ▲▼ 十月

マイバツハ完成

リバディー々

カーチス々

拂下品引取り

卒業生ヲ出スコト

▲▼295ページ▲▼ 大正10(1921)年10月1日(土)

天気 曇リ

棚卸シヲナス 青島モ手傳ニ來ル

余八月分決算ヲ終リ計器ノ入庫ヲナス。川辺、柏原來 發動機ヲ見テ晝食ニ佐渡屋へ  
行ク 四時頃分レテ電車ニテ歸ル 津田沼ニテ下車シヨウトスルト石橋ガ乗ツテ來タノ  
デ共二千葉ニ行キ梅松ニテ會食 白戸マダ歸ラズ 終ツテ稲毛海気館へ泊ラセル 自分  
帰宅 十一時過ギテ居タ

▲▼296ページ▲▼ 大正10(1921)年10月2日(日)



天気 曇リ

マイバツハ試験 北島少佐西川氏來場 三十分廻ス

八月份決算ヲ終ル

夕方仕事終ツテ一同ヲ事ム所ニ集合 規業的ニヤルコトヲ申渡シ各自辭令ヲ渡ス

▲▼297ページ▲▼ 大正10(1921)年10月3日(月)

天気 雨後曇リ

朝打合せヤラ仕事ヤラ支拂小切手書イタリイソガシク九時十四分ニ乗ル 車ニテ神田附近皆スマセ鳥飼ヨリ局セルフレザー、協会等ニ行キ原サンニ行キイツ頃出來ルカドノ位カ、ルカナド聞ク 久シ振リデ加藤ニ寄ル 不在 戸延ヲ訪ヒイケスニ行キ夕食ヲ共ニシテ帰ル 九時十分ニ乗ル

▲▼298ページ▲▼ 大正10(1921)年10月4日(火)

天気 雨

九月份記帳ヲ初ム

見習工広告ニヨリ沢山來ル

二三名採用ス

杉本父へ手紙加藤ニ書カセル

金工夜業長クス

西小路或事情ノ爲メ帰坂 金四十円與ヘル

阿部モ帰ルトノコト 説得シテ十五日迄ハタラカセルコトトス

▲▼299ページ▲▼ 大正10(1921)年10月5日(水)

天気 曇雨

八時半ニテ上京 原氏ヲ訪 約一時間ニテ川辺君來 日本海上倉庫へ會見時間ヲ聞ク 午後二時トノコト 川辺ト宮本組ニ行キ注文受書ヲタイプライターニテ打セ鳥飼ニ行ク 吉田氏ト會フ 晝食中ニ時ニナル 行キテ契約ナル 内金二千円受取ル 一度鳥飼ニ帰ル 同氏ト飯倉自動車ノセンバシヲ見ニ行ク 四百円ニテ買入レコトトス 戸延ニ行ク 不在ニテ名刺ニ用件ヲ書キ預ケテ帰ル 伊東屋ニテ買物ヲナシ友喜ノ支拂ニ行キ十時ニテ帰ル

兄上京中電話ニテ話シス

▲▼300ページ▲▼ 大正10(1921)年10月6日(木)

天気 雨

帳簿ノ記帳ヲナスヤ、進ム

兄父ヲ迎ヘニ來ル 父昨夜來 ゼンソクハゲシク帰坂ヲ見ワス

川辺、東家、柏原、戸根來場 晝食シツ、稲垣ト打合セヲナス

▲▼301ページ▲▼ 大正10(1921)年10月7日(金)

天気 曇雨

朝北島少佐來場 準備間ニ合ズ帰ル 晝前山本多田山ノ内氏來場 北風ヤ、ツヨカリ

シモ高左右試験ヲ行フ 烈風且ツ雨中ヲ飛ビ8字飛行ヲナシ着陸ニ左車軸ヲ折リサカ

立ナセシモ大破ナク明朝引續キ行フ様準備セシム 山本大尉泊ル

神戸ヨリ関口氏來 稲垣ニ泊ル 坂本氏モ又來場 夕方帰京

▲▼302ページ▲▼ 大正10(1921)年10月8日(土)

天気 雨

三時目醒ム 五時起床 戸ヲ明ケテ居ル處へ山本大尉來場 北風益々強シ 飛行準備

ヲヤラセル 場ニ引出シ同乗ヲナスベク運轉ヲ開初(ママ)ス 風益々ツヨク中止命令アリ

發動機回轉ノミニテ終ル 高左右之レニテ卒業トナル

鳥飼森原両氏來ル 千葉裁判所へ行 森原氏金ニナツタコトヲ聞キ大ニ嬉(ママ)ブ 余

アトヨリ行キ白戸ニテ待ツ 原告ハタシテヘコタレ示談ヲ申込ム 晝食ニ行キテ話シ初マル

大体案出テアトハ辨ゴ士ニマカセルコトトス

二時半帰宅 北島少佐來場サレ居リマイバツハ雨中試験ヲ行ヒパス

▲▼303ページ▲▼ 大正10(1921)年10月9日(日)

天気 雨

北ノ風雨ハゲシ 夜雨モリシテ寢ラレズ三時半頃迄眠レナカッタ

今日ハ終日自宅デ九月分記帳

時々工場ヲ見廻リニ行ク

▲▼304ページ▲▼ 大正10(1921)年10月10日(月)

天気 雨

風雨止マズ 自宅雨モリ多ク困難ス

九月分記帳ヲ終リ引合セヲナス

夕方止ミ夜月出ス

▲▼305ページ▲▼ 大正10(1921)年10月11日(火)

天気晴

無風快晴 大ニ氣持チヨシ

試算表加藤ニ作ラセル

玉木、加藤折合ヒ悪シ 余ノ最初ヨリ不安ヲ感ゼシモノ

夜宿舎二十時頃遊ブ

羽田村上君來場 泊ル 練習生ニナリタイトノコト 玉井氏依頼状ヲ要求ス

戸川氏來場

▲▼306ページ▲▼ 大正10(1921)年10月12日(水)

天気晴

八時半ニ乗レズ九時十四分ニテ上京

波上飛行機内金川辺下坂ノ爲メ取レズ

佐藤、有信商会、鳥飼、協会、局、伊東屋、友喜吉田氏ト同道 原氏多忙ノ爲メ會エ

ズ帰ル

▲▼307ページ▲▼ 大正10(1921)年10月13日(木)

天気晴

小栗ノイス。パノ試験 テールヘビーニテ直線ノミ 午後重心點ヲハカル

決算ヲナス

マイバツハ仮組立ヲナス

▲▼308ページ▲▼ 大正10(1921)年10月14日(金)

天気晴

決算表内訳表ヲ作製ス

海軍拂下通知書アリ 請書、見積書、領収書、ヲ提出セヨトノコトニ書類ヲ作ル

小栗機修理夜十一時迄夜業ス

各務ヶ原拂下品到着ス

明日父歌舞伎坐ヲ見セルベク河村ノ母ニ聞合セニ行ク

▲▼309ページ▲▼ 大正10(1921)年10月15日(土)

天気晴

五時半起床 本店へ決算報告ト海軍へ拂下書類發送ヲナス 九時終ル 十時十八分ニ  
ノリ遅レ上京 父スグ歌舞伎ニ行ク  
余波上飛行機ニ電話スル 川辺君モ帰ツテ居ルトノコトニスグ行ク 弍千円也受取ル  
銀行へスグ行キシモ金ニナラズ  
坐ニ行ク 淀君居間ノ場へサツマノ使者ノ來ル處デアッタ。九時終リ十時ニ乗ツテ帰ル

▲▼310ページ▲▼ 大正10(1921)年10月16日(日)

天気晴

猛練習アリ 小栗氏十一時頃來 直線ヲナス  
自分午後一時五十分ニテ上京 佐藤ニ立寄りいけすニ行ク 六時頃皆ソロヒ宴ヲ開ク  
一二名知合ノ藝者モ居テ面白カッタ 戸川、渡辺氏ノ事川辺ニ意ヲ含メル  
終列車ニテ帰ル 藤縄ノ飛行機來ル

▲▼311ページ▲▼ 大正10(1921)年10月17日(月)

天気晴

磯部氏來場  
小栗機練習 最後ニ安君サカ立シテプロペラヲ折ル 坂本弍回ヤル  
後藤氏帰ル  
夜佐藤氏モ帰ル  
小栗機明日受験ニ付キ午後白戸へプロペラ借りニ行ク

▲▼312ページ▲▼ 大正10(1921)年10月18日(火)

天気晴

小栗飛行ス プロペラ白戸ヨリ借りル 山本中尉來場 坂本大ニ飛ブ  
長尾上京セシム 川辺ニ七百円渡ス  
白戸夫人島田外数名ト來場 夕食後帰ル  
小栗機手入レスルコトニナル 大ニ多忙

▲▼313ページ▲▼ 大正10(1921)年10月19日(水)

天気 晴

小栗機ノ手筈ナド定メ八時半ニテ上京 佐藤へ3、8パイプト銀行入金ヲタノミ日本ベニヤニ行ク 出張所ト名ノミニテタレモ居ラズ桜井檜ト板子ヲ注文シテ鳥飼ニ行ク 不在 三百円小切手ニ書キ預ケテ日本ベニヤヨリ電話ヲ待ツ カ、ラズ 後藤氏共ニ上野帝展ヲ見テ帰ル

▲▼314ページ▲▼ 大正10(1921)年10月20日(木)

天気 晴後曇リ

朝床ノ内ニテ本年度収支予算ヲ作ル 仕事ノ段取りヲナシ九時四十分ニテ父、妻、小供ヲ連レテ国技館ノ菊ヲ見ニ行ク コンナコトハツヒニ例ノナイ事デアッタガヤハリ愉快ナモノダ タゞ心ガインガシク落付カナイノデ遊ビナガラ氣ガデナカッタ 近頃ハ毎日コンナ氣持ガスル

菊ヲ見テ橋向ニテ晝食中雲低クツヒニ雨降り出ス 一銭蒸氣ニテ浅草ニ行キシモ仲見世ヲ通り觀世音ニ参詣シテスグ帰ル 五時帰宅

▲▼315ページ▲▼ 大正10(1921)年10月21日(金)

天気 雨

終日雨 小栗機タンクハツシテ調査サセル 北島少佐來場 小栗發動機ケン査終了スマイバツハプレン張り初メル

佐藤氏マイバツハノ件 吉田氏コミッションノコト話シアリ 二百円 ヤルコトニス 尚前ノ五百円ニツイテヨク話シス  
イスパノ大ニ進ム

▲▼316ページ▲▼ 大正10(1921)年10月22日(土)

天気 曇リ

午前練習部ノ予定ヲ作ル

後チ上京 佐藤ニ行ク 晝食ヲ仕様トノコトニ東郷ハガネノ服部氏ト共ニ開花ニ行ク 二時前築地本願寺ニ行ク 飛行士ハ少ナカッタ 玉井君ニ會フ 磯部氏ヨリ東京自動車學校ノ話シアリ 大ニ進メテ貰フ 式終リテ吉田氏ト久保田ヲ連レ夕食ニ曙ヘ行ク 局ノ飛行機ニ式健(マ)造ニツキ話シアリ 極力運動ヲ依頼ス  
小栗機ノ爲メ十二時迄夜業

▲▼317ページ▲▼ 大正10(1921)年10月23日(日)

天気 雨後曇リ

今朝不在中ニマイバツハ製作ノ件ニツキ所員ト打合セヲナス 佐藤氏ニ金ノコト依頼シテ居ク

佐藤喜氏來 博覽會ニオールメダル出品ノ件協議ス 設計部間ニ合ズ中止ト決定 晝食後明日ノ出發ヲ打合ス

午後小栗氏來 小栗機積出シノ予定ノ處發動機オイルプレシヤー上ガラス明日ニ延期

▲▼318ページ▲▼ 大正10(1921)年10月24日(月)

天気 曇リ

出發後ノ打合セヲナシ十時二十分ニテ父ト共ニ上京 佐藤ニテ千円小切手ヲ借り鳥飼ニ行ク 磯部氏白戸氏來 川辺モ來ル 波上飛行機廿七八日頃デナケレバ間ニ合ヌトノコト 支拂不足如何セント思フ内協會ヨリ湯谷久保田ノ金呉レルトノコト スグ行キテ貰フ 貳千円

後元志來ル ヨツテ待タセテ帰ス

磯部外数氏ト晝食ニ行ク 白戸支拂フ 磯部氏東京自動車ノ件依頼ス 川辺モ其話シアリ 水谷少佐同所ニ這入ル由 五時二十分佐藤氏ト共ニ乗ル 車中予算書ヲ作り増資ニ関シ賛成ヲ得テ居ク

▲▼319ページ▲▼ 大正10(1921)年10月25日(火)

天気 晴

七時着 梅田ニテ佐藤氏ト分レ自動車ニテ今宮ニ行ク 九時難波ニ行キ兄ト共ニ中山氏ヲ訪ヒスグ會場ニ至ル 佐渡島、外数氏會シ大ニ増資說ヲトナエ皆賛成シテ百万円ニスルコトノ準備ヲナスコト ソレ迄借入金五万円以下ヲナスコト 秋田氏取締役ニスルコトヲ決ス

難波ニテ夕食後清平ト新世界ニ行キ小供ニオモチヤヲ求メ與ヘル  
今宮ニ泊ル

▲▼320ページ▲▼ 大正10(1921)年10月26日(水)

天気 晴

六時起床 温泉ニ行キ朝食後竹島へ挨拶ニ行ク 八時難波ニ行ク 井上長氏待チ合セ梅田ニ行ク ガマロワスレ電話スル 西店主人用事アリトノコト 神戸ニ行キテ一度寄ルコトトシ井上君ト行ク 鈴江組菅田氏ト神戸駅内ニアル機体ヲ見ル 千五百円ヨリ貳千円以内ト話ヲ付ケ井上氏ニアトヲマカセテ一時四十五分ニテ帰坂 四時西店主人ト

會フ 今夜共ニ上京 工場見ルトノコト 大ニヨシ 同道スルコトニス スグ電車ニテ京都ニ  
行ク 久保田、杉本西小路ヲ車ニテ訪ヒ要件ニスマス  
九時五十分迄小旗亭ニテ夕食ヲ取ル  
神戸ニテ坂東氏ニ電話ヲナシマイバツハポンプ發送ヲ依頼ス

▲▼321ページ▲▼ 大正10(1921)年10月27日(木)

天気晴

九時半有楽町ヨリ鳥飼ニ着物ヲアツケタクシーニテ代々木ニ谷崎氏ヲ訪ネルニ約一時  
間ヲツヒヤス 尚神宮ニ参拝シ局ニ立寄ル 次長各課長ニ照介(ママ) 大ニ好印象ヲ得  
主人モ非常ナ満足デアッタ  
三時四十分ニテ帰宅 工場ヲ一巡シ夕食後七時四十分ニテ兩國迄見送り同夜九時半  
ニテ帰坂セラル

▲▼322ページ▲▼ 大正10(1921)年10月28日(金)

天気晴

マイバツハ石川氏夕方見ニ來ラレル 金ノコトヲ依頼ス  
波上不足金壹千貳百五十円受取ル

▲▼323ページ▲▼ 大正10(1921)年10月29日(土)

天気晴

マイバツハ組立工事ヲ急ガセル  
夜山内ニツキ長尾ニ妻ヨリ話シテ居タ 明日自分ニ相談スルトノコト ウルサイガ何ント  
カ解決シテヤラネバルマイ

▲▼324ページ▲▼ 大正10(1921)年10月30日(日)

天気晴

八時半ニテ上京 清水ガソリンヲタノミ原氏ヲ訪フ 後刻会食ヲ約シ二三用件ヲスマセ  
開花ニテ待チ合セ八時頃迄ノム 陸海軍ノ仕事ニツキ有益ナル話シヲ聞ク

▲▼325ページ▲▼ 大正10(1921)年10月31日(月)

天気晴

山内及佐野ノ問題ニテ折角ノ休ミニ頭ヲナヤマス 馬鹿々々敷

▲▼326ページ▲▼ 補遺

マイバツハ

リバーティ

共ニ完成ニ至ラズ残念ナリ

カーチス

要スル處ハ金工部手不足ノ爲メ職人増加ニ努力スベシ

▲▼327ページ▲▼ 十一月

職人増加ノ件

マイバツハ取引終ルコト

リバーティ試験ノコト

カーチス完成ノコト

波上飛行機引渡シノコト

工場事ム所建築ノコト

▲▼328ページ▲▼ 大正10(1921)年11月1日(火)

天気 晴

上京 鳥飼不在 ガソリン積立シ後航空局ニ行ク。獨逸人ノコト飛行場ノコト等児玉少佐、次長、小倉大佐等ト二時間余話シス 二式ノコト大分ヨサソウデアツタ

丹延トモト商会ニ行キ千覽ニ會フ 共ニイクスニテ夕食 以後所員トシテ運動ヲ起スコトニ決ス

晝都築氏ニ會フ プロペラ材クルミ六十二枚安田ニテ買取ルコトニ決ス

▲▼329ページ▲▼ 大正10(1921)年11月2日(水)

天気 晴

佐藤氏ト九時四十分同車スル予定ノ處兵頭及兄來 一汽車乗遅レテ上京 日帝信託ニ田中氏ト會フ 佐藤氏今帰ツタトノコト 金秋田ヘ云ツテヤツタ上デナイト出來ヌトノコト 取急ギ依頼シテ鳥飼ニ行キ勘定ヲナス 五百円ト外ニ都筑氏分參百十円預ケテ戸延ヘ波上飛走機模型ヲ造ラセ日本計器ヘ計器ノ注文ヲナシ佐藤ニ行キ鳥飼ニ歸



リテ矢野、稲垣里ヲ待ち合セ七時十分ニテ所沢ニ行ク 細村屋満員ニテ新松葉ニ泊ル

▲▼330ページ▲▼ 大正10(1921)年11月3日(木)

天気 晴

六時半起床 佐藤出張所ニ立寄り航空學校ニ行ク 武田大尉ニ會フ F60午後二時ヨリトノコトニ補給部へ行き拂下ゲ品ヲ見セテ貰フコトニス 中央格納庫ニ行ツタ時杉本居リテ帰ル迄案内役ヲツトメテ呉レル F60ノ見學充分ニ出來ル 飛行ハ傾ククセアリトテ直線ノミニテ終ル 目的ヲ達ス 引取りハ明日トシ里ヲ残シテ帰ル 鳥飼ニ立寄り佐藤氏飛行中火ヲ出シ黒コゲニツタトノコトスグ七時十分ニテ帰ル 低空ニテ急旋回シテブリルニナリ鉄道線路上ニ落ち火ヲ發シ助手武石ト共ニ焼死 宿舎ニ安置シテアッタ 新聞社ノ來訪アリ 高木ニ通夜セララル

▲▼331ページ▲▼ 大正10(1921)年11月4日(金)

天気 晴風

朝石川氏來 国カラト吉田氏ヲ待ツテスベテヲ極メルコトニス  
朝次長小倉大佐、午後有川少將來場 夕方田中氏外一名來 シバラクシテ長兄兼助氏來 打合セ後自分ハ告別式ハ縣人會ニテ取行ワレタキ旨依頼ス  
馬詰來 通夜ス 高木氏夜帰ル  
佐藤喜、鳥飼來

▲▼332ページ▲▼ 大正10(1921)年11月5日(土)

天気 晴

午後二時自動車來 近親及自分等付キノヒ千葉火葬場ニ行ク 夕方帰ル 宅ニテ夕食ヲ出ス

▲▼333ページ▲▼ 大正10(1921)年11月6日(日)

天気 晴

朝骨上ゲニ行ク 晝頃中島外一名來場 工場ヲ見海氣館へ晝食ニ行ク 四時頃ニナル  
アトヨリ秋田、藤田、両氏來 再ビ工場ヲ見テ帰ル  
骨ハ本願寺へ預ケル

▲▼334ページ▲▼ 大正10(1921)年11月7日(月)

天気 晴

元志ヲ連レテ上京 買物ヲナシ元志ヲ帰ヘス  
加藤下坂ニツキ金百弍十円渡ス。本願寺ニ行キ夕方帰ル

▲▼335ページ▲▼ 大正10(1921)年11月8日(火)

天気 晴風

朝練習生ニ佐藤氏ノ死ニツキ一場ノ講話ヲナシ九時十四分ニテ上京 佐藤ニ立寄り航  
空局ニ行キ十二時半本願寺ニ行ク 二時半ヨリ初マリ三時半終ル アトノ始末ヲナシ  
鳥飼ニ帰ル 知覽待チ合ス 所員数名アリ 共ニ幸樂ヘ夕食ニ行キテ後八時十分上野発  
ノ佐藤氏ヲ見送リテ帰宅ス  
佐藤ニ金ノコト依頼ス

▲▼336ページ▲▼ 大正10(1921)年11月9日(水)

天気 晴風後止ム

昨日來ノ風晝前ヨリ止ム  
仕事ハカドラズ金工部手不足ノ爲メ一ツトシテマトマラズ 此點ニ努力スベシ  
支拂金ノ小切手ヲ書キ帳簿ノ口取りナドヲナス

▲▼337ページ▲▼ 大正10(1921)年11月10日(木)

天気 晴

朝上京 知覽氏ト會テ秋田ニ平板ヲタノミ其他支拂ヒヲナシ齋藤ニテ米檜ヲ求メ鳥飼  
ニ行キ後チ一時四十分ニテ小野、吉田両氏ト車中ノ人トナル  
宇都ノ宮ヨリノ女連レノ二組ニチヤマサレツ、秋田ニ向フ

▲▼338ページ▲▼ 大正10(1921)年11月11日(金)

天気 雨

六時半着 令兄ノ出迎ヲ受ケ本宅ニ行ク 朝食後別宅ニテ休息 晝食後寺ニ行ク 雨  
シキリ 小學生徒ガ氣ノ毒デアツタ 式後三時ニテ秋田ニ行ク 小林ニテ入浴後石川氏  
関氏ト食事ニ俱樂部ニ行ク 七時辭シテ停車場ニ行ク 吉田君ト會ヒ金ノ事ニツキ氣  
付キタル事ヲ話シ八時発列車ニ乗ル

▲▼339ページ▲▼ 大正10(1921)年11月12日(土)

天気晴

福島以後次第二晴レル 車中雪ハキレイデアッタ  
午後四時前上野着 友喜ニ行キ夕食晝食ヲ共ニシ前月ノ支拂ヲナス 七時十分ニテ帰  
ル

▲▼340ページ▲▼ 大正10(1921)年11月13日(日)

天気晴

仕事職増員ニツトメルコトヲ切ニ感ズ

午後原氏來場 佐野、稲垣、佐藤ト共ニ海氣館ニ行ク 白戸ヲ呼ブ食後原氏千葉ニ行  
ク

▲▼341ページ▲▼ 大正10(1921)年11月14日(月)

天気晴

八時半ニテ上京 協会へ久保田、湯谷ノ奨励金領収書ヲ提出シセールフレザーニ行ク  
渡辺來居セズ局ニ行ク 児玉少佐ヨリニューポール注文ニ関スル話シアリ 二課ニテ碎  
業試験飛行ノ打合セラナス 石橋、白戸、知覽ト一所ニナリ石橋ノ馳走ニテ赤坂ノ支  
那料理ニ行ク 食後知覽氏ト赤羽橋近行ク 同氏ニハニ式規格表ト職人ヲ依頼ス 戸  
延ニ行キ波上飛走機模型ヲ受取り鳥飼ニ立寄り波上飛走機へ持參ツヒデニ後藤氏宅ニ  
同氏阪東氏ト會シ佐藤ニ立寄り小切手ヲ現金ニ引替ヘラレタル三百円ヲ受取り久保田  
小田桐海軍飛行場見學費ヲ渡ス

▲▼342ページ▲▼ 大正10(1921)年11月15日(火)

天気晴

終日阿部及兵頭ノ來客ヲ待ツ ツヒニ來ラズ  
小供ノ飛行機ヲ庭ノ松ヨリ下ノ庭迄ケーブルヲ引ク 数回ノ後チ非常ニ工合ヨクナッ  
タ 信太郎モ初メノ内ハオソロシガッタガ後ニハ乗タガッテ來タ  
夕方坂本君來 ローン殘金ニ対スル相談ヲ受ケル 立替入思ヒモ寄ラザル處坂東氏ニ誠  
心誠意交渉ノコトヲ進メ夕食ヲ共ニシテ分レル

▲▼343ページ▲▼ 大正10(1921)年11月16日(水)

天気晴

▲▼344ページ▲▼ 大正10(1921)年11月17日(木)

天気晴

夜大坂二行ク

▲▼345ページ▲▼ 大正10(1921)年11月18日(金)

天気曇リ

八時半着 難波ニ帰宅 中山氏ニ行ク 不在 西店ニ行ク 病氣出勤セラレズ電話ニテ聞ク 來テ呉レトノコトニ午後ヲ約シ今宮ニ行キ晝食後玉造ノ本宅ニ行ク 車中急作ノ擴張予算ニテ話シツケ今年度一万五千円借入レヲ約シテ外ニ來春百万円増資説ノリヨウカイヲ得テ五千円ハスグ帰途西店ニテ受取りテ帰ル 大ニ安心ス 夜難波ニテ夕食後床ニ入ル

▲▼346ページ▲▼ 大正10(1921)年11月19日(土)

天気晴

兄ト温泉ニ行キ朝食後今宮ニ立寄り竹島ニ報告ヲナシ帰りテ中山氏ニ行ク 將來ノ打合せヲナシ晝食後兄ト箕面ニ行ク 早ク帰り大江橋ニテカキ船ニテ夕食ヲス 駅迄兄見送り呉レテ七時半ニル 井上氏來 神戸ノコト打合セテ出發ス

▲▼347ページ▲▼ 大正10(1921)年11月20日(日)

天気晴

八時半帰京 知覽駅ニ居ル 今日津田沼ニ行ケズ本八万疋トノコトニ後チ工廠ニ行クコトニシテ鳥飼ニ寄り佐藤ニ立寄り荷物ヲアツケ秋田ニ行ク 経過ヲ報告シテ佐藤ニ帰り主人ニモ話シヲナス 知覽來ル 共ニ出デテ須田町ニテ晝食後工廠ニ行ク 吉山氏ニ會フ 大分参考トナルベキコトヲ聞イテ三時頃知覽ト分レ帰宅ス

▲▼348ページ▲▼ 大正10(1921)年11月21日(月)

天気曇雨

両国着 林亭ヨリ電話ニテ田中、川辺聞合ス ドチラモ不在 先ヅ田中氏ヲ訪フ 丁度居ラレ五千円受取り銀行ニ入金シテ鳥飼ニ行ク 吉田川辺両氏アリ 吉田氏ニ三百円渡ス 川辺話シアリトノコト 晝食ニウクライナニ行ク 食後吉田氏帰ル 川辺金五十

田歸リタシトノコト 貸コトニス 坂本君來 一寸話シアリトノコト 友喜ニ連レテ行ク  
先日ノ機体殘金ノ件ナリ 金六絶対ニ出來得ナイ事情ヲ明白ニシテ事ワル 後チ相羽  
ナラドウカシラントノ議出デ明日相羽ニ會フカラトノコトヨリツヒニ田浦同行トナリテ  
八時十分ニテ歸ル  
今朝出縣(ママ)ル前大工來 スベテノ見積リ價格ヲ定メル

▲▼349ページ▲▼ 大正10(1921)年11月22日(火)

天気 晴

七時ニテ上京 九時五分ニテ長尾坂本トノル 十時半田浦着 相羽ニ會フ 共ニ工廠ニ  
行キ田川運送店員ト引取ノ打合セラナス 廿一時一時終ル 相羽ヨリ五十九円七十  
錢受取り一時四十分ニテ歸ル 坂本機体ノ件ニツキ車中相羽ニ話シス マトマラズ帰京  
スグ局ニ行ク 児玉少佐ニ會フ 二台ホトンド確定セリトノコト 二課ニ行ク 岡氏一人  
同氏ニ札ヲ述ベ坂本ノコト一寸ハナス 鳥飼ニ行キ知覽ニ會フ 坂本ノ調テイ鳥飼ニ頼ム  
夕食後歸ル

▲▼350ページ▲▼ 大正10(1921)年11月23日(水)

天気 晴

久シ振リニ在宅 朝練習ヲ見ル 長尾海軍拂下品受取りノ爲メ夕方午後上京セシム  
後チ千葉小川ニ殘金支拂ヒニ行キ池田根本ニ立寄り白戸ニ行ク 丁度今アナタノ方へ  
行ツタトノコトニ車ニテ稲垣(ママ)ニ行キアンマヲ取リテ白戸ノ歸リヲ待ツ 間モナク來  
呼ビ入レル アンマヲ取ル間八ヶ間シク早々ニ切上ゲテ酒ヲイミノム 下ラヌ話シシテ來  
ル イツモナガラガリ、ナコトバカリ云フ男ダ 然シ後援者ナクテヤルノダカラ止ムヲ  
得マイ

▲▼351ページ▲▼ 大正10(1921)年11月24日(木)

天気 晴

頭重ク腫物ハレ上リタレドモ小栗ノ金取り度ク元志ヲ田浦へ判ヲ持タセヤルニ付供ニ上  
京ス 車中白戸ニ會フ筈ノ處徳永氏ニ會フ 氣分益々悪シク両国ヨリ鳥飼氏ニ電話ヲ  
カケ小栗ノコト依頼シテスグ次ギノ汽車ニテ船橋ニ下車 菊坂ニテ手當ヲナシテクニテ  
十二時帰宅 床ニツク  
午後北島少佐來場 行キテ挨拶ヲナシ再ビ寢ニツク

▲▼352ページ▲▼ 大正10(1921)年11月25日(金)

天気 晴

今日ハ來客デーノ様デアッタ

早朝山本大尉伊藤飛行士山崎試験ノ爲メ來 無事終了 ワシ宮來 土地ノ見積リヲ  
打合ス 丁度栄助來 土ノ話シヲナス 兄ニ話シテ呉レトノコト 佐野ニ依頼ス 東海新  
聞写真ヲ貰ヒニ來ル 杉本來 磯部氏來ル 拂下品磯部氏へ譲ル 晝夕兼ネタ食事ヲ  
ナシ五時四十分ニテ両氏帰ル 杉本今夜九時各務ヶ原へ帰隊ノ由  
久保田安岡又ゴタツク 本日ハ小田桐ト三人ヲ呼び久保田ニ基本教育係 安岡ニ卒業  
生及新機試験ヲ命ズ

根岸錦藏來 機体改造ノコト白戸へ頼ム様云ヒ聞ケル

◆▼3553ページ◆▼ 大正10(1921)年11月26日(土)

天気 晴

八時半上京 スグ協会ニ行ク 小栗來ラズ鳥飼ニ行ク 局ニ児玉少佐ニ會フ 圖面マダ  
來ラズ。一課長ニ注文ノ札ヲ述ベル 今日ハ二課長ノ様子ハ面白クナカッタ 鳥飼ニテ晝  
食 五百円渡シモトト戸延ニ行ク 不在 妻君ニ來テ貰フコトヲ依頼シテモトト工業ニ  
行ク 原、知覽両氏加地氏ニ會フ 知覽ニ職人ノコトヲ頼ム 發動機木型ニ廻ス迄ニ進  
行シテ居タ 四時紅葉館ニ行ク 佐藤氏追悼會ニ列席 七時半辭シテ佐藤ニ立寄りボ  
ールト注文シテ八時十分ニル

◆▼3554ページ◆▼ 大正10(1921)年11月27日(日)

天気 晴

昨夜來徳治ハイタリ下シタリ大サワギシタ 朝醫師ニヤル 八時工場ニ行キ一廻リシテ  
練習ヲ見ル 木工金工組立スベテ手ガ不足 実ニイヤナル程ダ  
晝南部氏來場 稲垣氏ト晝食ヲ共ニス  
午後拂下品ノ整理ヲナス 工場広クナッタ

◆▼3555ページ◆▼ 大正10(1921)年11月28日(月)

天気 晴

九時四十分ニテ上京 影山ニ寄ル 買物ヲシヨウト思ツタガ余リ不愛相(ママ)ナノデヤ  
メタ 鍊局 鳥飼、磯部、戸延、伊東屋等ニ寄りテ夜ニ入り終ル モート工業ニ行キ五  
百円支拂 知覽君ニ會ヒ小栗ニモ會フ 鳥飼氏ト横町ヘ夕食ニ行ク

◆▼3556ページ◆▼ 大正10(1921)年11月29日(火)

天気 晴

午前久シ振リニ工場及仕事ヲ見十時半ヨリ兵頭、洪、加藤、張、山崎、五名ニ証書授  
與式ヲ行フ 後藤氏ノ話シアリ 後チ立食ニテ送別宴ヲ張り終テ直チ二千葉衛戍病院  
へ体格検査ニ行ク 十二名受験 二名不合格 一名静養ヲ要ス。五時終ツテ池田ニ立  
寄り同氏ト梅松ニ行キ久シ振リニ金八 喜久代 今月カラ一本ニナツタ福助ヲ呼ビタ  
食ス 後チ白戸ニ行ク 妻君酒ヲノンダノカ馬鹿ニ風向キガ悪ルカッタ 或ハ金ニツマツテ  
來タ精カモ知レナイ

◆◆357ページ◆◆ 大正10(1921)年11月30日(水)

天気 晴

止京 局ニ行ク

朝矢島ニシシブルヲ請求シシヤクルヲ注文ス  
局ニ行ク 磯部來 契約ヲ終リ同氏事ム所ニ行ク途中散髪ヲナス 四時頃ヨリ平野屋ニ  
行ク 阿部中将木村氏磯部ト共ニ 終ツテ帰ル

◆◆359ページ◆◆ 十二月

波上飛走機 完成

リバティ 完成

マイバツハ 引渡

カーチス 完成

職人 増員

ニユポール 材料購入及規格験(ママ)査

◆◆360ページ◆◆ 大正10(1921)年12月1日(木)

天気 晴

九時十四分上京 局ニ行ク 岡大尉ニ會ヒ御詫ビヤラ話ヲ聞イタリス 一課ニテ児玉  
少佐ニ 報告ヲナシ、後田中氏石川氏ニ會フ 鳥飼ニ寄リ戸延ニ行キモート工業ニ  
行ク カーチスロット北島少佐ニ電話ヲカケスグ來テ貰ツテ験(ママ)査ヲ受ケル 再ビ鳥  
飼ニ帰リ兵頭及谷田ニ會ヒ曙ニ行キ食事ヲ共ニシ善後策ヲ議ス 兎ニ角一應勘定ヲスル  
コトニシテ分レル  
シバラクノマナカッタノニ今夜少シノンダノデヨイ氣持ニナリ友喜ニ行キ勘定ヲ拂ヒ十時  
ニテ帰ル

▲▼361ページ▲▼ 大正10(1921)年12月2日(金)

天気晴

十三號破損願書及山崎奨励金願書ヲ作ラセル  
知覽ヘ木工、組立ニ電報ヲ打ツ

▲▼362ページ▲▼ 大正10(1921)年12月3日(土)

天気晴

八時半上京 板橋ノ釘屋ニ立寄り徳永氏ト一所ニナル 共ニ協会ニ行ク 山崎及十三  
號破損願書提出 鳥飼ニ行キ職人ヲ頼ミ局ニ行ク 十三號使用時間報告ヲナス 児玉  
少佐ニ會フ 工廠見学矢野、村井玉木ノ三名トスルコト

銀行ニ行キ佐藤ニ立寄り桜井ニ電話ニテ檜引取りノ打合セヲナシ途中買物ヲシ晝食ノ  
時電話ニテベルト注文 江東橋ヨリ矢島ニ行ク シンブル昨夜白戸取りニ行ツタトノコト  
實ニスルイヤツダ。シヤツクル地金佐藤ヘ電話ヲカケ二時二十分ニテ帰場 工場ニ行キ  
夕方帰宅

▲▼363ページ▲▼ 大正10(1921)年12月4日(日)

天気晴

大坂其他ニ手紙出ス 午前知覽、吉山氏來 規格検査等ニ関シ色々見セテ貰フタリ聞  
イタリシタ 午後原氏來 夕方千葉梅松ニ行キ夕食ヲ共ニス 九時頃帰ル

▲▼364ページ▲▼ 大正10(1921)年12月5日(月)

天気晴

六時半起床 新宿九時ニヤット間ニ合フ 磯部氏一行ト同車 所沢着 支部ニテ支部  
長ニ面會手續キヲ終リ現品ヲ見テ運送店ニ依頼シ美好軒ニテ晝食後上倉ニ預ケテアル  
機体磯部氏ニ賣渡ス 終ッテ時間ガ余リアツタノデ細村屋ニ行キ大島ニ明夜會フコトヲ  
頼ミニ上綱吉氏ヲ訪問シテ四時四十分ニテ帰ル

▲▼365ページ▲▼ 大正10(1921)年12月6日(火)

天気晴

午前中在所



午後三時十四分ニテ所沢ニ行ク  
七時十二分着 大島君待ッテ居タ 入浴後若葉ニ行キ食事ヲ共ニス 島村モ來 職人  
ノコト及同人ノコトヨク頼ンデ十二時帰宿

▲▼366ページ▲▼ 大正10(1921)年12月7日(水)

天気 晴

食後大島ニ付宿ノ主人ト打合セ後チ写真ヲ取り九時宿ヲ出テル 航空學校前ニテ待  
ツ 間モナク岡大尉外一同來 共ニ入ッテ中央格納庫ニテ中西少佐ヨリ挨拶アリ 今  
田中尉ヨリ講話アリ 後チ各曲技ヲ二式廿四型ニテ実施後晝食 白戸飛行場員ノミ  
希望ニテ支部工場ヲ見学ニ行ク 自分等ニ時ニテ帰京 大江氏ヲ訪問ス 不在 友喜ニ  
寄り夕食後佐藤ニ立寄りテ帰ル

▲▼367ページ▲▼ 大正10(1921)年12月8日(木)

天気 晴

杉本安岡久保田元ノ自分ノ家へ引越サセル  
井上、外数軒手紙出ス  
カーチス假組立ヲナス  
夜學校部整理ニ付稲垣矢野、杉本久保田、安岡ト會商ス 九時半大地震アリ 小供  
ヲイダイテ飛び出シタ 後数回アリ  
久シ振リノ在所デ今日ハ非常ニイソガシカッタ

▲▼368ページ▲▼ 大正10(1921)年12月9日(金)

天気 晴少曇リ

今朝四時半頃又一回ユスッテ居タ  
朝食後新聞日記 工場ニ行キ久シ振リデ帳簿ヲ記入シ初メタ  
十二日マイバツハ重心試験ニ來ル由  
午後頭痛ガシテイケナカッタノデツヒニ床ニ入ッタ 夕方川辺君來 爲替手形ヲ貸シテ  
貰ヒタイトノコト クレルジートサルムソソヲ書入レテ金高弍千五百円也 承認シテ居  
ク 夕食後帰ル

▲▼369ページ▲▼ 大正10(1921)年12月10日(土)

天気 晴

八時半ニテ東京 局ニ行ク 児玉少佐ニ會フ 岡マダ來ラズ  
協会へ訪合セノ件報告書ヲ入レル 川辺ト鳥飼ニテ會ヒ爲替手形ヲ書ク モート工業へ  
電話ニテ知覽ト話シス 明日徳永氏ノ結婚式 明後日工廠へ行ク由 テストビース鳥飼  
へ預ケテ居ク

▲▼370ページ▲▼ 大正10(1921)年12月11日(日)

天気 曇リ

今日在宅ノ予定ノ處長岡氏ノ手紙ニテ十時二十分ニテ上京 白戸ト同車同行ス  
其前仕事ノ順序ヲ立テル 少シモ思フ通りニ行カズ大ニシヤクニサワル 矢野君ノ無責  
任ニモ困ツタモノダ

長岡閣下ノ招キデ集マッタノハ白戸玉井自分 外水田石橋小栗諸氏ハイヅレモ旅行中  
交詢社ハ本日断水ノ爲メ料理出來ズ日本俱樂部ニ行ク

食後三階デ長岡氏ノ話シヲ聞ク 即チ現今ノ飛行界ハ全般ニウシテ居ルカラ明秋十一  
月国際飛行ヲ東京大坂間郵便旅客輸送トシテ二週間行ヒ懸賞十五万 ソシテ協会  
掉尾ノ運ダメシヲヤロウト云フニアルラシイ 三時半迄意見ノ交換ヲナシ買物ヲシテ五  
時廿分ニテ帰ル

▲▼371ページ▲▼ 大正10(1921)年12月12日(月)

▲▼372ページ▲▼ 大正10(1921)年12月13日(火)

▲▼373ページ▲▼ 大正10(1921)年12月14日(水)

▲▼374ページ▲▼ 大正10(1921)年12月15日(木)

▲▼375ページ▲▼ 大正10(1921)年12月16日(金)

▲▼376ページ▲▼ 大正10(1921)年12月17日(土)

▲▼377ページ▲▼ 大正10(1921)年12月18日(日)

▲▼378ページ▲▼ 大正10(1921)年12月19日(月)

▲▼379ページ▲▼ 大正10(1921)年12月20日(火)

天気晴

上京ス 本日迄ノ分多忙ノ爲メ記入ナシ得ズ 廿五日漸ク記ス ヨツテ今日以前ノ分不明ニ付記入セズ  
タゞ上京ト工場ノコトニノミ多忙ナリシ外特筆大書スベキ事ナシ

▲▼380ページ▲▼ 大正10(1921)年12月21日(水)

天気晴

上京 矢島ニ立寄り曙ニテ川辺、渡辺両氏ト會見後局ニ行キ飛行士俱樂部ノ會合ニ行ク 會合中利根外二名ニ會フ爲メ鳥飼ニ帰ル 揚子江ニテ試用ノハイドロプレーン四千五百円ノ工程ヲ返事シ居ク 右ノ内千円ハ利根外一二名ニ対スル口銭ヲ含ム  
飛行士クラブ遅レ七時半ニテ大坂ニ立ッ

▲▼381ページ▲▼ 大正10(1921)年12月22日(木)

天気晴

心配ノ内ニ大坂着 九時半帰宅 兄ニ會フ 中山氏ニテ話シヲ聞キ一人西店ニ行ク 結局五千円出ストノコト 丁度ソレガ晝デアッタ 如何トモ困ルカ中山ト竹島ト相談シテ來テ見ルトノコトデ車迄云ツテ呉レタノデ中山氏ノ處へ行ッタ 途中出テ來ナケレバヨカツタト思ツタガツヒニ中山氏ト兄ト相談ノ上竹島ハ如何ニモ今ノ處出シニクイノデ行

ツタコトニシテ西店へ三人デ行ツタ 三人デ行クコトニダメダト思ツタガヤハリダメデアツタ 中山氏ト兄ニ竹島ノコトヲ依頼シテ井上君ニ會ヒ一先ツ十一時ニテ帰京ノ途ニツク

◆▼3882ページ◆▲▼ 大正10(1921)年12月23日(金)

天気晴

十二時半着 局ニ行ク デユラルミン駄目ニナリ航空部ニ行ク 中川少佐ヨリ乙種圖面ナラズグヤルトノコト 再ビ児玉少佐ニ依頼ス 月曜日ケレル由

鳥飼ニ帰り田中氏へ電話ニテマイバツハノ金話シヲナシ吉田氏ト電話ニテ話ス

三時日本俱樂部ニ行ク 馬詰氏大賛成論ヲヤツテ居タ 四時オソラク一時間モシヤベタラシイ 次キニ白戸ノサエナイ話 小栗自分坂本玉井ト意見ヲ述ル 磯部氏ノハ例ニヨツテ要領ヲ得ズ スグ帰ル ソレデモ八時頃ニナツタ 小栗坂本ニ金ノ請求ヲナス

◆▼3883ページ◆▲▼ 大正10(1921)年12月24日(土)

天気晴

七時工場ニ出ル 波上エレロン金具ヤリ直シ 金工休場者多クハカドラズ。コトニカーチスエレベター其他ヤリ直シ多ク実ニイヤニナツタ ゴタ、ノスル内十時近クナツタノデ牛乳ニテ朝食ニ替へ上京ス 局ニカーチス小型機ノ圖面ヲ提出シテスグ協会ニ行ク 小栗磯部來ラズ 三十分余待ツテ戸田大佐ニ會フ 白戸多ク話シス 尚昨日ノ決(ママ)果ヲ聞ク 余一人先キニ帰ル 鳥飼ニテ吉田、白戸ニ會フ 関氏ヨリ小生電報ニ対シ吉田へ意見照介アリ スグ金送ル様打電セリト 後チ佐藤ニ行キ成行ヲ話シ銀行ニテ借入金ノ事依頼ス 川辺ニ行キ夕食ノ馳走ニナリテ會談数刻 九時ニ乗り遅レ十時ニテ帰場 ヤ、安心ス

◆▼3884ページ◆▲▼ 大正10(1921)年12月25日(日)

天気晴

終日在宅 工場ノ仕事ヲ見ル

明日上京金策ノ計ヲナス

◆▼3885ページ◆▲▼ 大正10(1921)年12月26日(月)

天気晴

七時工場ニ行ク 八時半乗り遅レ九時十四分上京 駅前ヨリ川崎銀行ニ電話ス 來テ居ラズ後田中氏宅ヨリ聞ク マダ來ラズトノコト ツヒニ川崎本店へ來テ居ルラシク田中

氏ヨリ同店ニ行キ時間ギリ、ニヤット間ニ合ヒ一安心ス

局ニ行キニ式圖面貰フ 鳥飼宅ニテ晝食 地所ノ示談ニ今カラ行クトノコト 自分ノ意見述ベテ居ク

田中氏ニ行キ五千円受取ルニ一時間半カゝッタ

吉田ヨリ電話ニテ小野君ノ金ニツイテ話シアリ 非常ニ困ツタガイヅレ先キカラ取ルコトニ努力シテ貰フコトニシナケレバナルマイ

佐藤ニ會フ 銀行不可能。佐藤裏書キアレバヨイトノコト 宜シク頼ム 同君モ小生ノ立場ニ同情ヲ持ツテ居テ呉レルノデ大變幸(ママ)都合デアッタ

六時ニテ帰ル。川辺ト電話ニテ波上ノ金話ニ聞ク 廿九日午前秋田へ尚殘金ノコト電報ヲ打ツ

◆▼3886ページ◆▼ 大正10(1921)年12月27日(火)

天気晴

終日在宅 給料及年末手當ヲ支給ス

朝大坂へ金ノ都合聞合セ打電ス 夜ダメノ返アリ 同時ニ秋田ヨリ殘金田中ヨリ取レトノ電アリヤ、安心ス

坂本、小栗、藤縄、加藤金取りニヤル 皆クレズ

◆▼3887ページ◆▼ 大正10(1921)年12月28日(水)

天気晴

二時半目ヲサマシモチツキニツキお鏡ノ数ヲ書イテ持ツテ行キ入金ト支拂トノ予定ヲナス 金ノ事ノミ考ヘテ更ニ経営上ニツキ考ヘル 余暇ナク寒苦シイ 來年度ノ計畫ヲヨク立テタイモノダ

今日上京ヲ中止シ長尾ヲヤル 田中氏ノ金受取り及佐藤手紙ノ持參セシム

午後正午局佐々木氏マイバツハ驗(ママ)查ニ來 晝食後帰ル 自分スグ幕張ニ行ク 組合員中不法ナヤツガ二名居タ 氣持悪カッタ 縣廳ノ人ト夕食方々尚協議シタカッタガ春ノコトニシテ帰宅ス

◆▼3888ページ◆▼ 大正10(1921)年12月29日(木)

天気晴

秋田號其他ノ勘定ヲナス 九時四十分ニテ上京 波上飛走機ニ行ク 午後一時頃來テ呉レトノコトニ川辺君ト廣東料理ニ晝食ヲナス 再ビ行キテ張其他ノ人ニ會フ 五百円呉レル 鳥飼ニ行ク 吉田待子受ケテ居タ 長尾田中氏ヨリ金受取りテ來 勘定ヲナシ

同氏ニ自分ヨリ百円札ヲナス 外ニ小野氏分八百円ト百円九百円小切手ニテ渡スア  
ト預リ証ヲ渡ス。後買物ヲナシ帰宅

◆▼389ページ◆▼ 大正10(1921)年12月30日(金)

天気晴

八時六分ニ乘リ上京 佐藤ニ行ク。福永ノ浅見君ガ來テ居タ  
佐藤ドウシテモ金入ルトノコトニ約手五千円千五百円式通ヲ書キ融通ヲ受ケル ソレヨ  
リ桜井其他数軒支拂ニ廻リ鳥飼ニ立寄りテイソギ帰宅ス

◆▼390ページ◆▼ 大正10(1921)年12月31日(土)

天気晴

佐野皆勤 此ノ他ノ諸拂ヒヲナス。自分年賀状ヲカ、セ、大坂、児玉少佐、石橋、其他  
手紙ヲ書ク 藤縄、加藤來  
午後村山氏訪問 飛行場問題幕張ノ出張話シヲシテ賛成ヲ求ム。同氏ハ從來通り使  
用サレルコトハ少シモカマワナイガ組合トシテ契約書ヲ作り調印スルコトハ出來ナイカラ  
縣トシテ許可サレル分ニハカマワナイダロウトノ意見デアッタ  
夜宿舎ニテ所員ノ忙(ママ)年会ヲ行フ 皆面白ク愉快ソウデアッタ  
苦シイ暮デアッタガヨイ經驗デアッタ ソレデモキレニ諸拂ヲナシ得タコトハ嬉(ママ)バシ  
カッタ 苦中ノ樂ミダ

◆▼391ページ◆▼ 補遺

名実共充実セシメ陸海軍ノ仕事取ルコトニ対シ遺憾ナガラ本年ハ零デアッタ 然シ工場  
ヲ充実セシメ且ツ名誉トシテハ奨励金ノ下附アリタリ  
サレドモ年末ノ不成績ハ今後大ニ考ヘザルベカラズ 尚職工ノ充実ト飛行部ノ充実ヲ期  
セザルベカラズ 飛行部ハ來春ニ於テ五台ノイヅレモ甲種ヲ得ルコトナレバ一ニ操縦者ノ  
優技ニマタザルベカラズ  
陸軍ノ仕事ヤ、端緒ヲ得タリ

401 ページ

知人名簿

住所	電話	氏名	関係
東京市小石川区竹早町一二		志賀潔	
々 市外戸塚町上戸塚二二一		全	
群馬県桐生町		原口寅吉	
大坂市南区馬淵町三〇一ノ一 白井方		伊藤四良	
東京市神田区東松下町廿二		三都屋商店	ゴム
千葉郡検見川町橋本		小川長吉	石忠

▲▼挟み込み 1 ページ▲▼

グリーン	1
恵美 No1	2
インデアン水上	3
恵美 N2	4
同水上	5
鶴羽 No1	6
ツバメ	7
恵美 No3	8
鶴羽 No2	9
フランクリン	10
グレゴア八年式	11
ホールスカット八年式	12
ゴーハム百廿五馬力	13
ゴーハム百五十馬力	14
二サイクル	

▲▼挟み込み 2 ページ▲▼

- 山縣
- 佐野
- 青島
- 杉本
- 福永
- 藤原
- 照井

久保田 1

新開 2

安岡 3

謝 4

洪 5

兵頭 6

佐■

青島

村井

菅

本郷